

NEC プロジェクター

ViewLight[®]
ビューライト

NP-UM352WJL

取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください

- | | | |
|-----------------------|---|---|
| 1. 添付品や名称を
確認する | ● | 1 |
| 2. 映像を投写する
(基本操作) | ● | 2 |
| 3. 便利な機能 | ● | 3 |
| 4. オンスクリーン
メニュー | ● | 4 |
| 5. 機器と接続する | ● | 5 |
| 6. APPS メニュー | ● | 6 |
| 7. ユーザ
サポートウェア | ● | 7 |
| 8. 本体のお手入れ/
ランプの交換 | ● | 8 |
| 9. 付録 | ● | 9 |

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

●機種名について

プロジェクター本体では、機種名を「NP-UM352W」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「JL」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - い
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

動作中に投写窓を塞がない



- 投写窓を物などで塞がないでください。動作中に投写窓を塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

ケーブルカバーについて



- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。確実に固定されていないと、ケーブルカバーが外れてけがをするおそれがあります。また、落下してケーブルカバーが破損する原因となります。



- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーを持つての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

プロジェクターの投写窓をのぞかない



投写窓をのぞかない

- プロジェクターの投写窓をのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



警告

清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- 投写窓やフィルタなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
詳細は [144 ページ](#) をご覧ください。

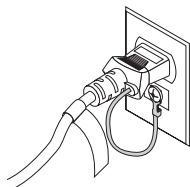
天吊りまたは壁掛け設置について



- 天吊りまたは壁掛けなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊りまたは壁掛け設置したときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

注意

機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。
機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてご使用ください。詳細は [32 ページ](#) をご覧ください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります。やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・指定以外の電池は使用しない
 - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

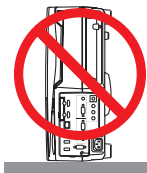
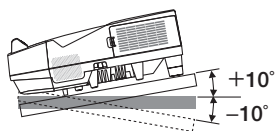


- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。
故障の原因となります。
 - ・強い磁界が発生する場所
 - ・腐食性のガスが発生する場所
- 本機を傾けて使用する場合、前後の傾きは -10° ~ $+10^{\circ}$ にしてください。この範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。
なお、本体のチルトフットは本体を水平に調整するための機能です。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（12時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（▶91ページ）
 - ・コンピュータなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピュータ側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約1700m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

- 持ち運びについて
 - ・ プロジェクター本体に振動や強い衝撃を与えないでください。
 - ・ 宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。輸送の場合は、お買い求めの際の梱包状態に戻してから輸送してください。
- 投写窓は素手でさわらないでください。
投写窓に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写窓には手を触れないでください。
- 廃棄について
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネジメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネジメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

▶ 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」に変更してください。

注意

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。
 モニタ出力端子、音声出力端子、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI (Virtual Remote Tool)

詳しくは、[93 ページ](#)をご覧ください。

② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

▶ 外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。

注意

- 「1:00」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

電子ペンを使用する際のご注意

- スクリーンは、表面が比較的硬いハードタイプかつ表面がフラットなものを使用してください。また、スクリーンサイズは、100 型以下のものを使用してください。
- スクリーン面の材質によっては、電子ペンを接触した際に、スクリーン面に傷が付く場合があります。電子ペンを使用する前に、スクリーンの端などの目立たない部分で、電子ペンによって傷が付かないか試してください。
- 次のような所では使用しないでください。電子ペンが正常に動作しないことがあります。
 - ・スクリーン面やカメラユニットに直射日光が当たる場所
 - ・スクリーン面やカメラユニットに、ハロゲンランプやフィラメントタイプの電球などの光が当たる場所
 - ・スクリーンの枠などに光を反射するような材質が使われている所
- 次のような場合は、電子ペンが正常に動作しないことがあります。
 - ・赤外線リモコンを使用しているとき

無線 LAN ユニットの使用上のご注意

無線 LAN ユニットを使用する際は、次の点にご注意ください。

警告

- 無線 LAN ユニットは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されていませんので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線 LAN ユニットを使用しないでください。医療機器に電磁障害をおよぼし生命の危険があります。
- 無線 LAN ユニットの分解したり改造したりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 風呂場や加湿器のそばなどの水分や湿気が多い場所に置いたり使用したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

● 廃棄について

本製品を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
 メールの内容
 などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
 などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

電波に関する注意

- 添付の無線 LAN ユニット（以降「本ユニット」と省略します）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本ユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本ユニットは、日本国内でのみ使用できます。
- 本ユニットは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解／改造すること。
 - ・ 本ユニットに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本ユニットは、IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz 帯域[W52] および[W53] の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - ・ 本ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一本ユニットと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本ユニットの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - ・ その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[裏表紙](#)）にお問い合わせください。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
-----	-------	---

IEEE802.11a/n		
W52	W53	W56





- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。
- DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す。
- 4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。
- — — : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線 LAN に関するその他のご注意

- 無線 LAN をご使用の際は、電波強度が十分であるか、混雑や他の無線機器等との混信がない状態であるかを確認してください。

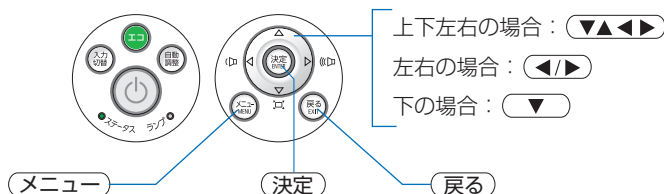
本書の表記について

マークの意味

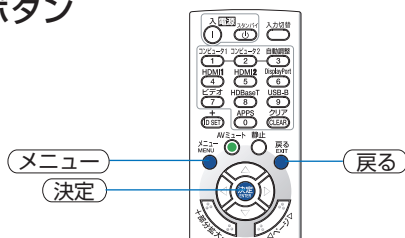
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

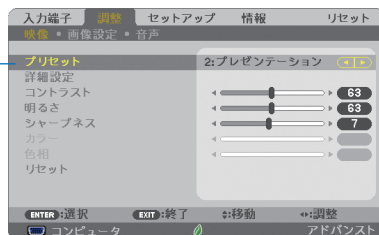


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	8
電子ペンを使用する際のご注意	10
無線 LAN ユニットの使用上のご注意	11
本書の表記について	13
目次	14

1. 添付品や名称を確認する 16

1-1. 特長	16
1-2. 添付品の確認	18
1-3. 本体各部の名称	20
1-4. リモコン各部の名称	26
1-5. 電子ペン各部の名称	30

2. 映像を投写する（基本操作） 31

2-1. 映像を投写する流れ	31
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する	32
2-3. 本機の電源を入れる	33
2-4. 入力信号を選択する	35
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	38
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）	42
2-7. コンピュータの映像を自動調整する	44
2-8. 本機の音量を調整する	45
2-9. 本機の電源を切る	46
2-10. 移動するときは	47

3. 便利な機能 48

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	48
3-2. 動画を静止画にする／画面をキャプチャーする（静止）	48
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	50
3-4. エコモードと省エネ効果	51
3-5. 投写画面の歪みを調整する（4点補正／ピンクッション補正）	54
3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する	57
3-7. マイクを接続する	60
3-8. USB ケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う （リモートマウス）	61
3-9. USB ケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）	62
3-10. 電子ペンを使用する（キャリブレーション）	64

4. オンスクリーンメニュー 67

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	67
4-2. オンスクリーンメニュー一覧	71
4-3. 入力端子	74
4-4. 調整	75

4-5. セットアップ	82
4-6. 情報	96
4-7. リセット	98
5. 機器と接続する	99
5-1. コンピュータと接続する	99
5-2. ディスプレイと接続する	102
5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する	104
5-4. スマートフォンやタブレットと接続する	107
5-5. 書画カメラと接続する	108
5-6. テーブル投写する	109
5-7. 有線 LAN と接続する	110
5-8. 無線 LAN と接続する	111
6. APPS メニュー	113
6-1. APPS メニューでできること	113
7. ユーザサポートウェア	117
7-1. 添付ソフトウェアについて	117
7-2. LAN を経由して画像や動画を投写する (Image Express Utility Lite)	118
7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)	124
7-4. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5)	127
7-5. LAN を経由して本機を操作する (Virtual Remote Tool)	132
7-6. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する (Wireless Image Utility)	138
8. 本体のお手入れ／ランプの交換	139
8-1. フィルタの清掃	139
8-2. 投写窓の清掃	142
8-3. キャビネットの清掃	143
8-4. ランプとフィルタの交換	144
9. 付 録	151
投写距離とスクリーンサイズ	151
対応解像度一覧	153
仕様	155
外観図	158
ワイヤレスレシーバ (別売) の取り付けかた	160
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名	161
故障かな? と思ったら	162
インジケータ表示一覧	167
本機内部のソフトウェアのアップデートを行う	169
トラブルチェックシート	172
索引	174
別売品／商標について	177
保証と修理サービス (必ずお読みください)	179
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内	裏表紙

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● 超短焦点投写を実現

超短焦点投写が可能なレンズを搭載。最大 110 型のスクリーンサイズに対し、投写距離わずか約 51cm での投写が可能です。

ここでの投写距離は、プロジェクターのスクリーン側の端からスクリーンまでの距離です。

● クイックスタート (6 秒)、クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ

パワーオンから 6 秒で映像が表示され始めます (クイックスタート)^(注1)。

パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます (クイックパワーオフ)。

また、投写中に AC 電源を切断することができます (ダイレクトパワーオフ)。

AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

^(注1) スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のとき。

● スタンバイ時の消費電力が 0.22 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.22 ワットになります。

● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ 1」、「エコ 2」という 3 種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO₂ 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します (カーボンメータ)。

● ランプ交換時間が最大 6000 時間

エコモード (エコ 2) を設定して使用すると、ランプ交換時間^(注2)が延ばせます。

^(注2) 保障時間ではありません。

● HDMI 入力端子を 2 系統装備し、デジタル映像信号を投写可能

HDMI 入力端子を 2 系統装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI 入力端子は音声信号にも対応しています。

本機の HDMI 入力端子は、 HDCP に対応しています。

● スマートフォンやタブレットの画面を投写

本機は MHL (Mobile High-definition Link) 規格に対応しています。スマートフォンやタブレット端末などと市販の MHL ケーブルで接続すると、映像や写真を投写したり、スピーカから音声を出力することができます。

● 20 ワットのモノラルスピーカ内蔵

広い会議室や教室で視聴していただけるように、20 ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。

● マイク入力端子を装備

会議室や教室でのプレゼンテーションや講義のときに、マイクを接続して使用することができます。

● 添付の電子ペンを使って、ホワイトボード機能を実現

専用電子ペンで投写画面に書き込みができるので、より効果的なプレゼンテーションや講義が可能になります。

● さまざまな設置に対応

壁掛け設置の他に、天井へ打ち上げて投写したり、テーブルや床面に打ち下げて投写することができます。

● コントロール ID が登録できるリモコンを標準添付

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

● プロジェクター本体やリモコンに日本語表示

プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに、日本語表示のリモコンを標準添付しています。

● USB ディスプレイ

コンピュータとプロジェクターを添付の USB ケーブルを使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。そのとき、コンピュータケーブルを接続する必要はありません。

● 有線 LAN / 無線 LAN 対応

LAN ポート (RJ-45) を装備しており有線 LAN に接続してコンピュータから本機へ画像を伝送したり、コンピュータから本機を制御したりできます。

また、添付の無線 LAN ユニットの無線 LAN を本機に取り付けると、無線 LAN に接続できます。

● 便利なユーティリティソフト (User Supportware) を標準添付

添付の NEC Projector CD-ROM にユーティリティソフト (Virtual Remote Tool, Image Express Utility Lite, PC Control Utility Pro 4/5,) を収録しています。

Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードから起動して使用することができます。

● オートパワーオン / オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入 / 切る機能があります。

- ・ダイレクトパワーオン …… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン …… 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号または HDMI 信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・オートパワーオフ …… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー …… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

● 無断使用や盗難を防止する機能を装備

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・セキュリティキーワード …… オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
- ・盗難防止用ロック …… 本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。
- ・セキュリティバー …… 本機は、一般的なセキュリティケーブル (またはワイヤー) を通す機構を装備しています。

● アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA^(注3) までの解像度に対応

WXGA (1280 × 800 ドット) にリアル対応しています。アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA (1920 × 1200 ドット) の入力信号までカバーしています。

(注3) WXGAモードオン時

● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター（本機） コンピュータやDVD プレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p>
	<p>ケーブルカバー（24FU2001） ケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。（☞21 ページ） ・工場出荷時は本体に取り付けています。</p>
	<p>リモコン（7N901131） 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。（☞28 ページ）</p> <p>単 4 乾電池（リモコン用） 2 本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード（アース付き）（7N080129/7N080125） AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>コンピュータケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（7N520089） コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（☞32, 99 ページ）</p>
	<p>ストラップ（ワイヤレスレシーバの落下防止用） 1 本 別売のワイヤレスレシーバ（NP01WR2）を取り付ける場合に、天吊り設置時の落下を防止します。（☞160 ページ）</p>

次ページに続く

	<p>電子ペン 2本 (7N901111) 本機のホワイトボード機能で使用します。(▶ 30 ページ) 電子ペンを使用する前にキャリブレーションを行ってください。(▶ 64 ページ)</p>
	<p>USB ケーブル (電子ペン充電用) (7N520090) 電子ペンを充電するときに使用します。(▶ 30 ページ)</p>
	<p>USB ケーブル (5 m) (7N520091) リモートマウスや USB ディスプレイを使用するとき、本機の USB ポート (タイプ B) とコンピュータの USB ポート (タイプ A) を接続します。(▶ 61, 62, 65, 99 ページ)</p>
	<p>無線 LAN ユニット (NP05LM3) 本機を無線 LAN に接続するときに、USB ポート (無線 LAN 用) に接続します。(▶ 111 ページ)</p>
	<p>NEC Projector CD-ROM (7N952151) PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書 [詳細版] (本書) とユーティリティソフトを収録しています。(▶ 117 ページ)</p>
	<p>クイックスタートガイド (7N8N5691) 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>取扱説明書 [簡易版] (7N8N5681) 安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体スクリーン側

カメラ

ホワイトボード機能を使用するときにスクリーンを撮影し、電子ペンの位置を感知します。

投写窓

ここから映像が投写されます。

スピーカ (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を出します。

(▶ 45 ページ)

フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます (下にあります)。

(▶ 39 ページ)

フィルタカバー／吸気口／フィルタ

フィルタ交換のときカバーを外します。フィルタは内部にほこりやゴミが入るのを防止します。(▶ 139, 148 ページ)

チルトフット

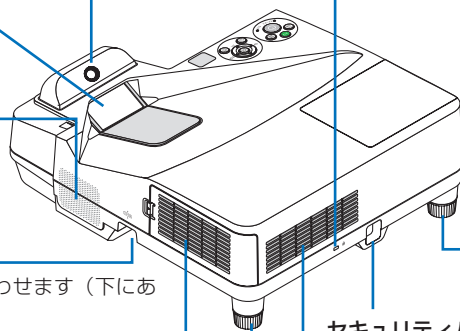
チルトフットを回すと上下に伸縮できます。

チルトフットを使って投写角度や左右の傾きの微調整ができます。(▶ 40 ページ)

盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは下記の **参考** をご覧ください。



チルトフット

セキュリティバー

セキュリティケーブル (またはワイヤー) を取り付けます。


本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

吸気口／フィルタ

内部にほこりやゴミが入るのを防止します。

(▶ 139, 148 ページ)

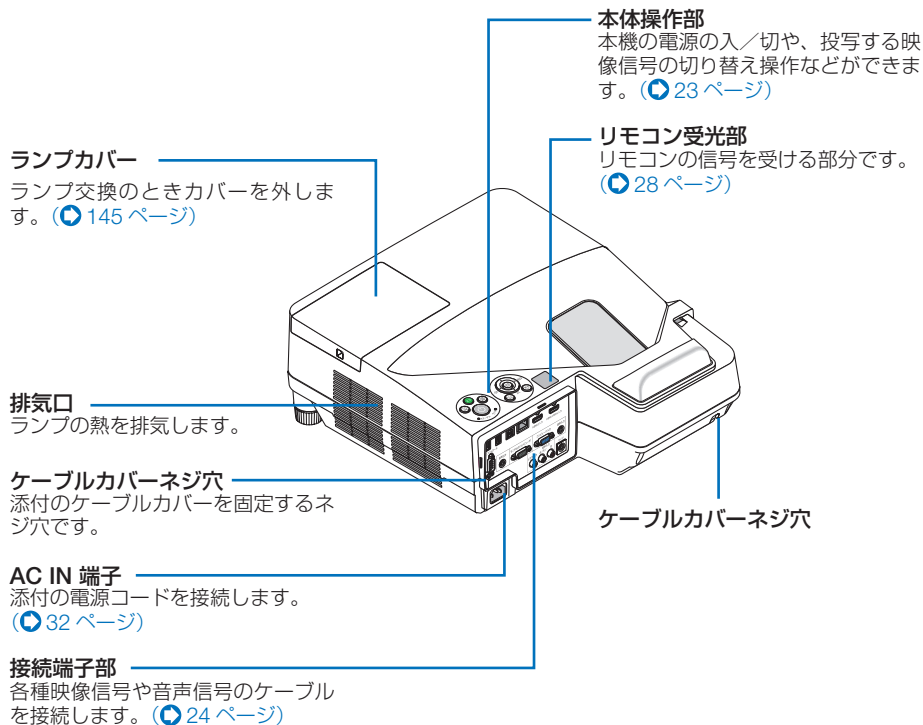
参考

- 盗難防止用ロックについて 
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本体端子側



● ケーブルカバーの取り外し/取り付け

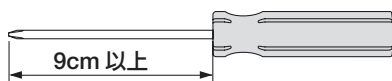
ケーブルカバーは、工場出荷時は本体に取り付けています。まずケーブルカバーを取り外してから、ケーブル類や電源コードを接続してください。



警告

- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。確実に固定されていないと、ケーブルカバーが外れてけがをするおそれがあります。また、落下してケーブルカバーが破損する原因となります。
- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーを持っての移動や無理な力を加えることはしないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

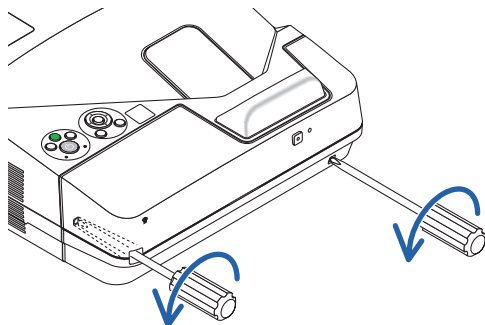
準備：図の部分の長さが9cm以上のプラスドライバーを用意してください。



取り外しかた

1 ケーブルカバーのネジ（左右）を空転するまで左にゆるめる。

・ネジは外れません。

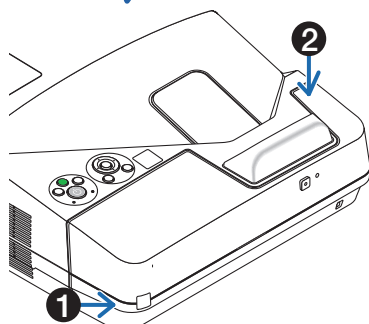


2 ケーブルカバーを取り外す。

1 下部を少し回転させると下部のロックが外れます。

2 矢印の箇所を押したままケーブルカバーを両手で持って、手前に引いて外します。

・真ん中が外れない場合は少し持ち上げると外れます。



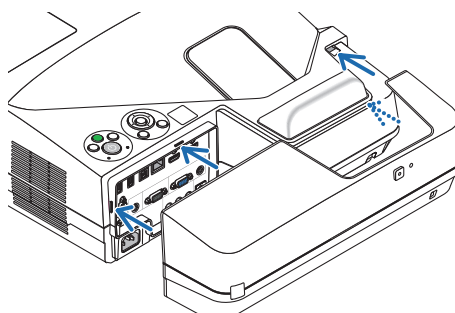
取り付けかた

(図は接続線を省略しています)

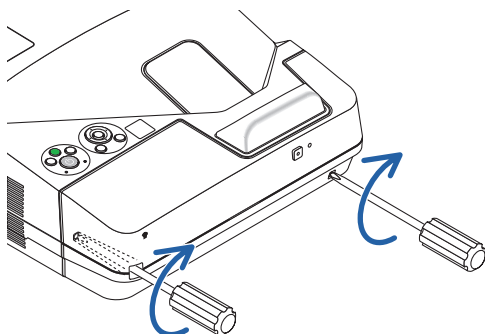
1 4箇所のツメを本体に合わせて押し込む。

「カチッ」と音がして本体に保持されます。

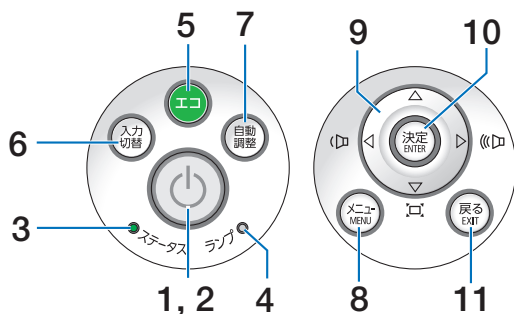
注意 ● 電源コードやケーブル類をケーブルカバーではさまないようにしてください。



2 左右のネジを締めて本体に固定する。



本体操作部



1 (電源) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) とときは、一度押しと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (電源) ボタンを押します。

2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。
([33](#), [167 ページ](#))

電源が切れている (スタンバイ状態) とときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は消灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。
([167 ページ](#))

4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。

([168 ページ](#))

5 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。

([51 ページ](#))

6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。

コンピュータ → HDMI1/MHL → HDMI2 → ビデオ → USB-B → APPS → コンピュータ…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 (自動調整) ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
([44 ページ](#))

8 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
([67 ページ](#))

9 (音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

・オンスクリーンメニューを表示しているときに (音量調整ボタン) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
([67 ページ](#))

・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(音量調整ボタン) ボタンを押すと、音量を調整できます。
([45 ページ](#))

・オンスクリーンメニューを表示していないときに (台形補正ボタン) ボタンを押すと、上下方向および左右方向の台形補正調整画面を表示します。
([42 ページ](#))

10 (決定) ボタン

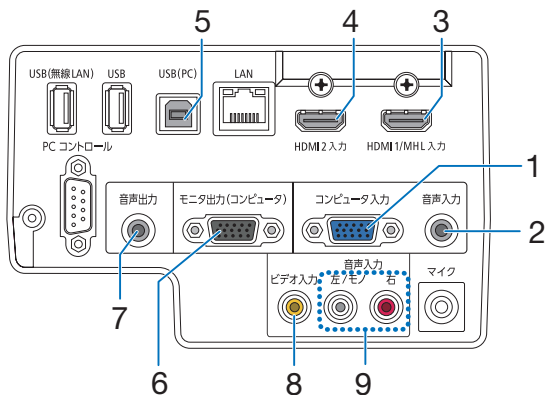
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

11 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピュータ映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

(☞ 32, 99, 105, 108 ページ)

2 コンピュータ音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。(☞ 99, 105 ページ)

本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

3 HDMI 1/MHL 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

(☞ 99, 101, 106 ページ)

また、MHLに対応したスマートフォンやタブレット端末と接続します。(☞ 107 ページ)
本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

(☞ 99, 101, 106 ページ)

本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

5 USB (PC) ディスプレイ端子 (USB) (タイプ B)

添付の USB ケーブル (USB 2.0 対応) を使ってコンピュータと接続すると、コンピュータケーブルを使用せずにコンピュータの画面を投写できます。

また添付の Image Express Utility Lite を使用するとコンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。(☞ 62 ページ)

6 モニタ出力 (コンピュータ) 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータ映像入力端子の映像信号を出力します。(☞ 102 ページ)

7 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声とマイク入力の端子の音声信号を出力します。

(☞ 102 ページ)

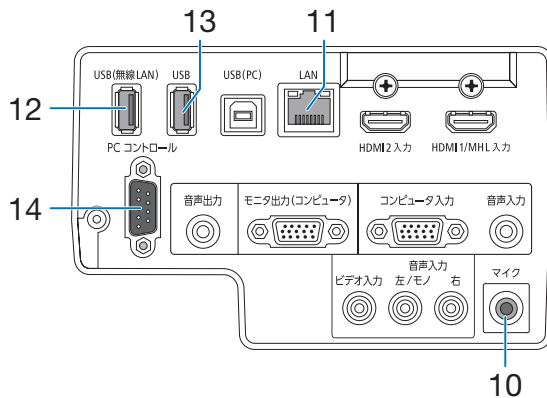
音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音が出なくなります。

8 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。(☞ 104, 108 ページ)

9 ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。(☞ 104 ページ)



10 マイク端子 (モノラル・ミニ)

市販のダイナミックマイクまたはコンデンサーマイクを接続すると、スピーカーからマイクの音声を出すことができます。

👉 60 ページ

11 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御したりファイル共有したりすることができます。

👉 110 ページ

12 USB (無線 LAN) ポート

添付の無線 LAN ユニットの接続します。

👉 111 ページ

13 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリを接続します。

USB メモリに画像データを保存すると本機のビューフで投写することができます。

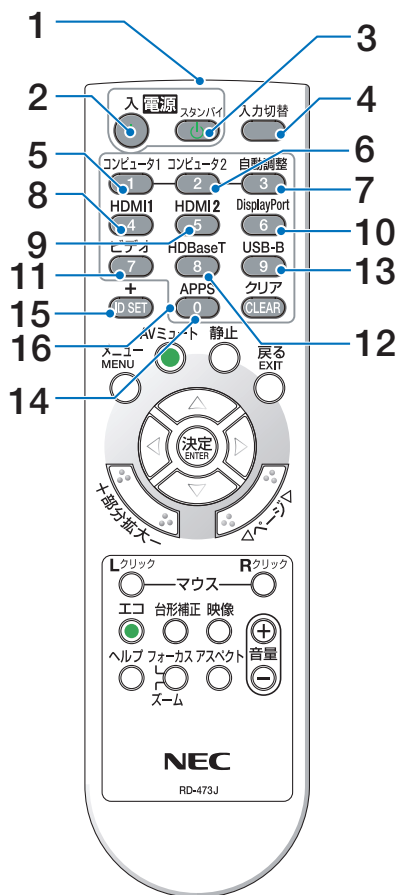
👉 114 ページ

市販の USB マウスを接続すると、APPS メニュー内の機能をマウスで操作できます。

14 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

1-4. リモコン各部の名称



4 (入力切替) ボタン
 入力信号を検出します。
 コンピュータ → HDMI1/MHL → HDMI2 →
 ビデオ → USB-B → APPS → コンピュータ…
 の順に自動でチェックし、入力信号を検出す
 ると、その信号を投写します。

5 (コンピュータ1) ボタン
 コンピュータ入力 (またはコンポーネント)
 を選択します。

6 (コンピュータ2) ボタン
 (本機では使用できません)

7 (自動調整) ボタン
 コンピュータ画面を投写しているときに、最
 適な状態に自動調整します。(▶ 44 ページ)

8 (HDMI 1) ボタン
 HDMI 1/MHL 入力を選択します。

9 (HDMI 2) ボタン
 HDMI 2 入力を選択します。

10 (DisplayPort) ボタン
 (本機では使用できません)

11 (ビデオ) ボタン
 ビデオ入力を選択します。

12 (HDBaseT) ボタン
 (本機では使用できません)

13 (USB-B) ボタン
 USB ディスプレイを選択します。

14 (APPS) ボタン
 APPS メニューを表示します。または、
 APPS メニューで前回使用していた機能を表示
 します。
 APPS メニューのアプリケーション動作中
 に押すとアプリケーションを一時停止状態に
 し、APPS メニューに戻ります。

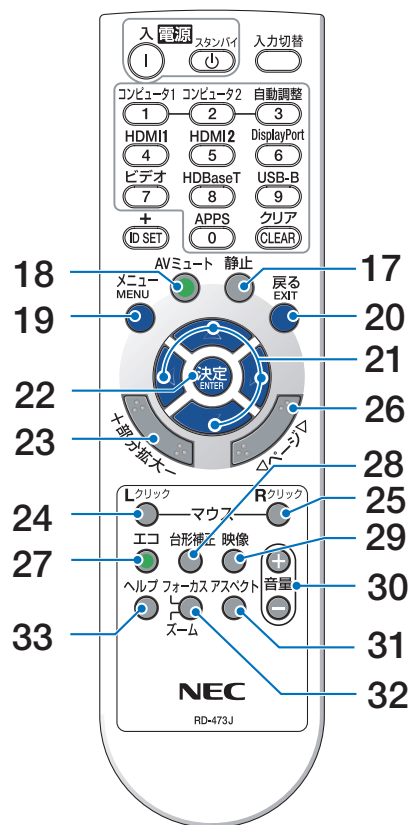
15 (ID SET) ボタン
 複数台のプロジェクターを本機のリモコンで
 個別に操作するときのコントロール ID 設定
 に使用します。(▶ 89 ページ)

16 数字 (0) ~ (9) 入力ボタン
 複数プロジェクターを本機のリモコンで個別
 に操作する場合の ID 入力に使用します (コ
 ントロール ID 設定)。
 (CLEAR (クリア)) ボタンはコントロール ID
 設定を解除する場合に使用します。
 (▶ 89 ページ)

1 リモコン送信部
 赤外線によるリモコン信号が送信されます。
 本体のリモコン受光部に向けて操作してくだ
 さい。

2 電源(入) ボタン
 スタンバイ時 (電源インジケータが赤色*に
 点灯) に本機の電源を入れます。(※スタン
 バイモードが「ノーマル」に設定されている
 とき)

3 電源(スタンバイ) ボタン
 一度押して電源オフ確認メッセージを表示し
 てもう一度 (スタンバイ) (または (決定)) ボタ
 ンを押すと、本機の電源が切れます (スタン
 バイ状態)。



また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続するとコンピュータのマウスとして動作します（リモートマウス）。

（▶ 61 ページ）

22 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

23 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。（▶ 50 ページ）

24 (マウス L クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。（▶ 61 ページ）

25 (マウス R クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。（▶ 61 ページ）

26 (ページ 上/下) ボタン

ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。（▶ 61 ページ）また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。（▶ 61 ページ）

27 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。（▶ 51 ページ）

28 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。（▶ 42 ページ）

29 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。（▶ 75, 77 ページ）

30 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

31 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。（▶ 80 ページ）

32 (フォーカス/ズーム) ボタン

デジタルズーム調整画面を表示します。（▶ 41 ページ）

33 (ヘルプ) ボタン

情報画面を表示します。（▶ 96 ページ）

17 (静止) ボタン

画面の左下にキャプチャメニューが表示されます。もう一度押すと戻ります。（▶ 48 ページ）

18 (AV ミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。（▶ 48 ページ）

19 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

20 (戻る) ボタン

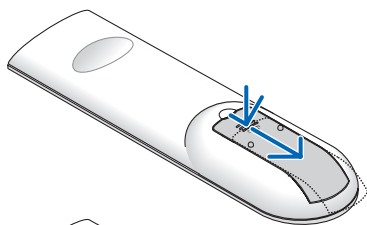
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

21 (左右) ボタン

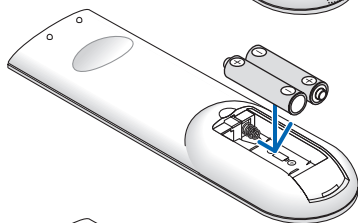
オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。（▶ 67, 50 ページ）

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押し
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

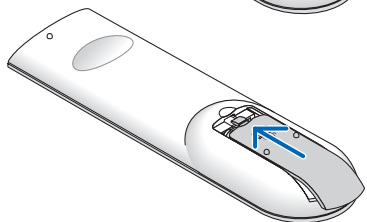


2 ケース内部に表示している+、-の向き
に合わせて単4乾電池をセットする。



3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります
ので、スライドさせて閉めてください。



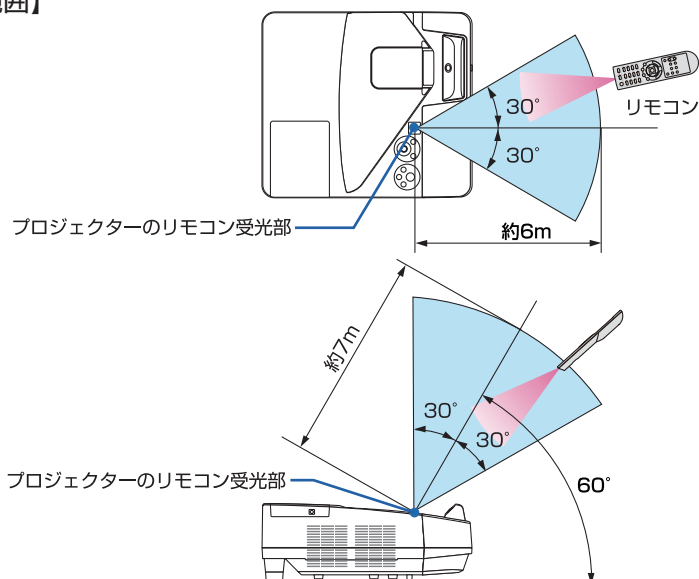
注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】

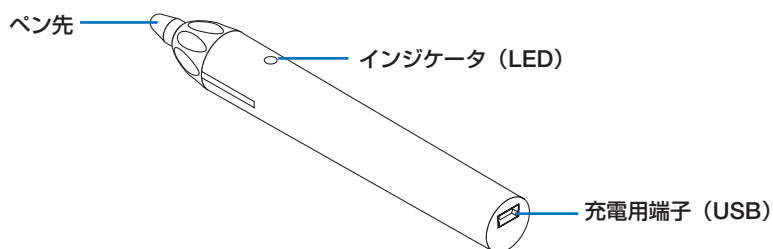


(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

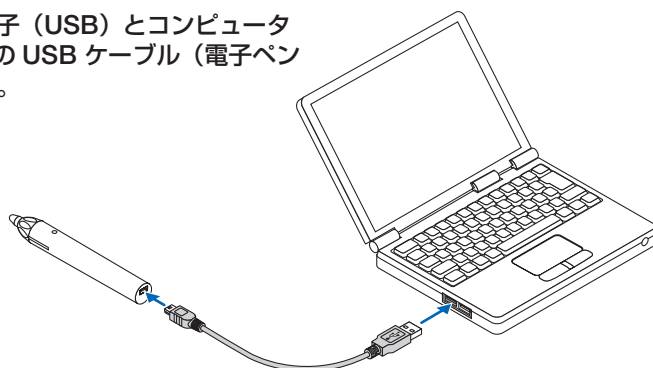
- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があったりして信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約 7m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いをしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。

1-5. 電子ペン各部の名称



● 充電のしかた

- 1 電子ペンの充電用端子 (USB) とコンピュータの USB 端子を添付の USB ケーブル (電子ペン充電用) で接続する。



- 2 自動で充電を開始し、3分ほどで完了します。
 - ペン先を押した時にインジケータ (LED) が赤く点灯するのは、使用可能状態を表します。
 - 使用中にインジケータ (LED) が点灯しなくなったときは、再度充電してください。

● 電子ペンの使用上の注意

- 電子ペンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- 電子ペンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

コンピュータと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



ステップ 2

本機の電源を入れる (▶33 ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶35 ページ)



ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶38 ページ)
台形歪みを調整する (▶42 ページ)



ステップ 5

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (▶44 ページ)
・本機の音量を調整する場合 (▶45 ページ)



ステップ 6

プレゼンテーションを行う



ステップ 7

本機の電源を切る (▶46 ページ)



ステップ 8

移動するときは (▶47 ページ)

2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」99ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



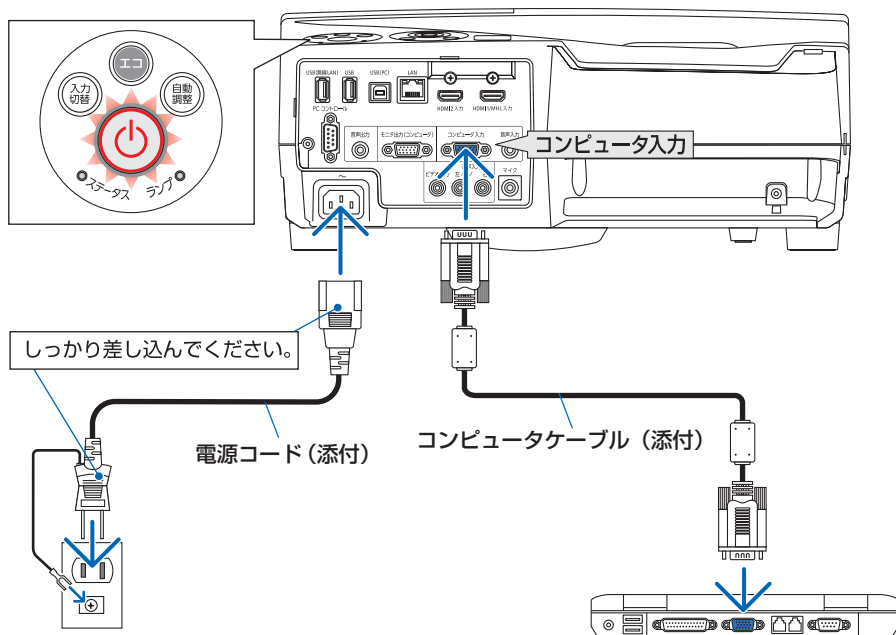
注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータが赤色*に点灯します（スタンバイ状態）。

* スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。

(▶ 93 ページ)



注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

1 電源ボタンを押す。

しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

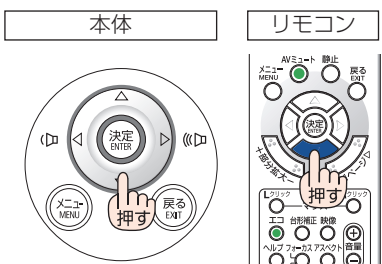
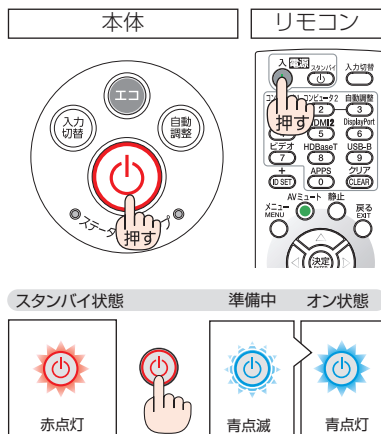
- リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます(工場出荷時のメニュー設定時)。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。(▶39ページ)

参考

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(▶58ページ)
- エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。(▶85ページ)
- 電源ボタンやメニューボタンなどを押すとピープ音を出します。ピープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。(▶92ページ)

- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。

- ### 2 方向ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

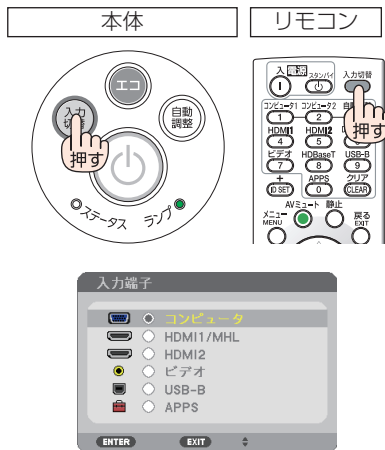
1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (入力切替) ボタンを押す。

入力端子画面が表示されます。

- コンピュータ → HDMI1/MHL → HDMI2 → ビデオ → USB-B → APPS の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
- 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



2

映像を投写する(基本操作)

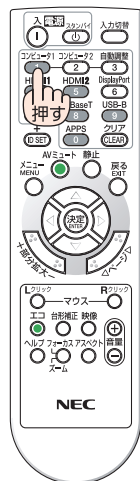
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。

DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (コンピュータ1)、(HDMI 1)、(HDMI 2)、(ビデオ)、(USB-B)、(APPS) ボタンを押す。

(コンピュータ1) ボタンはコンピュータ映像入力端子に切り替わります。



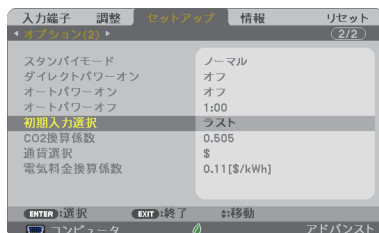
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- ・ オンスクリーンメニューの操作については、「4-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (67 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン）。
 (🔗 94 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
 DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
 ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows の場合はファンクションキーを使います。
 [Fn] キーを押したまま (L/R) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクトが認識する時間)すると投写されます。
 通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
 - ・ Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力(モニタ出力) にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

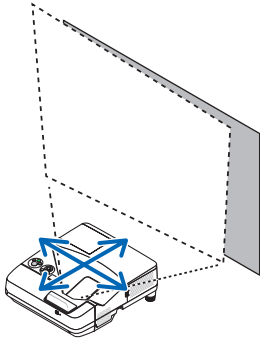
[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
 表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
 - それでも投写しない場合は (入力切替) ボタンをもう一度押してください。
 (🔗 35 ページ)

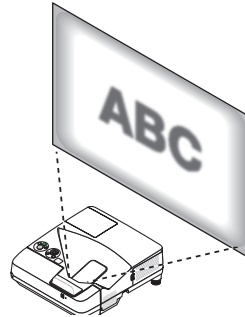
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、フォーカスリングおよびメニューのデジタルズーム機能などを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

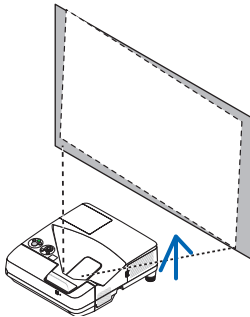
設置位置の調整 (🔗 次ページ)



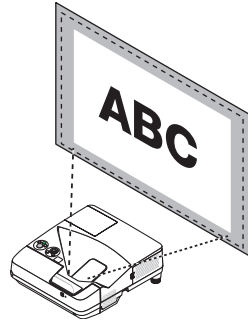
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】 (🔗 次ページ)



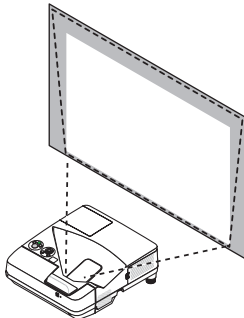
左右の傾き微調整【チルトフット】
(🔗 40 ページ)



投写画面の大きさの調整
【デジタルズーム機能】 (🔗 41 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】
(🔗 42 ページ)



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

設置位置の調整

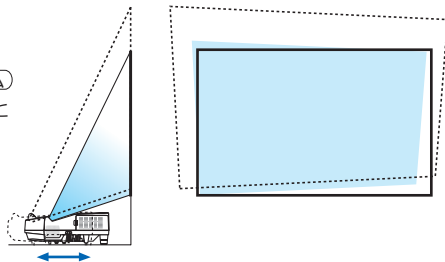
本機はスクリーンとプロジェクターの投写距離を少しでも変えると画面サイズおよび投写画面の高低が大幅に変化します。あらかじめ、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」に従ってスクリーンとプロジェクターの設置位置を決めてください。(▶151 ページ)
テストパターンを映すと調整しやすくなります。(▶90 ページ)

1 投写画面をスクリーンに収める。

本体を前後左右に動かしてスクリーンの幅に合わせます。

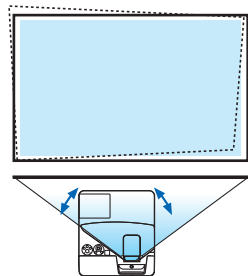
- 画面の大きさはリモコンの **フォーカス/ズーム** ボタンを使って約 70% に小さくすることができます。(▶41 ページ)

高さが大幅に合わない場合は、スクリーンまたは本体の設置高さを変えてください。



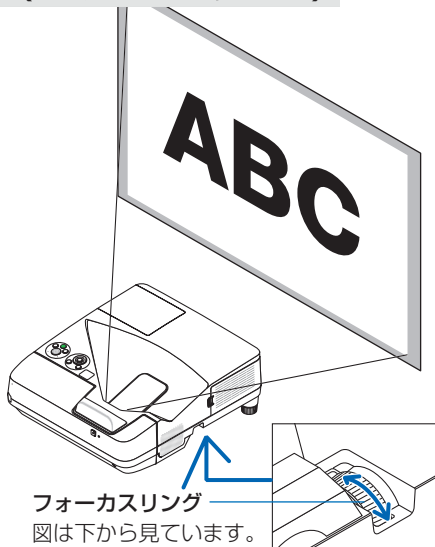
2 本体とスクリーンを平行にします。

投写画面の上辺と下辺が平行になっていない場合は画面を見ながら本体をわずかに回転させて平行にします。横にはみ出た場合は、平行を保ったままスクリーンの中央に移動してください。



投写画面のフォーカス合わせ (フォーカスリング)

1 フォーカスリングを回す。



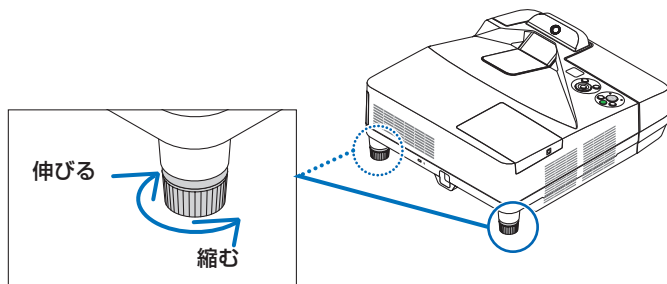
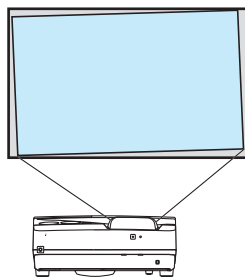
投写画面の傾き(左右)微調整(チルトフット)

1 チルトフットを回して左右の傾きを調整する。

チルトフットは左右にあります。

上げたい方のチルトフットを回します。

台形歪みが出ているときは、本体の(▼)ボタン(リモコンは(台形補正)ボタン)を使って歪みを調整してください。(42 ページ)



注意

- チルトフットは18mm以上伸ばさないでください。18mmを超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、本体から外れます。
- チルトフットは、本機の角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

投写画面の大きさの微調整（デジタルズーム機能）

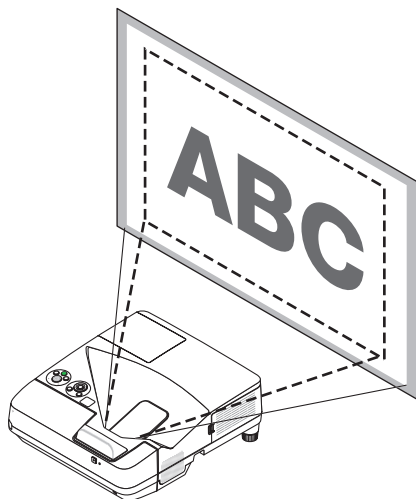
リモコンを使ってズームの微調整を行ないます。

- 1 **フォーカス/ズーム** ボタンを押す。
デジタルズーム調整画面が表示されます。



- 2 **◀▶** ボタンを押す。
投写画面の大きさを微調整します。

- 3 調整が終わったら、**決定** ボタンを押す。
デジタルズーム調整画面が消えます。



注意

- デジタルズームは、電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力端子選択が USB-B のときは調整できません。

2

映像を投写する（基本操作）

2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

本機とスクリーンを正しく設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。

ここではスクリーンに向かって斜め横から投写した場合の台形歪みを調整する手順を説明しています。

●台形補正調整の前に

台形補正画面には台形補正 水平、台形補正 垂直、4点補正、ピンクッション補正、リセットの項目があります。すでに、4点補正またはピンクッション補正を調整しているときは、台形補正 水平、台形補正 垂直がグレイ表示になり選択できません。このときは、リセット操作をしてから、行ってください。

1 APPS 端子以外でオンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の （台形補正）ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。

投写画面に台形補正画面が表示されます。

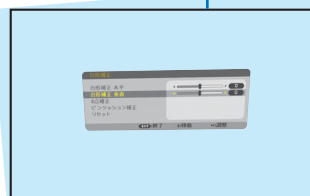


- ・ピンクッション補正については [55 ページ](#)をご覧ください。
- ・4点補正については [54 ページ](#)をご覧ください。
- ・リセットについては[次ページ](#)をご覧ください。

2 ボタンを押して「台形補正 垂直」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

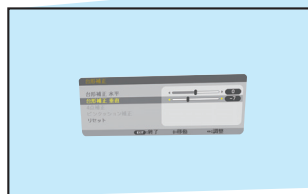
投写画面の外枠
スクリーンの外枠



3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

（左辺を合わせる）

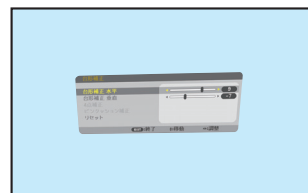


4 ボタンを押して「台形補正 水平」にカーソルを合わせ、 ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

- ・右の図のように左辺を合わせた場合は、

 ボタンを押します。



5 手順2～4を繰り返し、台形歪みを調整する。

6 台形歪みの調整が終わったら、**戻る**ボタンを押す。

台形補正画面が消えます。

- 再び台形歪みを調整する場合は、**▼** (台形補正) ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順1～6を行ってください。



注意

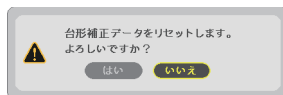
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても台形補正の調整値を保持しています。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正值を初期値に戻すには

1 台形補正画面を表示させ、**▼** ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



2 **◀▶** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。
確認画面が消えリセットされます。



注意

- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。

参考

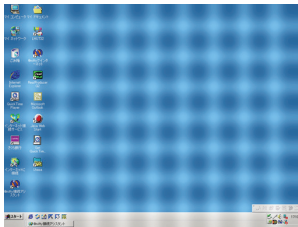
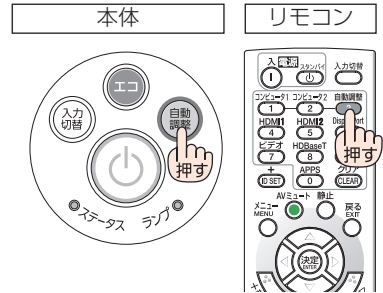
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正から行えます。(82 ページ)

2-7. コンピュータの映像を自動調整する

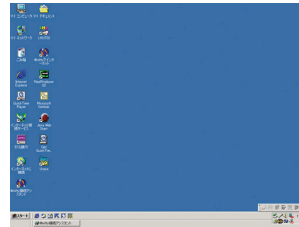
コンピュータの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 78, 79 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、165 ページを参照してください。

2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、**◀/▶** ボタンを押す。

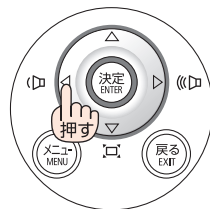
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、**(部分拡大+)** ボタンで画面を拡大しているとき、および APPS 端子表示中は、**◀/▶** ボタンを使った音量調整はできません。



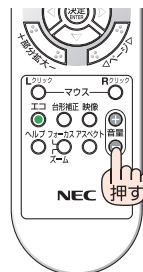
リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの **(音量 +/-)** ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



参考

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。
(▶ 92 ページ)

2

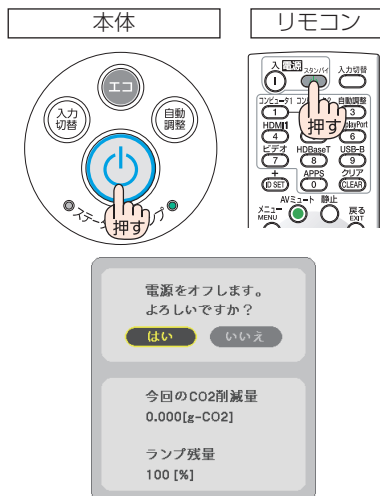
映像を投写する (基本操作)

2-9. 本機の電源を切る

1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO₂ 削減量 (52 ページ) と、ランプ残量を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (スタンバイ) ボタンを押します。

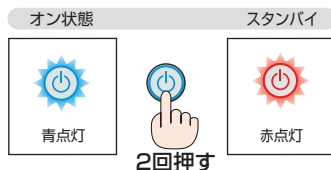


2 (決定) ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータが赤色で点灯します。また、ステータスインジケータが消灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、電源ボタンまたは電源 (スタンバイ) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(戻る) ボタンで「いいえ」を選んで (決定) ボタンを押します。



注意

投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. 移動するときは

- 1 ケーブルカバーを取り外す。(🔗 21 ページ)
- 2 電源コードを取り外す。
- 3 各種信号ケーブルを取り外す。
 - ・ 本機に USB メモリや無線 LAN ユニットを挿している場合は取り外してください。



注意

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

3. 便利な機能

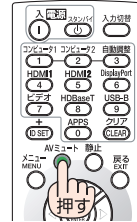
3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AVミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。(▶92 ページ)
- 節電機能が動いた直後に (AVミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

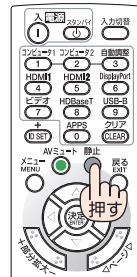
3-2. 動画を静止画にする/ 画面をキャプチャする (静止)

1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

画面の左下にキャプチャメニューが表示されます。

(▶次ページ)

- 静止アイコンにフォーカスを合わせ (決定) ボタンを押すと、動画が静止画になります。
- もう一度 (静止) ボタンを押すか静止アイコンを選択すると、動画に戻ります。



参考

- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

● 本機で投写した画面イメージを一時的に内蔵メモリに保存する (画面キャプチャ)

(静止) ボタンを押すと、画面の左下にキャプチャメニューが表示されます。約3秒間操作をしないと、キャプチャメニューは消えて、動画が静止画になります。

フォーカス

選択されている項目を表します。黄色い縁どりで表示されます。フォーカスは(◀▶)ボタンを押して移動します。

キャプチャ

表示されている画面を一時的にプロジェクターの内蔵メモリに保存します。内蔵メモリを「プロジェクターメモリ」と呼びます。



静止

動画が静止画になります。
もう一度ボタンを押すと、動画に戻ります。

キャプチャ&ホワイトボード

画面をキャプチャし、ホワイトボードを起動します。

- キャプチャした画像は、APPS メニューのビューワやウェブシェアリング機能で呼び出して表示することができます。さらにウェブシェアリング機能では、ネットワークで接続しているコンピュータやスマートフォンなどに画像を保存することができます。
- キャプチャアイコンは、入力端子や信号によって選択できない場合があります。次のときにキャプチャアイコンは選択できません。
 - ・ビデオ入力端子で、コンテンツ保護（コピーガード）信号のとき
 - ・HDMI/MHL 入力端子で、コンテンツ保護（HDCP）信号のとき
 - ・ビューワの動画再生画面
 - ・APPS メニューの Miracast
- キャプチャした画像は次のフォーマットになります。
 - ・フォーマット：JPEG
 - ・解像度：1280 × 800 ドット（本機のパネル解像度）
 - ・ファイルの作成日時：本機の日付と時刻 (● 116 ページ)



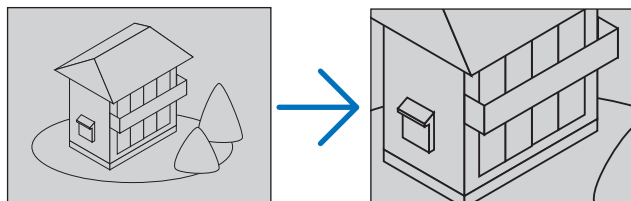
- プロジェクターの電源を切ると、キャプチャした画像は内蔵メモリから消えます。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1 リモコンの (部分拡大+) ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- ・最大 4 倍まで拡大できます。



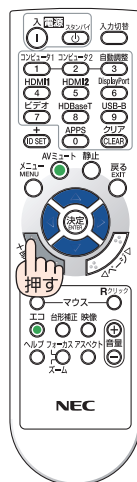
2 ▼▲◀▶ ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 (部分拡大-) ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- ・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。



- ・信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
- ・入力端子選択が USB-B のときは使用できません。



- ・拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- ・映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機の CO₂ 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減したり、ランプ交換時間(目安)*を延ばしたりします。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	ランプの輝度	ランプインジケータ の状態
オフ (表示なし)	ランプの輝度(明るさ)が100%になります。 明るい画面になります。	
オートエコ (🌿)	映像の明るさを判定してランプの輝度を自動で「オフ」または「エコ1」に切り替えます。	
エコ1 (🌿)	ランプの輝度(明るさ)が約80%になります。 ランプ電力を下げることで、ランプ交換時間(目安)*が延びます。	
エコ2 (🌿)	ランプ輝度(明るさ)が約60%になります。 ランプの状態に最適なランプ電力コントロールを行い、ランプ交換時間(目安)*がさらに延びます。最大でエコ1相当の電力になります。	

エコ1／エコ2を選択するとランプ交換時間(目安)*が延びます。
ランプの輝度(明るさ)が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

*：保証時間ではありません。

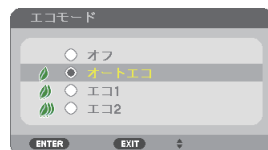
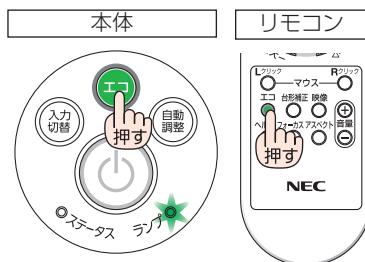
エコモードに切り替える

- 1** **エコ** ボタンを1回押す。
エコモード選択画面が表示されます。

- 2** さらに**エコ** ボタンを押して選択する。


エコ ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→オフに切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。

- ・エコモード時はランプインジケータが緑色で点灯します。



注意

- ・オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

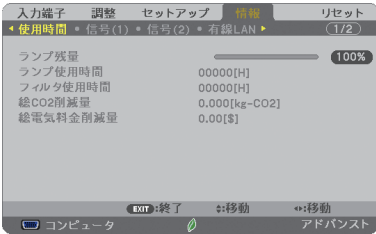
- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(🔗 85 ページ)
- ランプ残量／ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(🔗 96 ページ)
- 電源を入れた直後の約 90 秒間は、常にエコ1 モードになります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わりランプインジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度（明るさ）を下げる場合があります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に  アイコンが表示されます。
室温を下げたり、ファンモード (🔗 91 ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。
強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- エコ2 からオフ、オートエコ、エコ1 に切り替えた直後に、一時的にランプの輝度（明るさ）が下がることまれにありますが、異常ではありません。

省エネ効果を見る（カーボンメータ）

本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

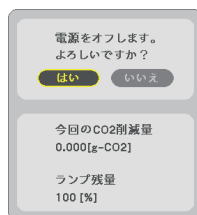
表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(🔗 96 ページ)



入力端子	調整	セットアップ	情報	リセット
← 使用時間	信号(1)	信号(2)	有線LAN	(1/2)
ランプ残量	100%			
ランプ使用時間	00000[H]			
フィルタ使用時間	00000[H]			
総CO2削減量	0.000[kg-CO2]			
総電気料金削減量	0.00[\$]			

「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO₂ 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数を掛けて算出*します。
エコモードを設定して使用したり AV ミュートをを使用すると、CO₂ 排出削減量の値は増加します。
* CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。


3-5. 投写画面の歪みを調整する (4点補正 / ピンクッション補正)

台形補正の4点補正画面やピンクッション補正画面を表示して、投写画面の歪みを調整します。

●調整の前に



台形補正には、台形補正 水平と台形補正 垂直(同時調整可)、4点補正、ピンクッション補正があります。いずれかの補正を行うと、他の補正はグレイ表示になり選択できません。他の補正を行うときは、リセット操作をしてから行ってください。

4点補正を行う

- 1 APPS 端子以外でオンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の  (台形補正) ボタンを押す。

・リモコンは(台形補正)ボタンを押します。
投写画面に台形補正画面が表示されます。



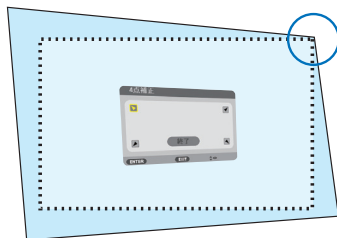
- 2  ボタンを押して [4点補正] にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。




4点補正画面が表示されます。



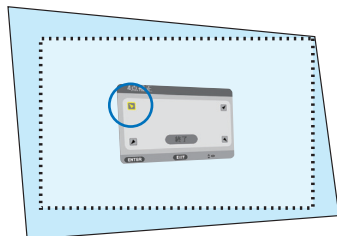
- 3 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

- 4 スクリーンと投写画面の角を合わせる(図は右上の角)。

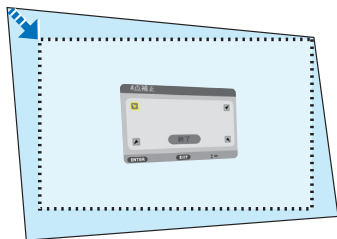


- 5   ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ(図は左上の )。

- 6  ボタンを押す。

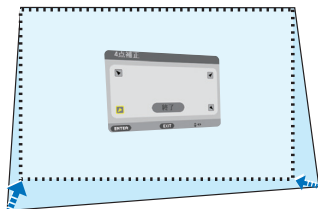


- 7 **▼▲◀▶** ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かし。

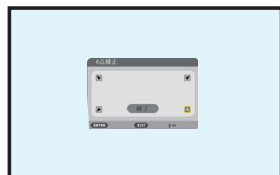


- 8 **決定** ボタンを押す。

- 9 **▼▲◀▶** ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。



- 10 手順7～10を繰り返し、投写画面の歪みを調整する。



- 11 投写画面の歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、**決定** ボタンを押す。

4点補正の調整終了画面が表示されます。

- 12 **◀▶** ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して**決定** ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

戻る ボタンを押しても4点補正画面に戻りません。



ピンクッション補正を行う

ピンクッション補正は上下左右の辺のいずれか1つが調整できます。

プロジェクターはスクリーン面に対して真正面にし、台形歪みがでないように設置してください。(📍39 ページ)

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに本体の **▼** (台形補正) ボタンを押す。

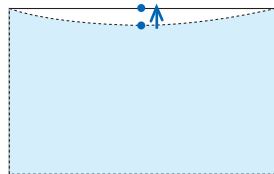
- ・リモコンは**台形補正** ボタンを押します。投写画面に台形補正画面が表示されます。



2 ▼ ボタンを押して、「ピンクッション補正」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

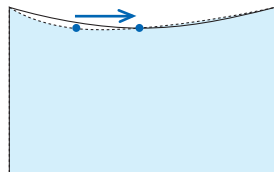
3 ▼/▲ ボタンで上下左右のいずれかの辺を選択し、◀/▶ ボタンを押して、投写画面のわん曲歪みを調整する。

- 注意**
- 1つの辺を調整すると、その他の3つの辺は調整できません。
 - 調整する辺を変更する場合は、調整中の辺の調整値を「0」に戻してください。



※上端歪み調整例(イメージ図)

4 ▼/▲ ボタンで基準点を選択し◀/▶ ボタンを押して、わん曲した辺の頂点の位置を移動する。



※上端基準点移動例(イメージ図)

5 調整が終わったら、(戻る) ボタンを押す。
全般画面に戻ります。

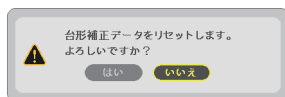
- 注意**
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えてもピンクッション補正の調整値を保持しています。
 - 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

台形補正值、ピンクッション補正值を初期値に戻すには

1 台形補正画面を表示させ、(▼) ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

2 (◀/▶) ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。
確認画面が消えクリアされます。

- 注意**
- リセットを行うと台形補正画面の項目、全ての調整値が初期化されます。



3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

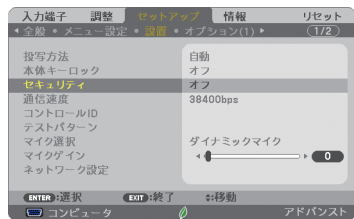
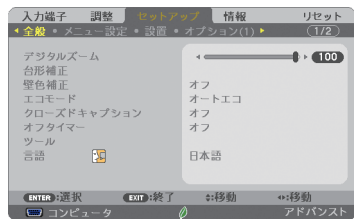
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できません。

注意

● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

- 1** **[メニュー]** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **[▶]** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **[▶]** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **[▼]** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **[▼]** ボタンで「オン」を選択し、**[決定]** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **[▼▲▶]** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**[決定]** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

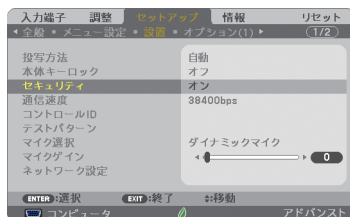
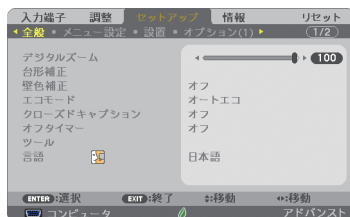


3

便利な機能

セキュリティを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



3

便利な機能

参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[▶ 裏表紙](#)）にご連絡ください。

3-7. マイクを接続する

マイク端子に市販のダイナミックマイクまたはコンデンサーマイクを接続すると、スピーカからマイクの音声を出すことができます。

また会議室や教室でのプレゼンテーションや講義のときに、入力した音声にかぶせてマイクの音声を出力することができます。

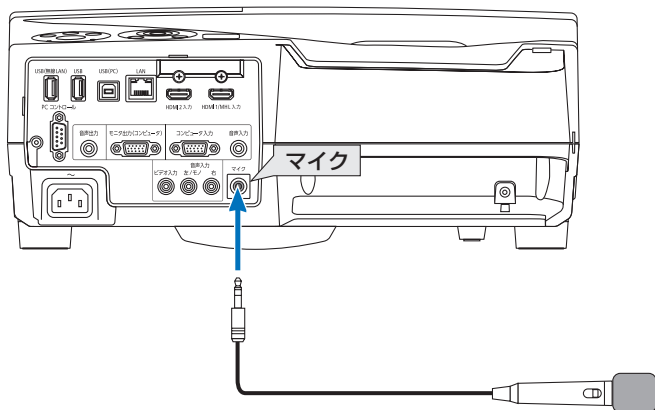
マイク音量は、本体の音量調整ボタン (◀/▶) およびリモコンの(音量 +/-) ボタンで調整できます。

ダイナミックマイクとコンデンサマイクを選択はメニューの「セットアップ」→「設置」→「マイク選択」で行ってください。

マイクの感度はメニューの「セットアップ」→「設置」→「マイクゲイン」で選択できます。(👉 90 ページ)

注意

- HDMI1/MHL または HDMI2 入力信号の入力状態により、マイクの音声が出力されないことがあります。
- マイク端子に音声ケーブルを接続しないでください。音声信号を入力すると、大音量で出力され、スピーカが壊れることがあります。

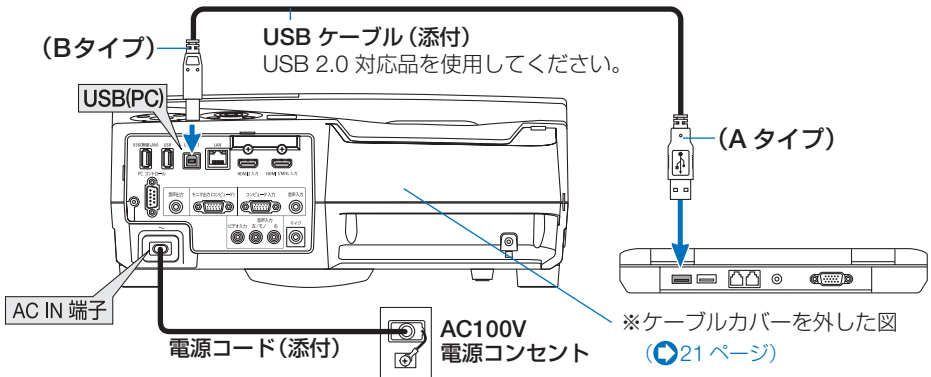


ダイナミックマイクまたはコンデンサーマイク

3-8. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う(リモートマウス)

添付の USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

- リモコンの(USB-B)ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「USB-B」を選択してください。
- USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、USB ディスプレイも起動します。
(▶62 ページ)
- 本機とコンピュータをはじめて USB ケーブルで接続する場合、コンピュータにソフトウェアを読み込むため、USB ディスプレイが起動するまでしばらく時間がかかります。



注意

- リモートマウスは、次の OS において使用できます。
Windows 8/Windows 7/Windows Vista
- コンピュータの USB ポートから USB ケーブルのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータが USB ケーブルを正しく認識できないことがあります。
- USB ケーブルを接続する際は、コンピュータを起動している状態で行ってください。コンピュータと本機を USB ケーブルで接続したあとコンピュータを起動すると、コンピュータが起動しないことがあります。

リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (ページ ▽/△) ボタン..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- (▼▲◀▶) ボタン マウスポインタを移動します。
- (マウス L クリック) ボタン、(決定) ボタン.... マウスの左クリックの働きをします。
- (マウス R クリック) ボタン..... マウスの右クリックの働きをします。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

3-9. USB ケーブルを経由して画像を投写する (USB ディスプレイ)

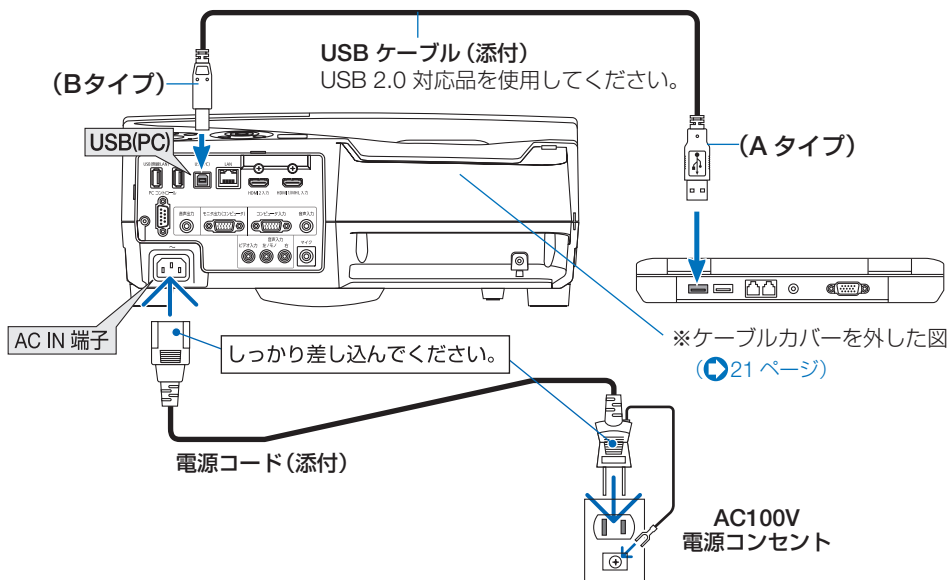
市販の USB ケーブルを使ってコンピュータとプロジェクターを接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。

また、コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。



- USB ディスプレイは、NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite の機能を利用しています。 (▶118 ページ)
お使いのコンピュータに Image Express Utility Lite がインストールされていない場合は、プロジェクター本体に内蔵している Image Express Utility Lite を自動的に起動します。その場合、Image Express Utility Lite はコンピュータにインストールされません。

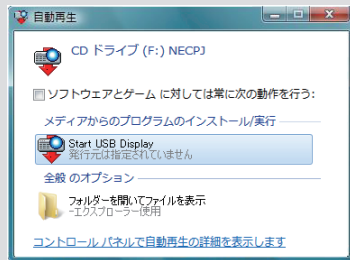
- 1 コンピュータを起動する。
- 2 プロジェクターの電源を入れ、USB-B 端子に切り替える。
- 3 コンピュータとプロジェクターを USB ケーブルで接続する。
 - ・画面の上部に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。





注意

- コンピュータ本体の設定によっては、プロジェクトターとの接続を検出した際に、「自動再生」ウィンドウを表示する場合があります。「自動再生」ウィンドウが表示されたときは「Start USB Display」をクリックしてください。



4 コントロールウィンドウを操作する。



名称	説明
① (入力)	プロジェクトターの入力信号を切り替えます。
② (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、124 ページをご覧ください。
③ (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
④ (その他)	更新、HTTP サーバ ^(注) 、設定、情報が行えます。 ^(注) HTTP サーバは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑤ (投写)	投写画面の切り替え、非表示/表示、割り込み禁止/許可、終了が行えます。 注意 ● USB ケーブル接続時は、投写画面の切り替え、非表示/表示、割り込み禁止/許可は選択できません。
⑥ (ヘルプ)	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。



注意

- USB ディスプレイのコントロールウィンドウで (ヘルプ) をクリックしたとき、英語のヘルプが表示されることがあります。日本語のヘルプを表示するには、NEC Projector CD-ROM から Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールしてください。

3-10. 電子ペンを使用する(キャリブレーション)

電子ペンをはじめて使用するときやプロジェクターの設置場所を変更したときは、電子ペンでタッチした位置を正しく認識させるために、必ずペン設定画面を表示してキャリブレーションを行ってください。

ペン設定には、次の3つの設定があります。

自動キャリブレーション	自動で電子ペンの位置合わせを行います。手軽に位置合わせを行いたいときに選択します。
手動キャリブレーション	手動で電子ペンの位置合わせを行います。プロジェクターを常設するときや、より高精度な位置合わせを行いたいときに選択します。
リモートペン	電子ペンで画面をタッチしてコンピュータのマウス操作が行えます。リモートペンを行うときは、プロジェクターのUSB-BポートとコンピュータのUSB-Aポートを添付のUSBケーブルで接続してください。 注意 リモートペンを行うには、最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software をコンピュータにインストールしてキャリブレーションを行う必要があります。 最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software は当社のホームページからダウンロードしてください。 URL: http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html

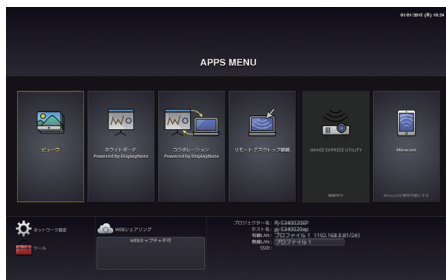
電子ペンのキャリブレーションを行ったら、APPSメニューの「ホワイトボード」などで電子ペンが使用できます。



- ペン設定画面では、別売のタッチモジュールの調整も行うことができます。タッチモジュールの調整方法は、当社のホームページに掲載している説明書をご覧ください。

自動キャリブレーション

- 1** リモコンの(APPS)ボタンを押す。
APPSメニューが表示されます。



- 2** [ツール] → [ペン設定] を選択する。
ペン設定画面が表示されます。

- 3** 「自動キャリブレーション」にフォーカスを合わせ、**決定**ボタンを押す。

キャリブレーションが開始されます。

5～8秒ほどで位置合わせが終了し、キャリブレーション完了のメッセージが表示されます。

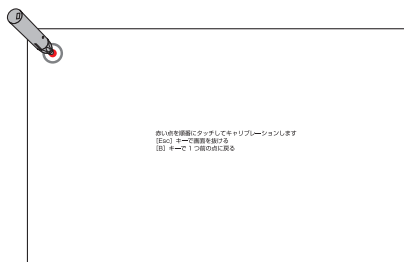
手動キャリブレーション

- 1** ペン設定画面で「手動キャリブレーション」にフォーカスを合わせ、**決定**ボタンを押す。

投写画面が手動調整画面に切り替わり、画面の左上に赤い点が表示されます。

- 2** 電子ペンで赤い点の中心をタッチする。

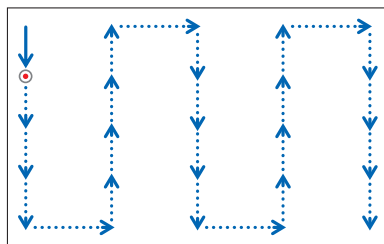
・赤い点をタッチすると、赤い点が25箇所順番に表示されます。



- 3** 25箇所すべての点をタッチする。

位置合わせが終了し、キャリブレーション完了のメッセージが表示されます。

注意 ・外光の影響で手動キャリブレーションが実施できない場合があります。



リモートペン

- 1** 「3-8. USB ケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う (リモートマウス)」と同様に、本機とコンピュータを添付のUSBケーブルで接続する。(61 ページ)

- 2** ペン設定画面の「リモートペン」にフォーカスを合わせ、**決定**ボタンを押す。

チェックマークが付きます。

- 3** リモコンの**USB-B**ボタンを押す。

・またはオンスクリーンメニューの入力端子で「USB-B」を選択します。コンピュータの画面表示に切り替わります。

4 コンピュータで最新の電子黒板キット用 IWB Setup Software を起動してキャリブレーションを行う。

電子ペンを使ってマウス操作が行えるようになります。



注意

- リモートペンを有効にすると、コンピュータのマウス操作を電子ペンで行えますが、本機（プロジェクター）のメニューやホワイトボードの操作は電子ペンで行えなくなります。

4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

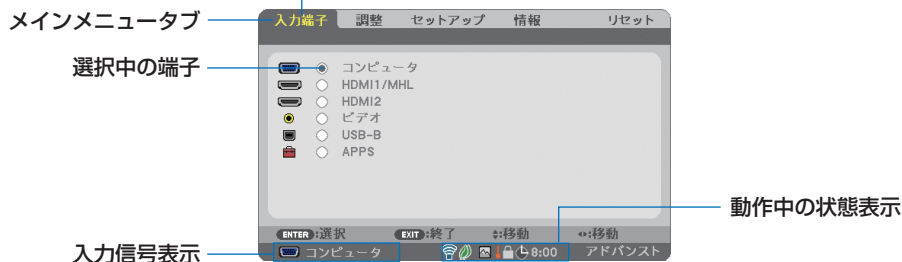
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

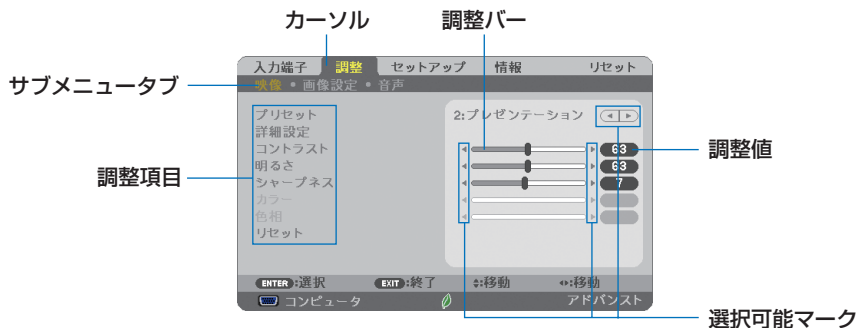
カーソル (黄色の部分)



無線 LAN ユニットの動作中、エコモード設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。





3 (▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・ 「 (選択可能マーク)」が付いている項目は (◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

「 (選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (決定) ボタンを押します。

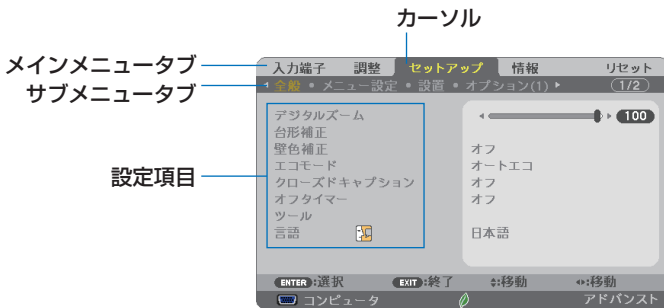
- ・ 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ (決定) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (戻る) ボタンを 2 回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



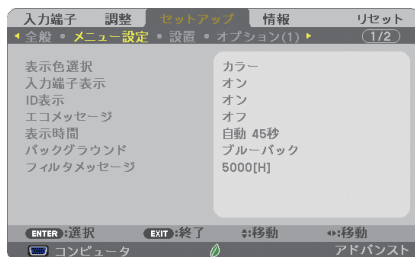
7 (決定) ボタンを押す。

一般にカーソルが移動します。

- ・ セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション (1)、オプション (2) という 5 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。

8 (▶) ボタンを 1 回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。

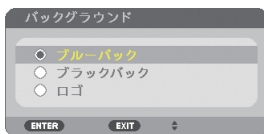


次ページに続く

- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。

- ・選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。


- 12 (メニュー) ボタンを1回押す。
メニューが消えます。



- ・入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

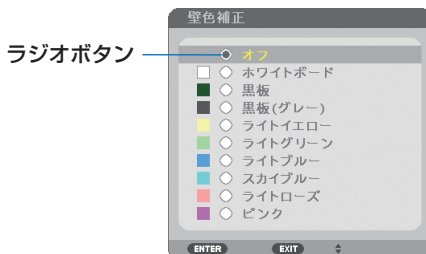
調整画面、設定画面の操作例

● ラジオボタンの選択


選択肢の中からから1つ「」を選びます。


【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



- 1 (▼/▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

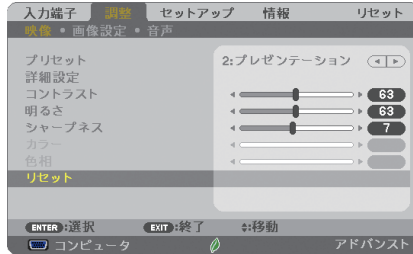
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

● 実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】 調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**戻る** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの切り換えは、APPSメニューの「ツール」→「管理者モード」で行います。(116 ページ)

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ	
入力端子	—			コンピュータ B	74	
				HDMI1/MHL B		
				HDMI2 B		
				ビデオ B		
				USB-B B		
				APPS B		
調整	映像	プリセット		1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.	75	
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	76
	ガンマ補正			ダイナミック、ナチュラル、ソフト		
	スクリーンサイズ			大、中、小		
	色温度			5000、6500、7800、8500、9300、10500		
	ダイナミックコントラスト			オフ、オン		
	画面モード			静止画、動画		
	カラーエンハンスメント			オフ、弱、中、強	77	
	ホワイトバランス			コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青		
	コントラスト B					77
	明るさ B					
	シャープネス B					
	カラー B					
	色相 B					
	リセット B		78			
	画像設定	クロック周波数			78	
		位相				
		水平				
		垂直			79	
		オーバースキャン		自動、0[%]、5[%]、10[%]		
アスペクト		自動、4:3、16:9、15:9、16:10、レターボックス、リアル	80			
音声	音量 B			81		

メニュー		選択項目	参照 ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	全般	デジタルズーム ^B	70 ~ 100	82	
		台形補正 ^B	台形補正 水平		82
			台形補正 垂直		
			4点補正		83
			ピンクッション補正	上端、下端、左端、右端、基準点	
		リセット			
		壁色補正 ^B	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	83	
		エコモード ^B	オフ、オートエコ、エコ1、エコ2	84	
		クローズドキャプション	オフ、キャプション1、キャプション2、キャプション3、キャプション4、テキスト1、テキスト2、テキスト3、テキスト4		
		オフタイマー ^B	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00		
	ツール ^B		116		
	言語 ^B	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΆ、簡体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दि、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT	84		
	メニュー 設定	表示色選択	カラー、モノクロ	85	
		入力端子表示	オフ、オン		
ID表示		オフ、オン			
エコメッセージ		オフ、オン	86		
表示時間		手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒			
バックグラウンド フィルタメッセージ		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ			
設置	投写方法	自動、デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント	87		
	本体キーロック	オフ、オン	88		
	セキュリティ	オフ、オン			
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps			
	コントロール ID	コントロールID 番号	1- 254	89	
		コントロールID	オフ、オン		
	テストパターン		90		
	マイク選択	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク			
	マイクゲイン				
	ネットワーク設定		115		

メニュー		選択項目	参照ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	自動調整	オフ、ノーマル、ファイン	90	
		シームレススイッチング	オフ、オン	91	
		ファンモード	自動、高速、高地		
		信号選択	コンピュータ		RGB/ コンポーネント、RGB、 コンポーネント
			ビデオ		自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、 PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM
		WXGA モード	オフ、オン	92	
		デインターレース	オフ、オン		
		HDMI 設定			
		HDMI1	ビデオレベル		自動、標準、拡張
		HDMI2	ビデオレベル		自動、標準、拡張
	音声入力選択	HDMI1/MHL	HDMI1/MHL、コンピュータ		
		HDMI2	HDMI2、コンピュータ		
	USB-B	USB-B、コンピュータ			
	ビープ音	オフ、オン			
	オプション (2)	スタンバイモード	ノーマル、ネットワークスタンバイ	93	
		ダイレクトパワーオン	オフ、オン	94	
		オートパワーオン	オフ、オン		
		オートパワーオフ	オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、 0:30、1:00		
		初期入力選択	ラスト、自動、コンピュータ、 HDMI1/MHL、HDMI2、ビデオ、 USB-B、APPS	95	
		CO ₂ 換算係数			
通貨選択		\$、€、JP ¥、RMB ¥			
電気料金換算係数					
情報	使用時間 [ⓑ]	ランプ残量、ランプ使用時間、 フィルタ使用時間、総 CO ₂ 削減量、 総電気料金削減量	96		
	信号 (1) [ⓑ]	信号名、信号番号、水平同期周波数、 垂直同期周波数、同期形態、同期極性、 走査方式			
	信号 (2) [ⓑ]	信号形式、ビデオ標準、色深度、 ビデオレベル、MHL 信号			
	有線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイ、MAC アドレス			
	無線 LAN	IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイ、MAC アドレス、 SSID、通信モード、セキュリティ、 チャンネル、信号レベル			
	VERSION (1) [ⓑ]	FIRMWARE、DATA、			
	VERSION (2) [ⓑ]	FIRMWARE2			
	その他 [ⓑ]	プロジェクター名 [ⓑ] 、ホスト名 [ⓑ] 、 MODEL NO. [ⓑ] 、 SERIAL NUMBER [ⓑ] 、 LAN UNIT TYPE、CONTROL ID [ⓑ] ※2			
リセット	—	表示中の信号	98		
	—	全データ			
	—	ランプ使用時間クリア			
	—	フィルタ時間クリア			

※2： CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

4-3. 入力端子



投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

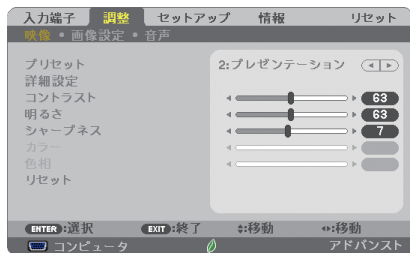
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI1/MHL	HDMI1/MHL入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI2入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
USB-B	USB (PC) ディスプレイ端子に接続しているコンピュータの画面を投写します。
APPS	APPSメニューを表示します。または、APPSメニューで前回使用していた機能を表示します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ映像入力端子に接続している場合は、コンピュータを選択してください。
コンピュータ映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

4-4. 調整

映像



●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

参考

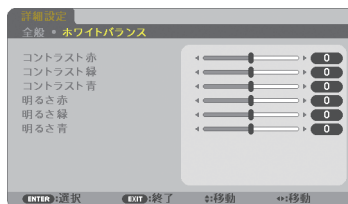
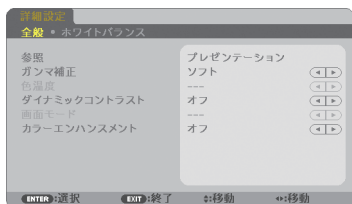
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」のDICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

● 詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、画面モード、カラーエンハンスメント、ホワイトバランスの項目について、細かな設定ができます。



全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	110 型前後のサイズのときに選択します。
中	90 型前後のサイズのときに選択します。
小	70 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

注意

- 参照で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

全般 — 画面モード

投写する映像が静止画の場合、またはアニメーションなどの動きのある映像の場合に応じて、最適な画面のモードに設定します。

注意

- 参照で「高輝度モード」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — カラーエンハンスメント

映像の色の濃さを調整します。「弱」「中」「強」の順に色が濃くなりますが、画面は暗くなります。「オフ」を選択したときは、カラーエンハンスメントは機能しません。

注意

- 参照で「プレゼンテーション」を選択した場合のみ設定できます。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

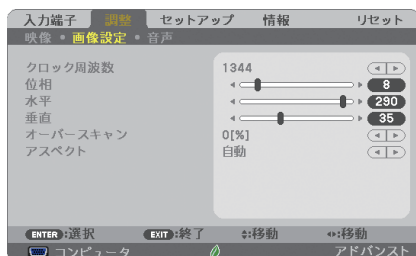
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/HDMI (RGB)	○	○	○	×	×
コンピュータ/HDMI (コンポーネント)	○	○	○	○	○
USB-B	○	○	○	×	×
ビデオ	○	○	○	○	○
APPS	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

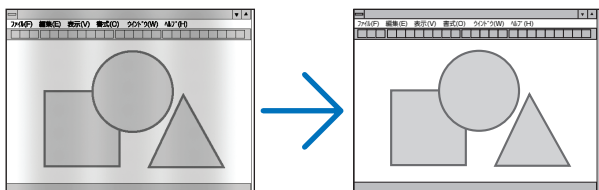
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



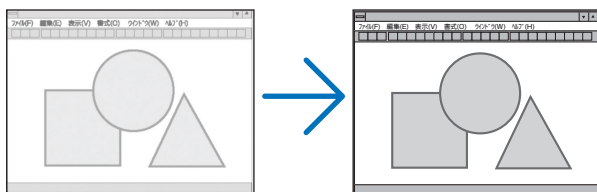
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



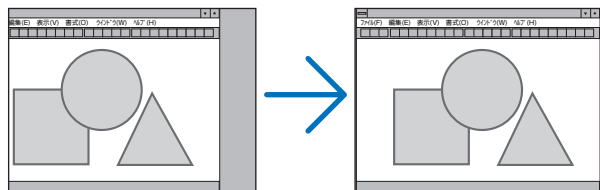
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



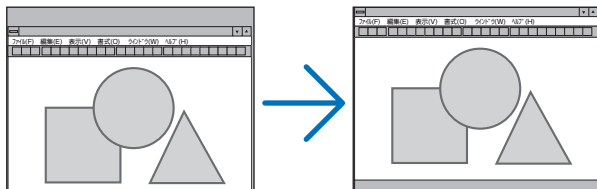
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

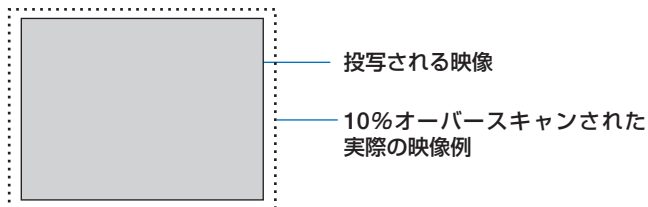


注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

●オーバースキャン

オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。



注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力時は 0[%] を選択できません。

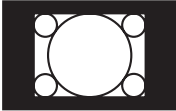
●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

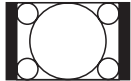
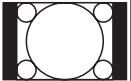
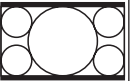
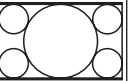
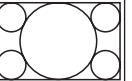
・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10




選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(▶次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。 【例】 解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき  注意 <ul style="list-style-type: none">● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。● コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

コンピュータ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

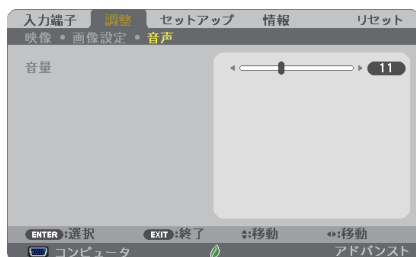
ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	 (注) スクイーズを適切に投写するには「16:9」を選択してください。

参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4 : 3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85 : 1 やシネマスコープ 2.35 : 1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

音声



● 音量

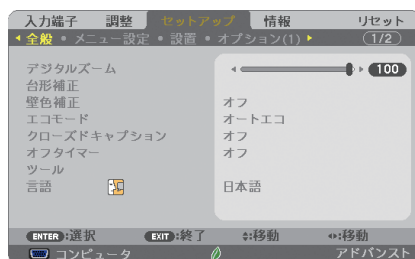
本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

参考

- 音量は、本体操作部の (◀▶) ボタン、およびリモコンの (音量 +/-) ボタンでも調整できます。

4-5. セットアップ

全般



● デジタルズーム

投写画面の大きさを微調整します。お使いのスクリーンサイズにあわせて調整してください。

数値を小さくすると画像が縮小され、数値を大きくすると画像が拡大されます。

注意

- デジタルズームは、電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力端子選択が USB-B のときは選択できません。

参考

- 投写画面の大きさの調整は、本機とスクリーンとの距離を近づけたり遠ざけたりして行ってください。デジタルズームは、投写画面の大きさを微調整するときには使用してください。
- リモコンの(フォーカス/ズーム)ボタンでもデジタルズームが行えます。(▶ 41 ページ)

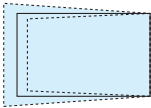
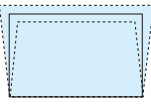

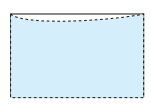
● 台形補正

投写画面の歪みを補正するのが台形補正です。



補正は、台形補正 水平と台形補正 垂直（同時調整可）、4点補正、ピンクッション補正のいずれかの補正が選択できます。選択すると調整できない補正はグレイ表示になります。

他の補正を行うときはリセット操作を行ってください。

台形補正 水平	スクリーンに対してプロジェクターを斜横方向から投写しているときの調整です。 (👉 42 ページ)	
台形補正 垂直	スクリーンに対してプロジェクターを上または下向きから投写しているときの調整です。 (👉 42 ページ)	
4点補正	投写画面の四隅を選択してスクリーンに合わせる調整方法です。(👉 54 ページ)	
ピンクッション補正	上、下、左、右のいずれか1つの辺のわん曲歪みを調整します。また「基準点」でピンクッション補正の頂点の位置を移動します。 (👉 55 ページ)	
リセット	上記全ての調整値がリセットされ、初期値に戻ります。(👉 43, 56 ページ)	

注意

- 台形補正、ピンクッション補正および4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 調整を行うと調整値は上書きされます。電源を切っても調整値を保持しています。

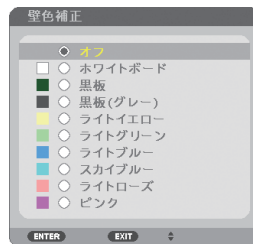
参考

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 10度	最大 ±約 10度
台形補正		

- 信号によっては、最大範囲まで調整できない場合があります。

● **壁色補正**



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

注意

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●エコモード

エコモードを設定すると、本機のCO₂排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）*を延ばすことにもなります。（🔗 51, 97 ページ）

*保証時間ではありません。

●クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。



- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
 - ・ オンスクリーンメニュー表示中
 - ・ メッセージ表示中
 - ・ (部分拡大 +/-) ボタンによる画面拡大中
 - ・ (静止) ボタンによる静止画中
 - ・ (AVミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正およびデジタルズームで極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。はみ出したときは画面におさまるように調整してください。



- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

●ツール

ツールメニューを表示します。（🔗 116 ページ）

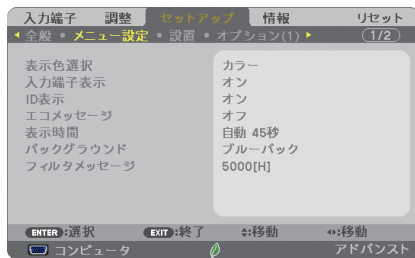
●言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子で APPS 端子を選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

●ID表示

複数台のプロジェクトを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの (ID SET) ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID (🔵 89 ページ) をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

エコモードを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。

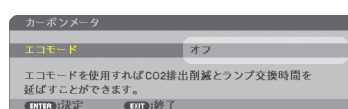


エコモードが「オフ」のときのエコメッセージ

(決定) ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。
(🔵 51 ページ)

表示を消すには (戻る) ボタンを押します。

- ・ 30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、入力端子選択が USB-B のときは「ブルーバック」になります。
- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。
- バックグラウンドから復帰した際に、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

●フィルタメッセージ


本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルタメッセージで設定した時間を超えると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルタの清掃時期ですので、フィルタを清掃してください。清掃のしかたは「8-1. フィルタの清掃」(139 ページ) をご覧ください。

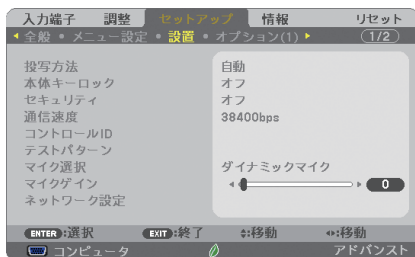
フィルタの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定 (5000 [H]) を変更してください。たとえば、フィルタの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルタ清掃のメッセージは表示されません。
100 [H] / 500 [H] / 1000 [H] / 2000 [H] / 5000 [H]	設定した時間 (100 時間 / 500 時間 / 1000 時間 / 2000 時間 / 5000 時間) を超えると、画面上にフィルタ清掃のメッセージが表示されます。

参考

- フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の 1 分間、および本機の  ボタンまたはリモコンの電源 (スタンバイ) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルタ清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルタメッセージは、リセットを行っても変更されません。

設置



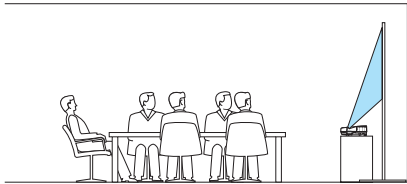
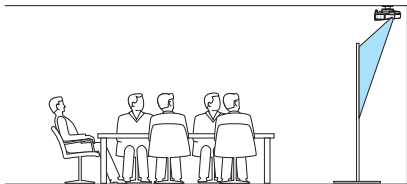

● 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

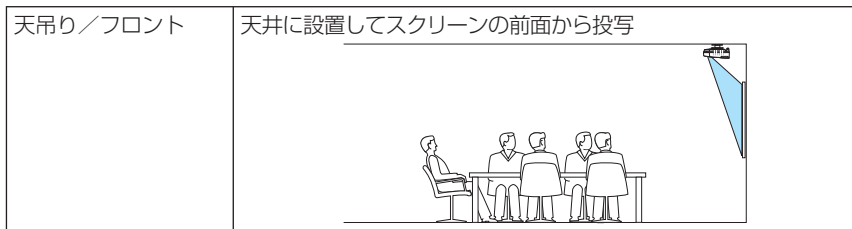


警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

自動	本機の電源を入れたときに、本体内部のセンサで、デスク/フロントであるか、天吊り/フロントであるかを判別して、投写方法を切り替えます。
デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 

次ページに続く



●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが動きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

注意

● 本体キーロックの解除方法

- (1) 投写中またはスリープ状態のときは、本体の(入力切替) ボタンを約 10 秒間押すと、本体のキーロックの設定が解除されます。
- (2) スタンバイ状態のときは、本体の(電源) ボタンを約 10 秒間押すと本機の電源を入れることができます。本機が投写状態に移行したあと、(1) の操作を行ってください。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に [] アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-6. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(▶ 57 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ~ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の **(決定)** ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。
「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(CLEAR)** ボタンを押します。

参考

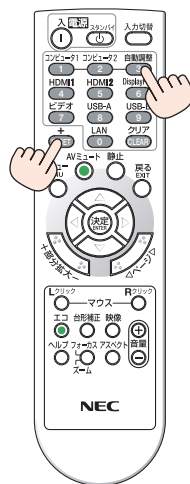
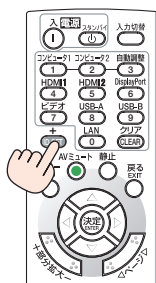
- リモコンの ID は 1 ~ 254 まで登録できます。

- 4 **(ID SET)** ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。
このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。

(決定)ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。(戻る)ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。

テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正調整(台形補正、4点補正、ピンクッション補正)はできません。台形歪みを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。

●マイク選択

使用するマイクの方式を選択します。

●マイクゲイン

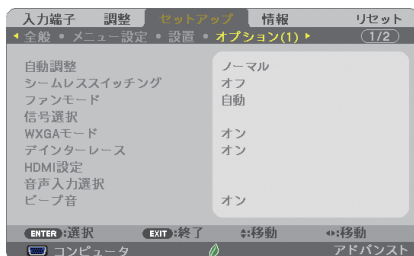
マイクを使用するときに、マイクの感度に合わせて調整します。

マイクの音量は、本体またはリモコンの音量調整ボタンで調整できます。

●ネットワーク設定

ネットワーク設定メニューを表示します。(115 ページ)

オプション (1)



●自動調整

調整されていないコンピュータ入力信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 (自動調整)を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- (自動調整)を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

● シームレススイッチング

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持（フリーズ）することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

● ファンモード


本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

● 信号選択

各映像入力端子について入力信号を設定します。

コンピュータ	DVD プレーヤなどのコンポーネント信号を、コンピュータ映像入力端子に専用ケーブルで接続する場合に選択します。
ビデオ	NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。 工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA: 1280 × 768 ドット / WUXGA: 1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

参考

- 工場出荷時の設定は「オン」になっています。

● デインターレース

ビデオや DVD など標準画質映像 (480i または 576i 信号) および HDTV (1080i 信号) のときにインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。

注意

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「オフ」に設定してください。
- HDTV (プログレッシブ)、コンピュータ入力信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

● HDMI 設定

本機の HDMI 1/MHL 入力端子および HDMI 2 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

HDMI1/MHL	ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「標準」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
		標準	拡張を無効にします。
		拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。
HDMI2	ビデオレベル	自動	HDMI1/MHL と同じ機能です。
		標準	
		拡張	

● 音声入力選択

本機の HDMI 1/MHL 入力端子、HDMI 2 入力端子、および USB (PC) ディスプレイ端子の音声入力の選択です。

アナログ音声を入力するときは、本機のコンピュータ音声入力端子と接続機器の音声出力端子を接続し、音声入力選択を「コンピュータ」に設定します。

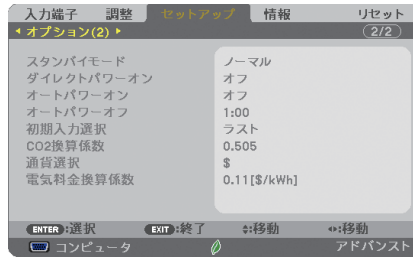
● ビープ音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

参考

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線LANを使って本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子を使った電源オン、オートパワーオン、ユーザーサポートウェアを使った操作、ネットワークサービス、プログラムタイマー



重要

- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり（灰色表示）、自動的に「0:15」が選択された状態になります。
- 以下の状態では、スタンバイモードの設定は無効となりスリープ状態^{*}になります。
^{*} スリープ状態とは、スタンバイモードの設定による機能制限をなくした状態です。消費電力が「ネットワークスタンバイ」に比べて高くなります。ステータスインジケータは緑色で点灯します。

スタンバイモードの設定が「ネットワークスタンバイ」の場合

- ・ ネットワークサービス → AMX 設定 → 「有効」のとき
- ・ ネットワークサービス → CRESTRON → CRESTRON CONTROL → 「有効」のとき
- ・ ネットワーク設定 → 無線 LAN 設定 → 「無効」以外のときでかつ無線 LAN ユニットが接続されているとき
- ・ コンピュータ映像入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI1/MHL 入力端子に信号入力があるとき
- ・ HDMI2 入力端子に信号入力があるとき

スタンバイモード設定に関わらず

- ・ USB-B 端子に USB ケーブルがパソコンと接続されているとき

参考

- スタンバイモードを「ノーマル」にしている場合、PC コントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO₂ 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号または HDMI 信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ映像入力端子、HDMI1/MHL 入力端子または HDMI2 入力端子と機器を接続して、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
オン	コンピュータ信号または HDMI 信号を検知すると本機の電源を自動で入れて投写します。

注意

- コンピュータ映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は働きません。
- HDMI1/MHL 入力端子に MHL 信号を入力したときは働きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオンを働かせたい場合は、電源を切ってスリープ状態になったあと 5 秒以上待ってから、コンピュータ信号または HDMI 信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号または HDMI 信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子の入力信号を投写します。
HDMI1/MHL	HDMI 1/MHL 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
USB-B	USB (PC) ディスプレイ端子の入力信号を投写します。
APPS	APPS メニューを表示します。



注意

- 自動のときは、USB-B と APPS は検出しません。
USB-B 端子、APPS 端子を投写するときは、USB-B、APPS、またはラストを選択してください。

● CO₂ 換算係数

カーボンメータに表示する CO₂ 削減量を算出するための CO₂ 排出係数を設定します。

初期値は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 年 Edition)”にて公表されている 2006 年度世界平均係数の 0.505 [kg-CO₂/kWh] に設定しています。

●通貨選択

カーボンメータに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

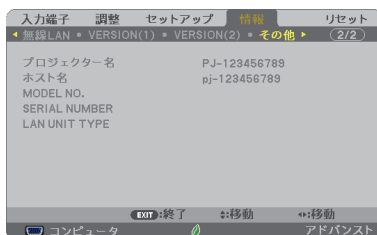
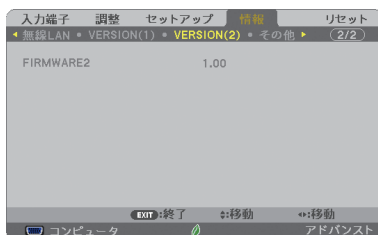
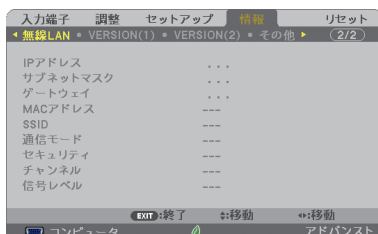
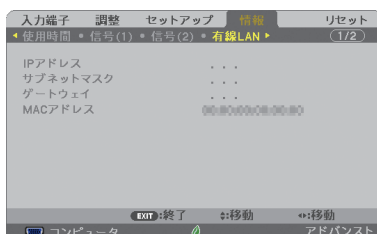
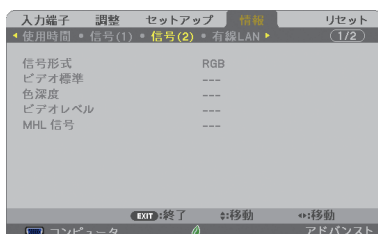
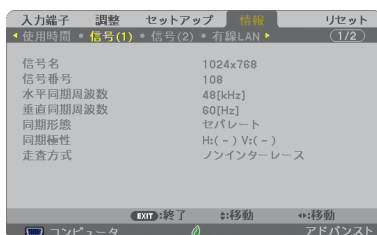
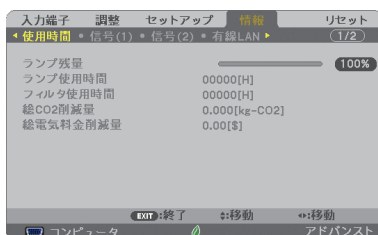
●電気料金換算係数

カーボンメータに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

初期値は、\$、€、JP¥ は OECD 出版の Energy Prices and Taxes (second quarter 2010)、RMB¥ はジェトロ（日本貿易振興機構）出版の中国データ・ファイル（2010 年度版）にて公表されている下記の値に設定しています。

\$	(米国ドル)	0.11
€	(欧州ユーロ)	0.19
JP¥	(日本円)	20
RMB¥	(中国元)	0.48

4-6. 情報



ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

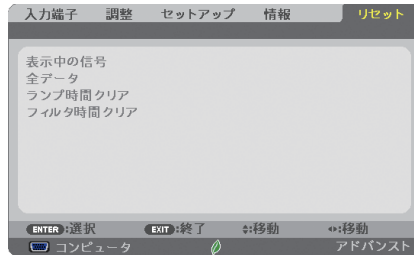
- ・使用時間ページの「総 CO2 削減量」、「総電気料金削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(▶ [52 ページ](#))
- ・信号ページは、色が極端におかしくったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使用します。「対応解像度一覧」(▶ [153 ページ](#)) もあわせてご覧ください。

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について
 本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」または「オートエコ」で使用した場合、「エコ1」または「エコ2」で使用した場合はランプの交換時間(目安)^{*}が異なります。
 ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
 - ・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「8-4. ランプとフィルタの交換」(144 ページ) をご覧ください。
 - ・ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間および本機の(電源) ボタンまたはリモコンの電源(スタンバイ) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
 - ・ランプ交換時間(目安)^{*}に到達(ランプ残量0%)後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
 - ・ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間			ランプ残量
	エコモード「オフ」または「オートエコ」のみで使用(最小)	エコモード「エコ1」のみで使用	エコモード「エコ2」のみで使用(最大)	
工場出荷時	0000 時間			100%
ランプ交換時間(目安) [*]	3800 時間	5000 時間	6000 時間	0%

^{*}：保証時間ではありません。

4-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・セキュリティ・通信速度・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・CO₂換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルタ使用時間・総CO₂削減量・プロジェクター名・有線LAN、無線LAN・IMAGE EXPRESS UTILITY LITE・ネットワークサービス・日付と時刻・管理者モード・リモートデスクトップ

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

注意 ● ランプ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに「フィルタ使用時間」をクリアします。「フィルタメッセージ」を「オフ」に設定している場合は「フィルタ時間クリア」を行う必要はありません。

注意 ● フィルタ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

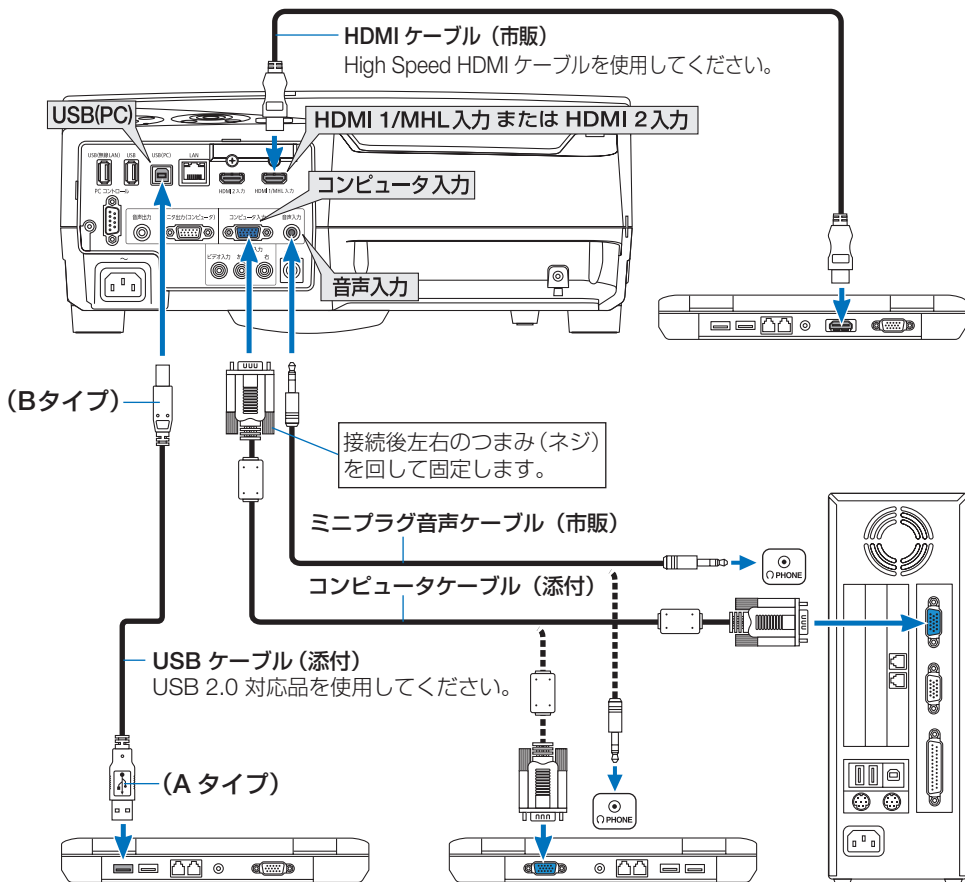
5. 機器と接続する

接続の前にケーブルカバーを取り外してください。(▶ 21 ページ)

5-1. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）、HDMI ケーブル（市販）、および USB ケーブル（添付）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1/MHL または HDMI 2 入力端子を接続します。
- 添付の USB ケーブルはコンピュータの USB（タイプ A）と本機の USB（PC）ディスプレイ端子（タイプ B）を接続します。



コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。

- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ1)
HDMI 1/MHL 入力端子	 HDMI1/MHL	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	(HDMI 2)
USB (PC) ディスプレイ端子	 USB-B	(USB-B)

注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット (型名 ISS-6020J) のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1/MHL 入力端子 (または HDMI 2 入力端子) の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI 1/MHL 入力端子 (または HDMI 2 入力端子) を再度選択してください。

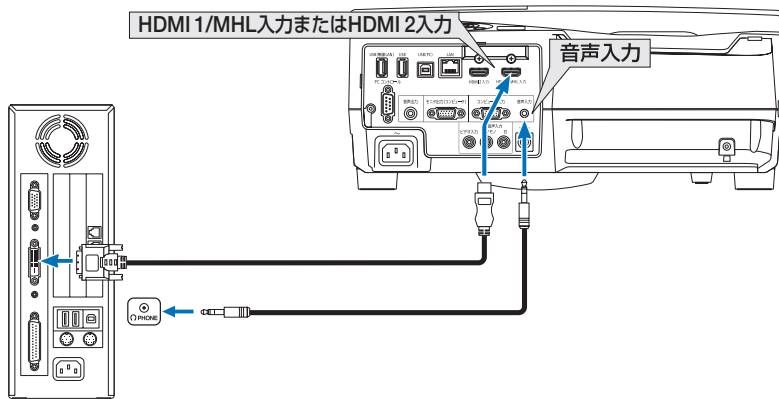
【入力端子の再選択方法】

- ・リモコンで操作する場合は (HDMI 1) または (HDMI 2) ボタンを押してください。
- ・プロジェクター本体で操作する場合は (Xメニュー) ボタンを押して入力端子画面で HDMI 1/MHL (または HDMI 2) を再選択してください。

次ページに続く

参考

- コンピュータ映像入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1/MHL 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。



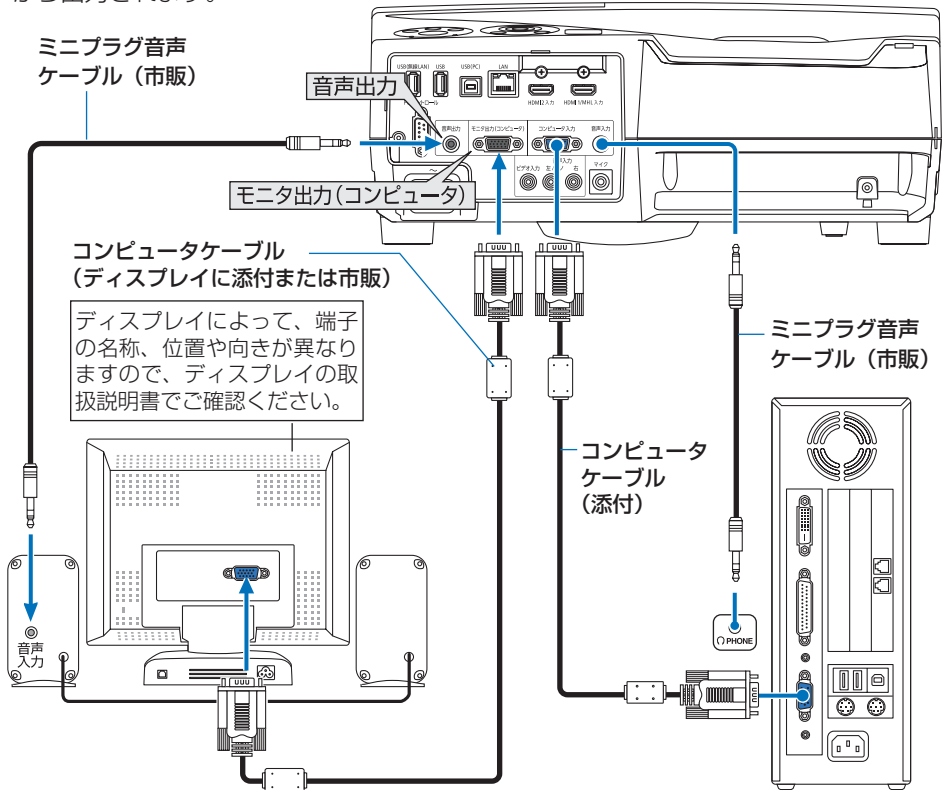
また、コンピュータの音声出力は、本機のコンピュータ音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）→音声入力選択で HDMI1/MHL または HDMI2 の設定を「コンピュータ」に切り替えてください。 (🔵 92 ページ)

注意

- DVI（デジタル）入力時の注意事項
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
 - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
 - ・ DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
 - ・ コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
 - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

5-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力（コンピュータ）端子から出力されます。



注意

- 本機の音声出力端子は、ヘッドフォン用端子ではありません。
- 本機のモニタ出力（コンピュータ）端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がでなくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニタ出力（コンピュータ）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときは出力しません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、無信号状態が3分以上続くと、モニタ出力端子および音声出力端子からの出力が停止します。この場合は、映像信号を入力後にケーブルを抜き差ししてください。

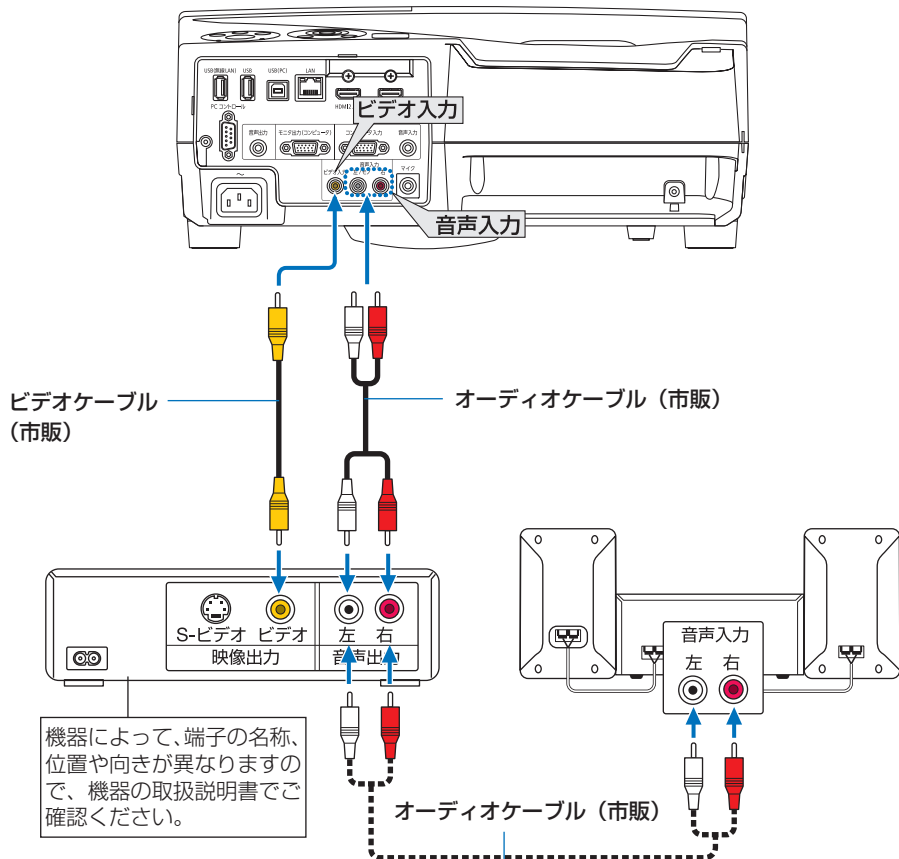
- モニタ出力とスリープ状態について
スタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときにモニタ出力されません。
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合は、スタンバイ状態のときにコンピュータ映像入力端子に信号を入力すると、モニタ出力（コンピュータ）端子と音声出力端子が使用できます。
この状態をスリープ状態と呼びます。
このとき、音声出力端子からはマイク入力端子の音声も出力されます。
スリープ状態は「ノーマル」「ネットワークスタンバイ」以外の待機状態です。
ただし、メニューからは選択できません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ映像入力端子に信号の入力があり、かつ音声入力端子に音声入力があると、電源を切る直前に投写していたコンピュータかビデオの音声が出力されます。
また、BNC 端子から変換してコンピュータ映像入力端子に入力した信号は、スタンバイ状態とスリープ状態の場合は、モニタ出力できません。

5-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



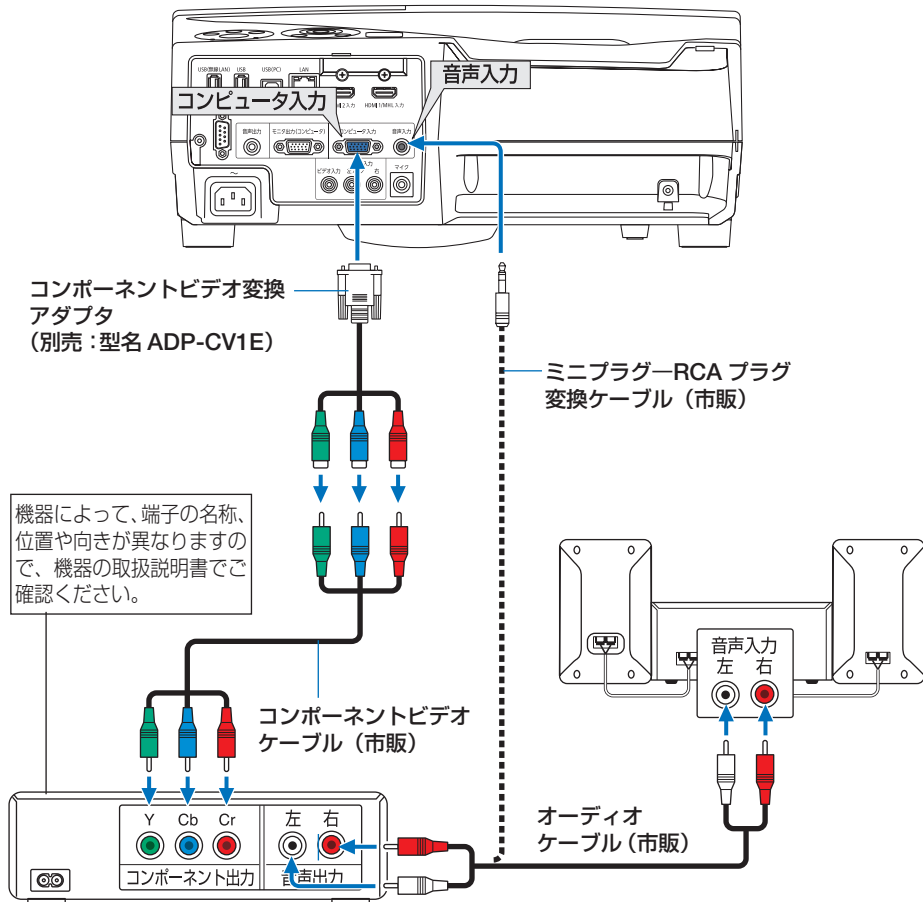
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子 (DVD 映像出力) やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子 (HD 映像出力) を使って本機で投写することができます。

DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

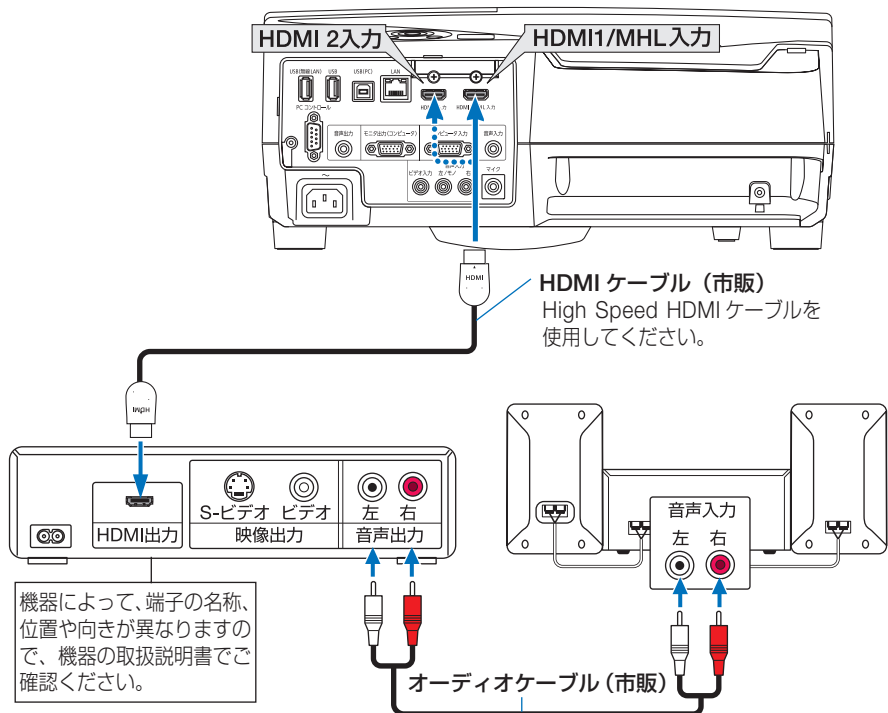
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	コンピュータ	(コンピュータ1)

参考

- 通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューからセットアップ→オプション(1)→信号選択→コンピュータの設定画面でコンピュータ信号を「コンポーネント」に設定してください。(▶ 91 ページ)
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ (型名 ADP-DT1E) をお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1/MHL 入力端子または HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカーはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1/MHL 入力端子	HDMI1/MHL	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI 2)

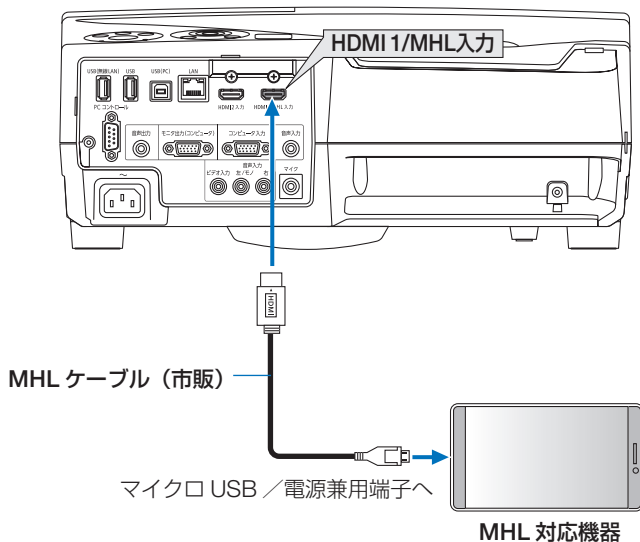
参考

- 本機の HDMI 1/MHL 入力端子（または HDMI 2 入力端子）に DVD プレーヤを接続している場合に、DVD プレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→HDMI1/MHL または HDMI2 →ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1/MHL 入力（または HDMI 2 入力）の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択が「HDMI1/MHL」または「HDMI2」に設定されているか確認してください。(92 ページ)

5-4. スマートフォンやタブレットと接続する

スマートフォンやタブレット端末などの MHL 対応機器と MHL ケーブル（市販）で接続すると、次のような機能が利用できます。

- MHL 対応機器の映像やファイルを投写する
- MHL 対応機器の音声を本機のスピーカから出力する
- MHL 対応機器を充電する
- 本機のリモコンで MHL 対応機器を操作する
- MHL 対応機器を使って本機を操作する



- 本機の電源を入れたあとに HDMI 1/MHL を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1/MHL 入力端子	 HDMI1/MHL	(HDMI 1)

注意

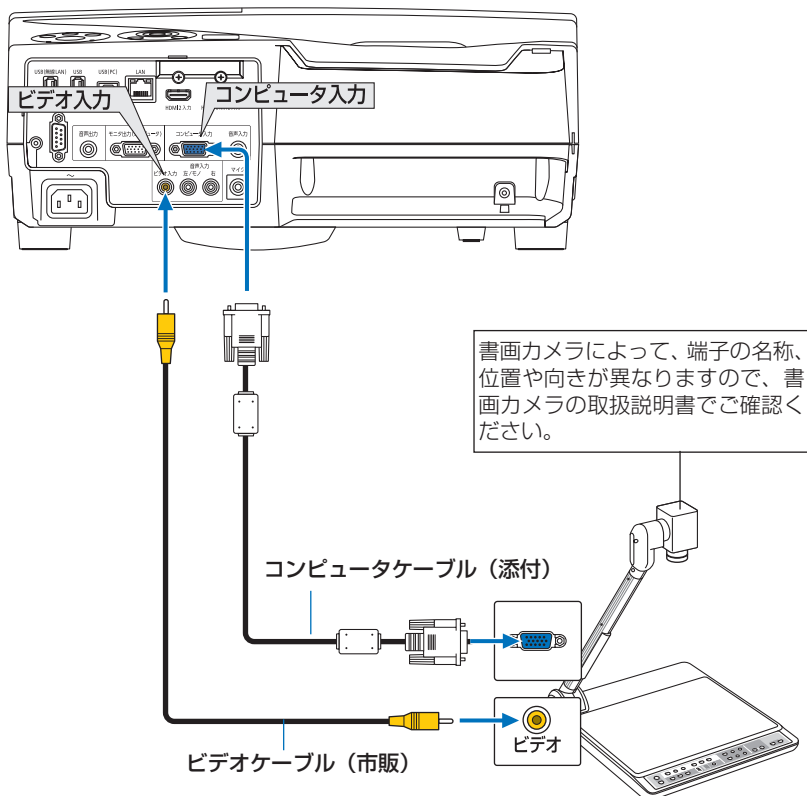
- MHL ケーブル（市販）は、規格に適合したものを使用してください。規格に適合しないものを使用すると、MHL 対応機器の充電時に、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- MHL-HDMI 変換アダプタ（市販）を使って接続すると、充電や本機のリモコンからの操作ができないことがあります。
- 映像をうまく表示できないときは、MHL ケーブルを抜き差ししてください。
- スマートフォンやタブレットの機種や設定によっては、正しく表示されないことがあります。

参考



- 次のような場合、MHL 対応機器は充電されません。
 - ・ 本機がスタンバイ状態のとき
 - ・ MHL 対応機器のバッテリー残量がないとき
 - ・ 供給される電力より消費する電力が大きいとき

5-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



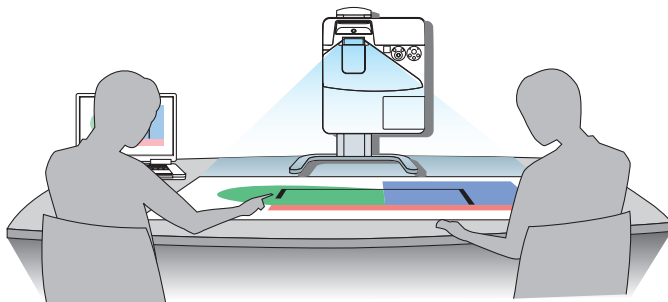
- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ)
ビデオ映像入力端子	 ビデオ	(ビデオ)

5-6. テーブル投写をする

本機を立てて設置することで、天井へ打ち上げて投写したり、テーブルや床面に打ち下げて投写することができます。

必ず別売のテーブル投写金具 (NP01TK) に取り付けて設置してください。



設置上のご注意

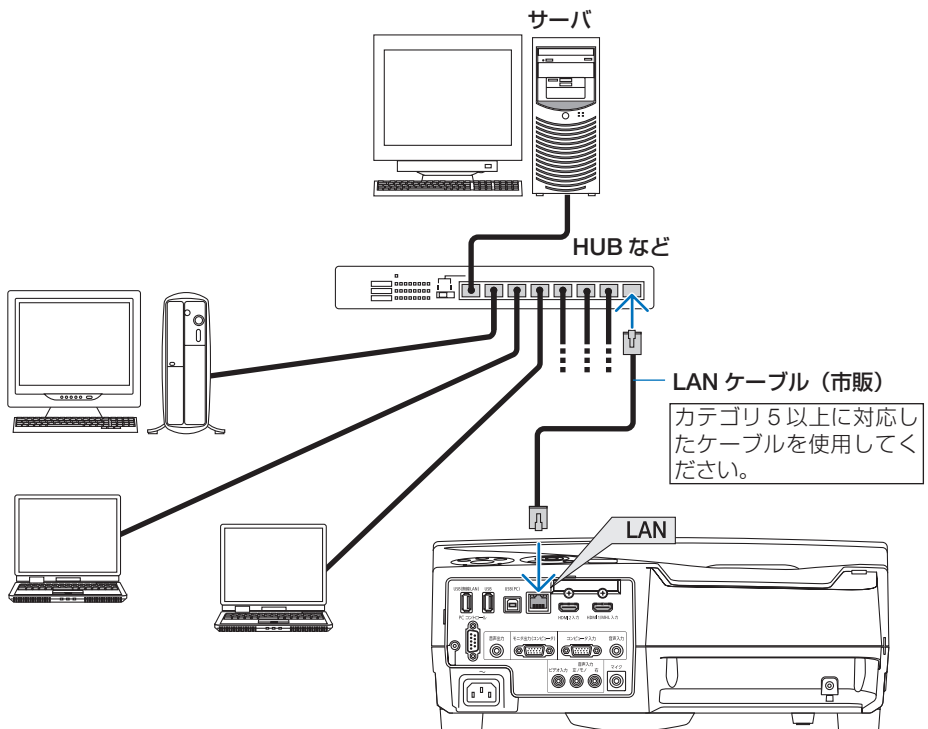
- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。

5-7. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート（RJ-45）が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→設置→ネットワーク設定（[🔵115 ページ](#)）をご覧ください。

ネットワーク設定は、APPS メニューからも選択できます。

接続例



5-8. 無線 LAN と接続する

添付の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。

重要

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。

注意

- 無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピュータ側の無線 LAN アダプタ (またはユニット) は、Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) 規格のものを使用してください。

無線 LAN ユニットの取り付けかた

注意

- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け/取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け/取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB (LAN) ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けしないでください。また、USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けしないでください。

準備：ケーブルカバーを取り付けているときは取り外してください。

- 1 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

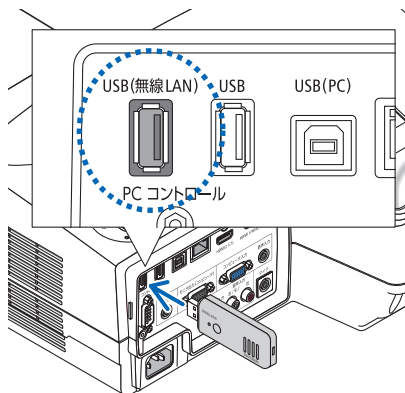
- 2 無線 LAN ユニットの USB (LAN) ポートにゆっくり差し込む。

・無線 LAN ユニットのキャップを外し、表面 (インジケータのある面) を外側にして差し込んでください。

外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

注意

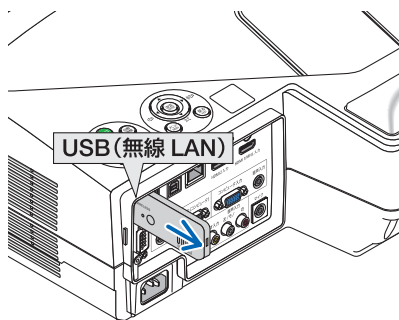
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



※ 取り外すときも電源コードを抜いてから無線 LAN ユニットの引き抜いてください。

注意

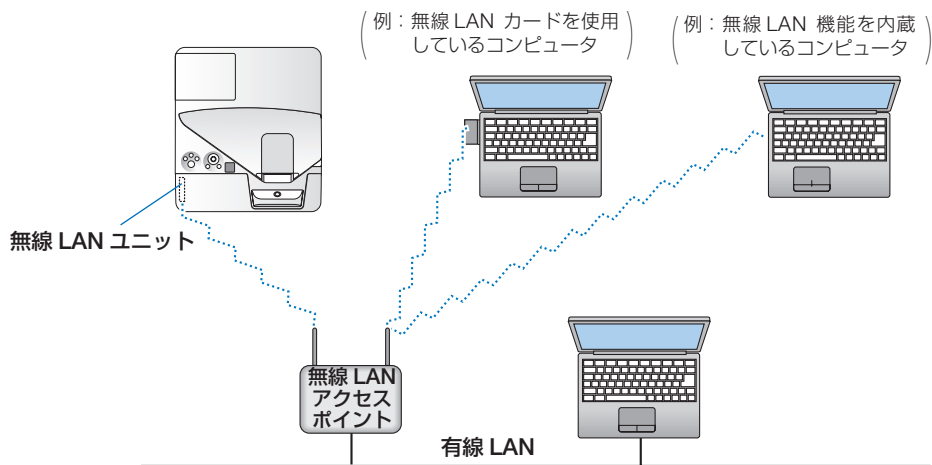
- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。



無線 LAN への接続例

本機の無線 LAN の設定は、オンスクリーンメニューのセットアップ→設置→ネットワーク設定で行ってください。(📄 115 ページ)

ネットワーク設定は、APPS メニューからも選択できます。



6. APPS メニュー

6-1. APPS メニューでできること

APPS メニューでは、本機の拡張機能や各種設定を選択することができます。APPS メニューを表示するには、リモコンの(**APPS**)ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「APPS」を選択します。電子ペンのキャリブレーションを行うと、APPS メニューの各機能や設定画面を電子ペンを使って操作できます。

【お知らせ】

APPS メニューの各機能について、当社のホームページにより詳しい説明書を掲載しています。本機の機種名で検索してください。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html>

【APPS メニュー画面】

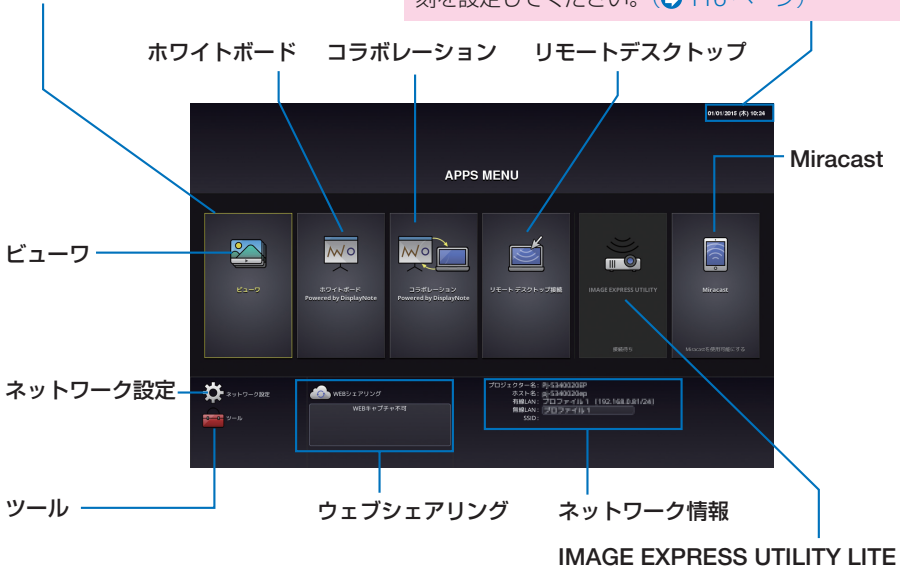
フォーカス

選択されている項目を表します。黄色い縁どりで表示されます。

現在の日付と時刻



APPS メニューの機能を使用する前に、日付と時刻を設定してください。(**116 ページ**)



ビューワ

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。保存先は、次の3つを使用できます。

- (1) プロジェクターメモリ… 本機の内蔵メモリに一時保存した画面イメージ（本書では「キャプチャ画像」と呼びます）。
- (2) USB メモリ …………… 本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。

ホワイトボード

本機に添付している電子ペンを使った描画が行えます。ホワイトボードを起動する前に、ツールの「ペン設定」を行ってください。

コラボレーション

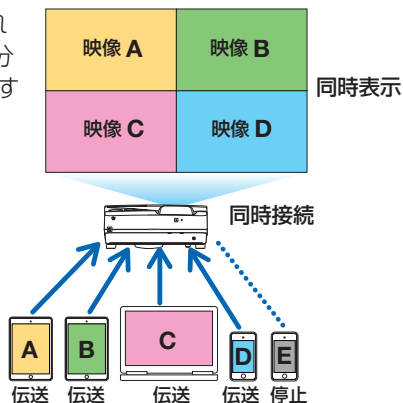
ホワイトボードで描画した画面を、ネットワークで接続しているコンピュータと共有できます。

リモートデスクトップ

プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。市販の USB キーボードを本機に接続することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作できます。

IMAGE EXPRESS UTILITY LITE

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、Mac OS、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4 × 4 分割）して一度に投写することができます。



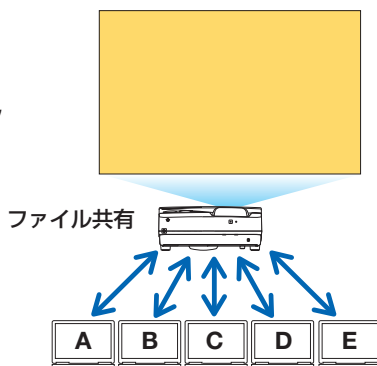
- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。(▶ 119, 122 ページ)
- スマートフォンやタブレット端末には、当社のアプリ Wireless Image Utility をダウンロードしてインストールしてください。(▶ 138 ページ)

Miracast

Android 端末などの Miracast 規格に対応したデータ送信端末と本機をワイヤレスで接続し、端末から送信される画像を本機で投写することができます。
接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

ウェブシェアリング

- 専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機の HTTP サーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます（WEB SHARING）。



- コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます（PROJECTOR CONTROL）。
- プロジェクター（本機）とコンピュータをネットワークで接続し、コンピュータのウェブブラウザで次の URL にアクセスしてください。

URL: HTTP://（プロジェクター（本機）の IP アドレス）

ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための以下の設定を行います。

● プロジェクター名

本機のホスト名とドメイン名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

● ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

● 有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

●無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

また、簡易アクセスポイント、Wi-Fi Direct、Miracast の設定を行います。

●IMAGE EXPRESS UTILITY LITE

IMAGE EXPRESS UTILITY LITE の動作モード（フリー、管理）を設定します。

●ネットワークサービス

AMX、HTTP サーバ、PJLink、アラートメール、CRESTRON のための設定を行います。

ツール

以下のペン設定、マウス設定、プログラムタイマー、日付と時刻設定、管理者モード、デフォルト APP が行えます。

●ペン設定

電子ペンをはじめて使用するときやプロジェクターの設置場所を変更したときは、電子ペンの位置を正しく認識させるために、必ずキャリブレーションを行ってください。

[\(C 64 ページ\)](#)

●マウス設定

市販の USB マウスを本機に接続すると、マウスを使用して APPS メニューの操作ができます。

このときのマウスの設定です。

●プログラムタイマー

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。

●日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

●デフォルト APP

リモコンの (APPS) ボタンを押したとき、またはオンスクリーンメニューの入力端子で「APPS」を選択したときに、APPS メニューの表示を省略して起動する機能（内蔵アプリケーション）を選択します。

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

7. ユーザサポートウェア

7-1. 添付ソフトウェアについて

添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Image Express Utility Lite Image Express Utility Lite for Mac OS	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータとプロジェクターを USB ケーブル、またはネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。(🔗 62, 118 ページ)● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。● 幾何学補正機能を使うと、平面ではない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(🔗 124 ページ) ※「USB ディスプレイ」と「幾何学補正」の機能は Mac には対応していません。
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータとプロジェクターをネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) やシリアルケーブルを使って接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(🔗 127 ページ)
Virtual Remote Tool (Windows のみ対応)	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータの画面に Virtual Remote 画面を表示し、コンピュータケーブルなどを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。(🔗 132 ページ)



- Image Express Utility Lite は、当社製の他の機種に添付している Image Express Utility 2.0 の「ミーティングモード」には対応していません。

ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報および動作環境については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

対応しているアプリの主な機能

アプリ名 : Wireless Image Utility (Android / iOS)

主な機能 : プロジェクターとスマートフォンをネットワーク (無線 LAN) を使って接続すると、スマートフォン内の写真や文書をプロジェクターへ伝送して投写することができます。(🔗 138 ページ)

※ Wireless Image Utility は、添付の CD-ROM には収録していません。

7-2. LAN を経由して画像を投写する (Image Express Utility Lite)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite を使用すると、コンピュータから USB ケーブルやネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を経由してプロジェクターへ画像を送信し、投写することができます。

Image Express Utility Lite は、Windows 用のソフトウェアです。 (🔗次ページ)

Image Express Utility Lite for Mac OS は、Mac OS 用のソフトウェアです。

(🔗122 ページ)

ここでは、本機を LAN に接続して、Image Express Utility Lite を使用するまでの流れを説明します。Image Express Utility Lite の詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

ステップ②：本機を LAN に接続する

ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

参考

- Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアから起動して使用することができます。 (🔗121 ページ)

Image Express Utility Lite (および for Mac OS) で できること

●画像伝送 (Windows 用 / Mac OS 用)

- コンピュータケーブルを接続する代わりに、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使ってコンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。

●音声伝送 (Windows 用のみ)

- コンピュータの画面に加えて、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) または USB ケーブルを使って、コンピュータの音声をプロジェクターへ伝送して出力することができます。
- コンピュータの画面がプロジェクターで全画面表示されている場合にその音声が出力されません。

●USB ディスプレイ (Windows 用のみ)

- コンピュータケーブルを接続する代わりに、USB ケーブルを接続して、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- USB ディスプレイは、Image Express Utility Lite をインストールしていなくても、コンピュータ (Windows) とプロジェクターを USB ケーブルで接続するだけで働きます (プラグアンドプレイ)。 (🔗62 ページ)

●幾何学補正 (Geometric Correction Tool) (Windows 用のみ)

- 「7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)」をご覧ください。 (🔗124 ページ)

Windows で使用する場合

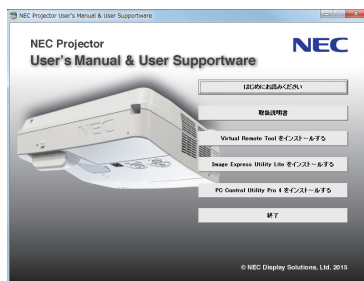
●ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Image Express Utility Lite は、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量（約 100 メガバイト程度）を確保してから、インストールしてください。

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

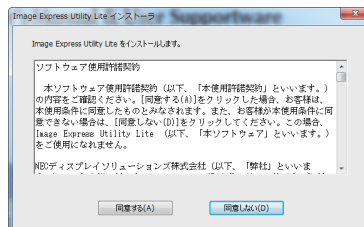
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 *1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)
*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの [Image Express Utility Lite をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください



3 同意する場合は「同意する (A)」をクリックする。

インストールが完了すると完了メッセージが表示されます。

4 [OK] をクリックする。

インストールが終了しました。



参考

● Image Express Utility Lite のアンインストール方法

Image Express Utility Lite をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「Image Express Utility Lite」と読み替えてください。(🔗 [134 ページ](#))

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-7. 有線 LAN と接続する」(🔗 [110 ページ](#))、「5-8. 無線 LAN と接続する」(🔗 [111 ページ](#))、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗 [115 ページ](#))の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility Lite] → [Image Express Utility Lite] の順にクリックする。

Image Express Utility Lite が起動します。
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されます。

2 使用するネットワークを選択し、[OK] をクリックする。

- コンピュータとプロジェクターを 1 対 1 で接続する場合は「簡易アクセスポイント」をおすすめします。
- 接続するプロジェクターが使用しているネットワークを確認するには、プロジェクターのオンスクリーンメニューの「情報」→「無線 LAN」画面を表示し、「SSID」の文字列を確認してください。

3 接続するプロジェクターにチェックマークを付け、[接続 (C)] をクリックする。

- 複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターの APPS メニューのネットワーク情報画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。

プロジェクターと接続すると、コントロールウィンドウを操作してコンピュータをコントロールできるようになります。

コントロールウィンドウについては [63 ページ](#) をご覧ください。



- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定して、電源をオフにしている状態の Projektor は、接続先選択に表示されません。



- **Image Express Utility Lite のヘルプ表示方法**
- ◆ Image Express Utility Lite の起動中に表示する
 - 1 コントロールウィンドウの **?** (ヘルプ) をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。
- ◆ GCT (幾何学補正) の起動中に表示する
 - 1 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする
ヘルプ画面が表示されます。
- ◆ スタートメニューから表示する
 - 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Image Express Utility Lite」→「Image Express Utility Lite Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

● USB メモリや SD カードから Image Express Utility Lite を起動する

市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーしておけば、コンピュータにインストールすることなく、Image Express Utility Lite を起動することができます。

- 1 **リムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーする。**
添付の NEC Projector CD-ROM 内の「IEU_Lite (removable-media)」フォルダ内の全てのフォルダおよびファイル (ファイルサイズ合計約 7 MB) をリムーバブルメディアのルートディレクトリにコピーします。

- 2 **コンピュータにリムーバブルメディアを挿入する。**

「自動再生」ウィンドウが表示されます。



- 「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピュータ」からフォルダを開いてください。

- 3 **「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックする。**

IEU_Lite.exe およびその他のフォルダやファイルが表示されます。

- 4 **IEU_Lite.exe アイコン () をダブルクリックする。**

Image Express Utility Lite が起動します。

Mac OS で使用する場合

●ステップ①：Image Express Utility Lite for Mac OS をコンピュータにインストールする

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

4 「Image Express Utility Lite.dmg」をダブルクリックする。

Image Express Utility Lite ウィンドウが表示されます。

5 このウィンドウ内の「Image Express Utility Lite」フォルダを Mac OS の「アプリケーション」フォルダにドラッグ・アンド・ドロップする。

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-7. 有線 LAN と接続する」(🔗 110 ページ)、「5-8. 無線 LAN と接続する」(🔗 111 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗 115 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：Image Express Utility Lite for Mac OS を起動する

1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

2 「Image Express Utility Lite」フォルダをダブルクリックする。

3 「Image Express Utility Lite」アイコンをダブルクリックする。

Image Express Utility Lite for Mac OS が起動すると、接続先選択ウィンドウが表示されます。

- 初回起動時には、接続先選択ウィンドウが表示される前に使用許諾契約ウィンドウが表示されます。

使用許諾契約書の内容をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し [OK] をクリックしてください。

4 接続先選択ウィンドウで、プロジェクターを選択し、[接続] をクリックする。

デスクトップ画面がプロジェクターから投写されます。



● Image Express Utility Lite for Mac OS のヘルプ表示方法

◆ Image Express Utility Lite for Mac OS の起動中に表示する

- 1 メニューバーの「ヘルプ」→「Image Express Utility Lite ヘルプ」の順にクリックする。

ヘルプ画面が表示されます。

7-3. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)

Image Express Utility Lite の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の 3 つの機能があります。
 - ・ 4 点補正 …………… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることで、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
 - ・ 多点補正 …………… 4 点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことにより、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
 - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4 点補正について説明します。

多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(🔗 121 ページ)



- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピュータに保存し、必要なときに呼び出すことができます。
- 幾何学補正は、USB ケーブル、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN)、映像ケーブルでの接続時に使用できます。

スクリーンに斜め方向から投写する (4 点補正)

ここでは、USB ディスプレイ (コンピュータとプロジェクターを USB ケーブルで接続) の場合で説明します。

- ・ USB ディスプレイ機能を使用すると、コントロールウィンドウが自動で表示されます。
- ・ 映像ケーブルやネットワーク接続の場合は、コンピュータに Image Express Utility Lite をインストールして起動し、コントロールウィンドウを表示してください。(🔗 63 ページ)

準備 : スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整してください。

- 1  (その他) アイコンをクリックし、
 (設定) アイコンをクリックする。


環境設定画面が表示されます。



- 2 「複数接続機能を使用する」をクリックし、チェックマークを外す。





- 3 「OK」をクリックする。

- 4  (投写) アイコンをクリックし、
 (終了) アイコンをクリックする。

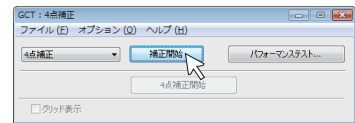
- 5 「はい」をクリックする。


- 6 再度、Image Express Utility Lite を起動する。


- 7  (映像) アイコンをクリックし、
 (GCT) アイコンをクリックする。
4点補正編集ウィンドウが表示されます。



- 8 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする。



投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「」が表示されます。

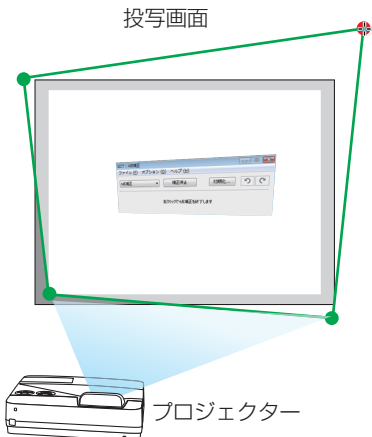
- ・ 緑色の枠の4つの角には「」が表示されます。

- 9 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「」をクリックする。

- ・ 選択されている「」は赤色になります。

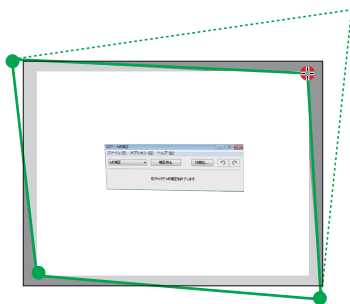


(Windows の画面は省略しています)

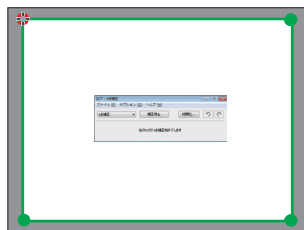


10 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。

- ・ 投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。




11 9、10 の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。




12 調整が終わったら、マウスを右クリックする。


投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

13 4点補正編集ウィンドウの  をクリックする。

4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

14 コントロールウィンドウの  (終了) アイコンをクリックして終了する。

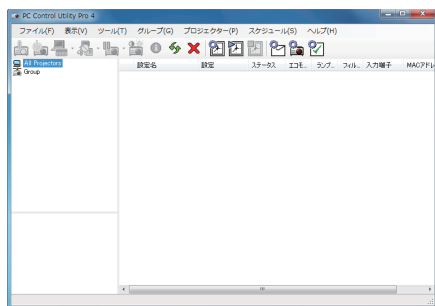
参考

- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4点補正編集ウィンドウの詳細な操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。( 121 ページ)

7-4. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。([▶次ページ](#))
PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。([▶130 ページ](#))



PC Control Utility Pro 4 画面

● 主な制御機能

電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする
- ステップ②：本機を LAN に接続する
- ステップ③：ソフトウェアを起動する

注意

- Windows 8.1、Windows 8 において PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

参考

- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

Windows で使用する場合

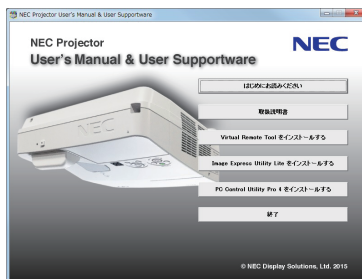
●ステップ①：PC Control Utility Pro 4 をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

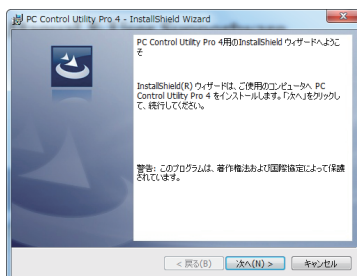
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)
*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの [PC Control Utility Pro 4 をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



3 「次へ (N)>」 をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。



参考

● PC Control Utility Pro 4 のアンインストール方法

PC Control Utility Pro 4 をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「PC Control Utility Pro 4」と読み替えてください。(🔗 134 ページ)

● **ステップ②**：本機を LAN に接続する

本書の「5-7. 有線 LAN と接続する」(🔗 110 ページ)、「5-8. 無線 LAN と接続する」(🔗 111 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (🔗 115 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

● **ステップ③**：PC Control Utility Pro 4 を起動する

- 1** Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

注意

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。
【例】Windows 7 の場合：
[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [電源オプション] → [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更] の [コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定します。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

参考

● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法

- ◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する
 - 1** PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

次ページに続く

◆スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 または 「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「PC Control Utility Pro 4」 → 「PC Control Utility Pro 4 Help」 の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。



Mac OS で使用する場合

●ステップ①：PC Control Utility Pro 5 をコンピュータにインストールする

- 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

- 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

- 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

- 4 「PC Control Utility Pro 5.pkg」をダブルクリックする。

インストーラがスタートします。

- 5 [続ける] をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。

- 6 記載内容を確認し、[続ける] をクリックする。

確認ウィンドウが表示されます。

- 7 [同意する] をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「5-7. 有線 LAN と接続する」(☞ 110 ページ)、 「5-8. 無線 LAN と接続する」(☞ 111 ページ)、および「6.APPS メニュー」のネットワーク設定 (☞ 115 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

●ステップ③：PC Control Utility Pro 5 を起動する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。

- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。

- 3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。

PC Control Utility Pro 5 が起動します。

注意

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

参考**● PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法****◆ PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する**

- 1 メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆ Dock から表示する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
- 3 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

7-5. コンピュータケーブルを使って本機を操作する (Virtual Remote Tool)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面 (リモコンウインドウまたはツールバー) を表示し、コンピュータケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

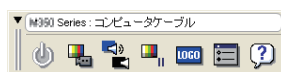
【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

●主な制御機能

- ・電源の入/切
 - ・入力信号切替
 - ・映像・音声のミュート
 - ・投写中の動画を静止する
 - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作



ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。

([🔗 137 ページ](#))

ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする ([🔗 次ページ](#))

ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する ([🔗 135 ページ](#))

ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する ([🔗 136 ページ](#))

注意

- Windows 8.1、Windows 8 において Virtual Remote Tool を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。
- 信号選択で「コンピュータ」を選択しているときは、コンピュータの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときは、添付のコンピュータケーブルを使って、コンピュータ映像入力端子とコンピュータの映像出力端子を直接接続してください。市販のコンピュータケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピュータの仕様、およびグラフィックアダプタやドライバのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ (画像) には以下の条件があります。
 - * ファイルサイズ：1 メガバイト未満
 - * 画像サイズ：
水平 1280 ドット, 垂直 800 ドット 以内
 - * 色数：256 色以内

[次ページに続く](#)

- ログ画像の送信は、LAN またはシリアル接続のときに行えます。コンピュータケーブル接続時にはできません。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面（NEC ロゴ）に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。
このとき、ご使用の機種に合わせて下記のロゴを選択してください。
¥Logo¥necpj_bbw_x.bmp

参考

- 本機のコンピュータ映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピュータ間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）およびシリアル接続での制御も可能です。ただし、USB 接続には対応していません。

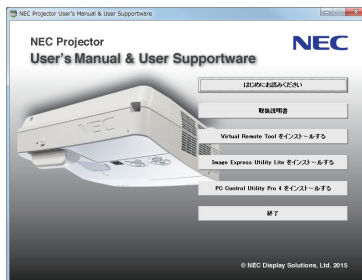
ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

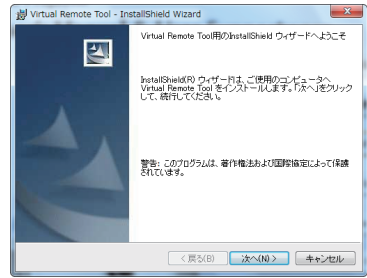
メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)
*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 メニューウィンドウの [Virtual Remote Tool をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

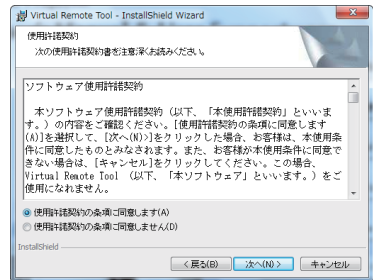
インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



3 「次へ (N)>」 をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください



4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」 をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。

注意

- インストール先のフォルダを選択する画面で「デスクトップにショートカットを作成する (D)」をクリックしてチェックマークを外した場合、ショートカットは表示されません。

参考

● Virtual Remote Tool のアンインストール方法

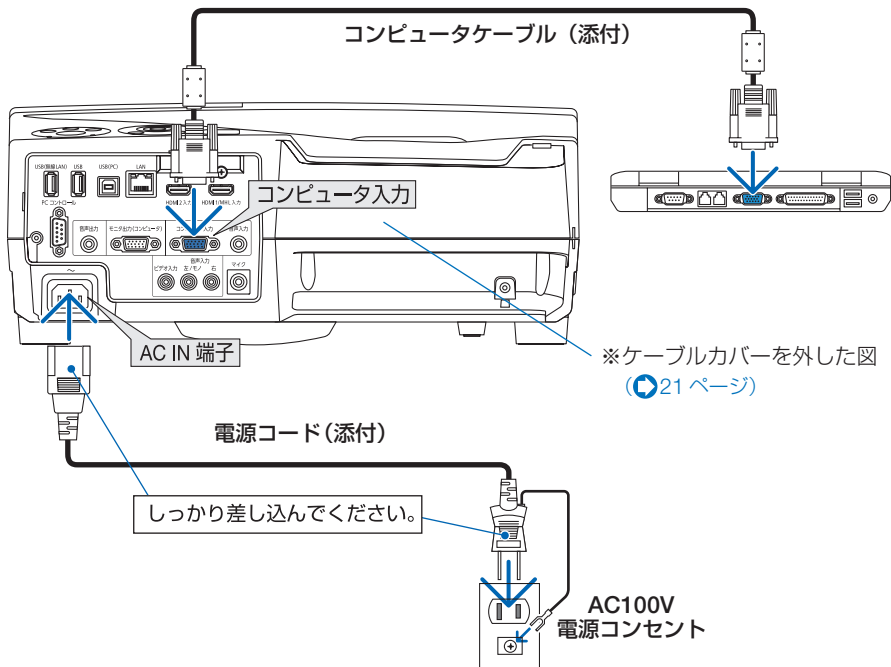
準備：アンインストールの前に、Virtual Remote Tool を終了してください。
アンインストールの際は、「管理者」権限で行ってください。

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
 - ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する


- 1 プロジェクターのコンピュータ映像入力端子とコンピュータのディスプレイ出力端子を添付のコンピュータケーブルで接続する。
- 2 プロジェクターの AC IN 端子と AC100V のコンセントを添付の電源コードで接続する。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

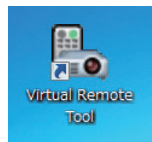


- Virtual Remote Tool を最初に起動すると、かんたんセットアップ画面で機器の接続をガイドします。
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。(161 ページ)

ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する

◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン  をダブルクリックする。



◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



かんたんセットアップを終了すると、Virtual Remote 画面が表示されます。



注意


- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、コンピュータケーブルおよびネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

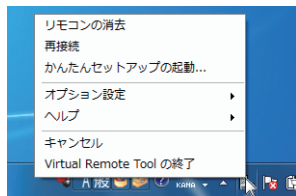
参考

-
かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面を表示することができません。
かんたんセットアップ「ステップ6」画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けてください。

次ページに続く


● Virtual Remote Tool の終了方法

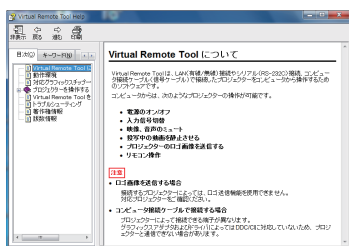
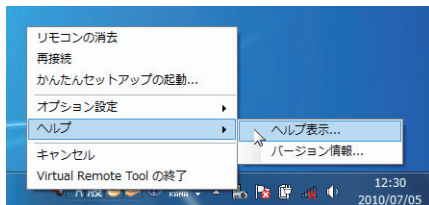
- 1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン  をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。
Virtual Remote Tool が終了します。



● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

◆タスクトレイから表示する

- 1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコン  をクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「ヘルプ」 → 「ヘルプ表示」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。



◆スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」または「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「Virtual Remote Tool」 → 「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

7-6. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する (Wireless Image Utility)

Wireless Image Utility を使用すると、スマートフォンやタブレットからプロジェクターへ、ネットワーク（無線 LAN）を経由して写真や文書を伝送して投写することができます。

Wireless Image Utility は、Android 用と iOS 用があり、各々 Google Play または App Store からダウンロードしてください。

Wireless Image Utility について詳しくは次のホームページをご覧ください。

- **Android 用**

http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/android/wiu_for-android.html

- **iOS 用**

http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/ios/wiu_for-ios.html

8. 本体のお手入れ／ランプの交換

8-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。



警告

フィルタなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

参考

- フィルタ清掃時期の表示について
本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルタを清掃してください。
 - ・ 設置する環境に合わせて、フィルタ清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルタメッセージ」(86 ページ) をご覧ください。
 - ・ フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の④ボタンまたはリモコンの電源(スタンバイ)ボタンを押したときに表示されます。
 - ・ 「フィルタ清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

吸気口のフィルタ(大と小)は2層構造で冷却と防塵効果を向上させています。ほこりは表面および裏面のフィルタで除去します。

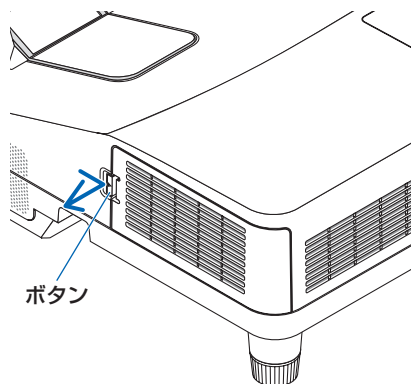
本書では、表面を目の粗いフィルタ、裏面を目の細かいフィルタと言います。



注意

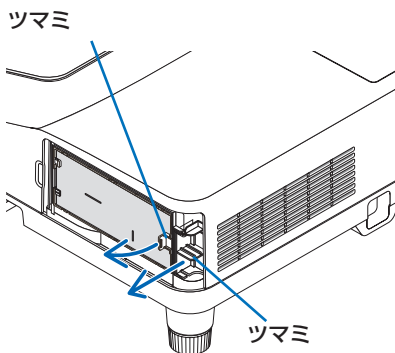
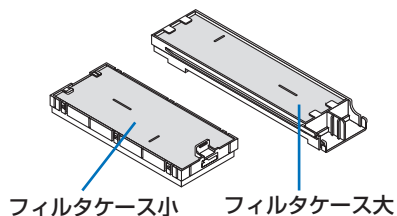
フィルタの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルタケースを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- 1 ボタンを右側に押し、手前にフィルタカバーを引いて外す。



2 箇所（2箇所）のフィルタケースを取り外す。

2箇所ともツマミを手前に引いて外します。

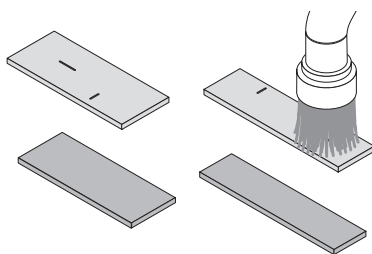
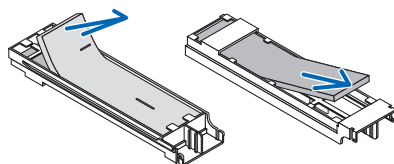
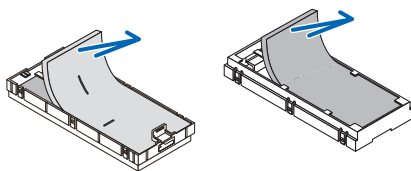


3 フィルタケースの表面と裏面にあるフィルタ（4枚）を取り外し、掃除機でほこりを吸い取る。

フィルタ4枚の裏表のほこりをていねいに取り除いてください。



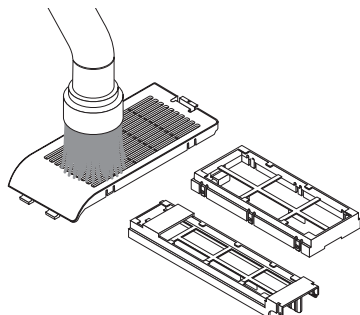
- フィルタの清掃はブラシ付きアダプタを使用してください。アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目づまりの原因となります。



4 フィルタカバーおよびフィルタケース（大・小）のほこりを取り去る。

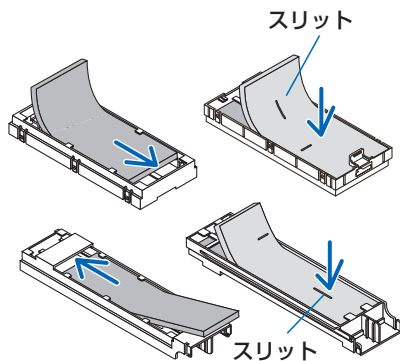
表面と裏面を清掃してください。

- 本体キャビネットの吸気口のほこりも取り去ってください。



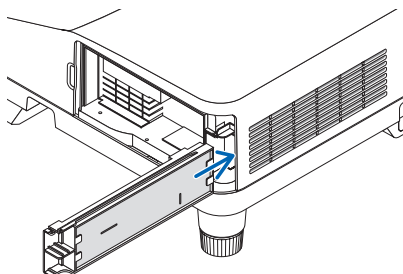
5 フィルタケース（大・小）にフィルタ（4枚）を取り付ける。

- ・フィルタケースの表面は目の粗いフィルタを取り付けます。
目の粗いフィルタにはスリット（切れ目）があります。フィルタのスリットをフィルタケースの突起部に合わせて取り付けてください。
- ・フィルタケースの裏面には目の細かいフィルタを取り付けます。



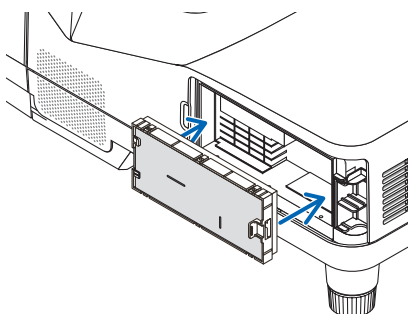
6 フィルタケース大を本体に差し込む。

入らないときはフィルタケースの向きが間違っています。図の向きにして差し込んでください。



7 フィルタケース小を本体に取り付ける。

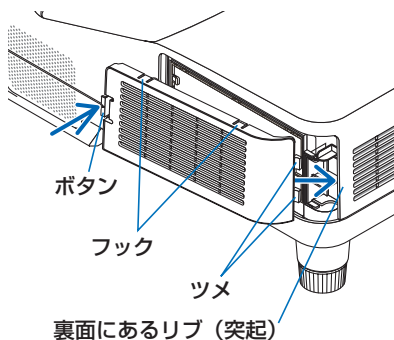
入らないときはフィルタケースの向きが間違っています。図の向きにして差し込んでください。



8 フィルタカバーを本体に取り付ける。

フィルタカバーのツメを本体裏側のリブに掛けてから、カバーを開めてボタンを押します。フィルタカバーが固定されます。

- ・フィルタカバーが閉まらないときは、フックを押し込んでください。



9 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
オンスクリーンメニューのリセットの「フィルタ時間クリア」を選択してください。

(▶98 ページ)

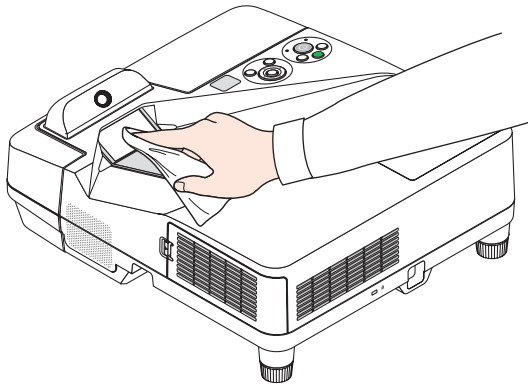
8-2. 投写窓の清掃

投写窓を清掃する場合は、市販のカメラ用ブローワーを使用してほこりやゴミを取り除いてください。ふき取る場合は市販のレンズ用クリーニングクロス（布）を使用してください。その際、投写窓を傷つけないように十分注意してください。



警告

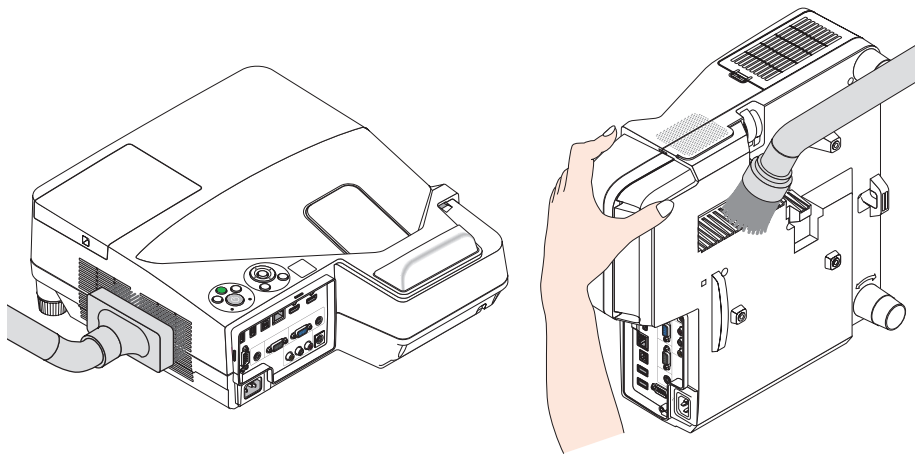
投写窓などに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



8-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風孔のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットや投写窓およびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

8-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）^{*1}（🔵97 ページ）を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます^{*2}。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）^{*1}が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報(使用時間)」(🔵96 ページ)をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は交換用ランプ型名 NP33LP をご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）^{*1}に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の🔵ボタンまたはリモコンの電源(スタンバイ)ボタンを押したときに表示されます。

電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



注意

ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプとフィルタ交換の流れ

ステップ 1

ランプを交換する (このページ)

ステップ 2

フィルタを交換する (148 ページ)

ステップ 3

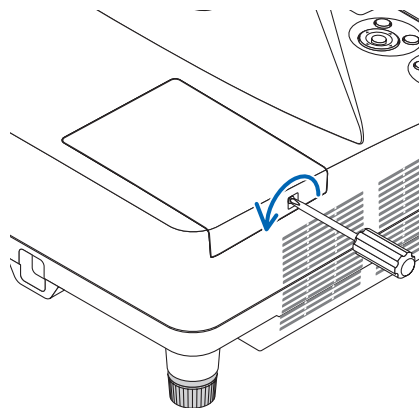
ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする (150 ページ)

ランプを交換する

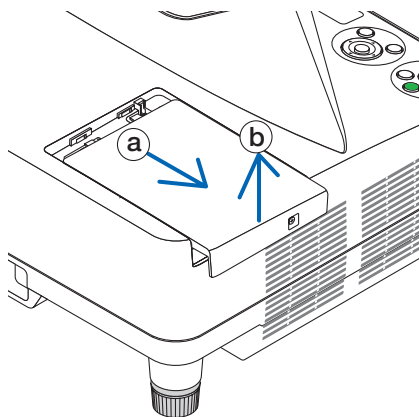
準備：プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

- 1 ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
 - ・ネジは外れません。

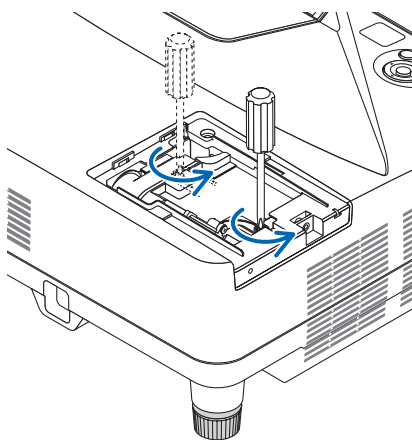
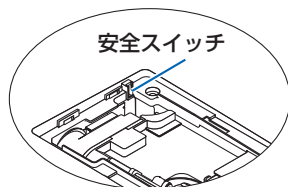


- 2 ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。



2 ランプを外す。

- ① ランプ固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

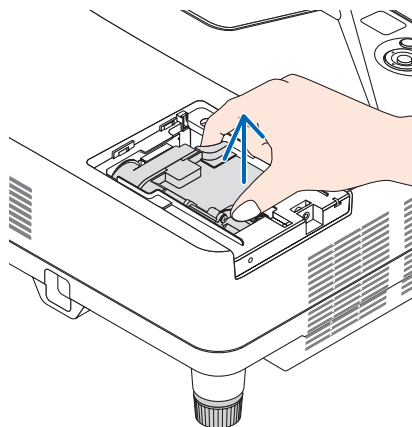


- ② ランプのつまみを指で挟んで持ち上げる。



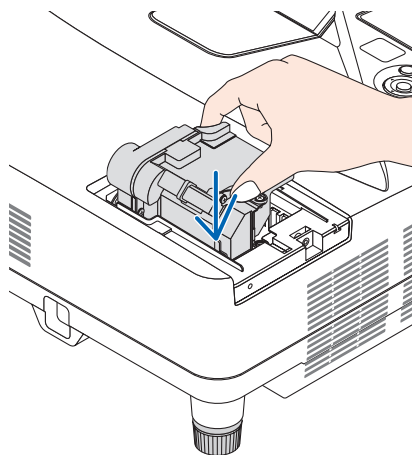
注意

高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。



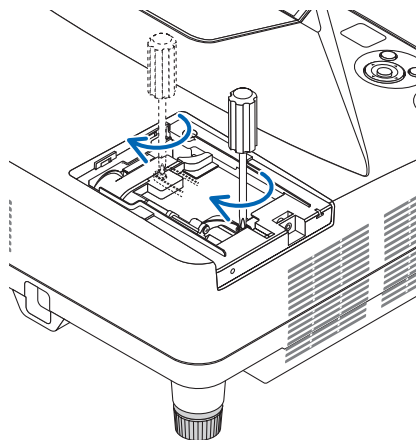
3 新しいランプを取り付ける。

- ① ランプを静かに入れる。
 - ・奥まで押し込んでください。
- ② ランプの中央部分を押しして、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



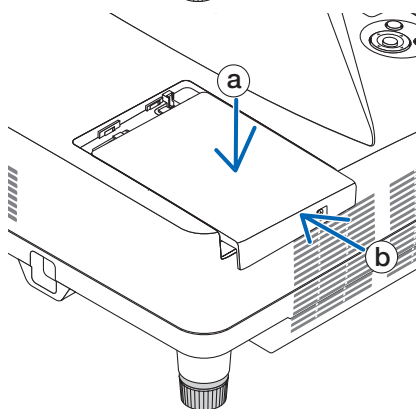
③ ランプ固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。

- ・ネジは確実にしめてください。



4 ランプカバーを取り付ける。

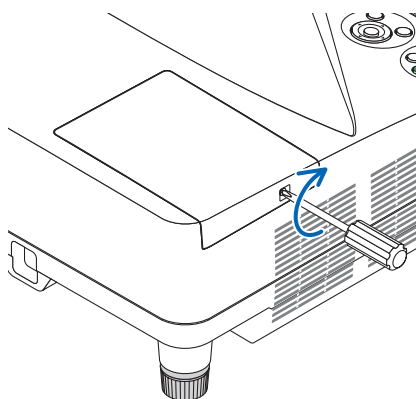
① ランプカバーをスライドさせて取り付ける。



② ランプカバーネジを右に回してしめる。

- ・ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルタを交換してください。



参考

- ランプ交換時間 (目安) * (97 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

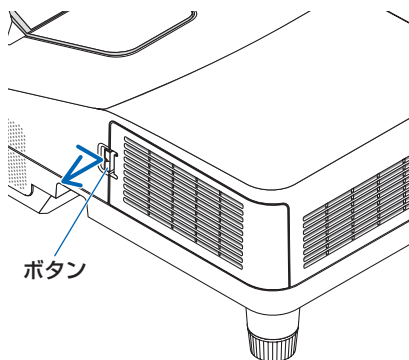
フィルタを交換する

注意

- フィルタは、4枚とも同時に交換してください。
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。
- 必ずフィルタを正しく取り付けてください。フィルタを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

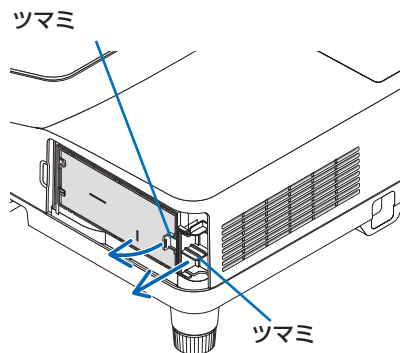
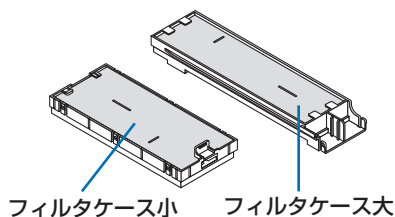
準備：先にランプの交換を行ってください。(145 ページ)

- 1** ボタンを右側に押し、手前にフィルタカバーを引いて外す。

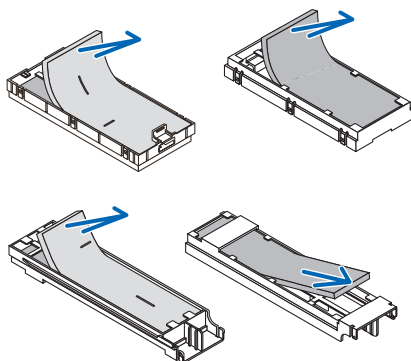


- 2** 2箇所のフィルタケースを取り外す。

2箇所ともツマミを手前に引いて外します。



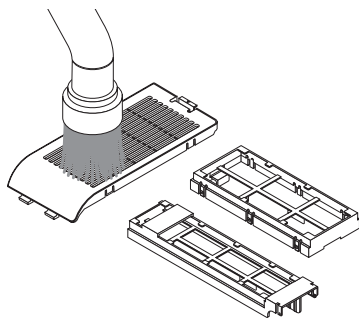
- 3** フィルタケースの表面と裏面にあるフィルタ（4枚）を取り外す。



4 フィルタカバーおよびフィルタケース（大・小）のほこりを取り去る。

表面と裏面を清掃してください。

- ・本体キャビネットの吸気口のほこりも取り去ってください。

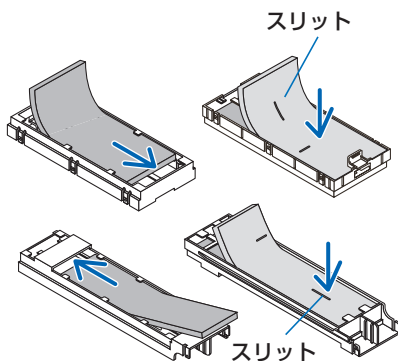


5 フィルタケース（大・小）に新しいフィルタ（4枚）を取り付ける。

・フィルタケースの表面は目の粗いフィルタを取り付けます。

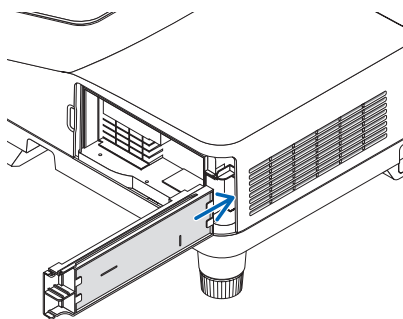
目の粗いフィルタにはスリット（切れ目）があります。フィルタのスリットをフィルタケースの突起部に合わせて取り付けてください。

・フィルタケースの裏面には目の細かいフィルタを取り付けます。



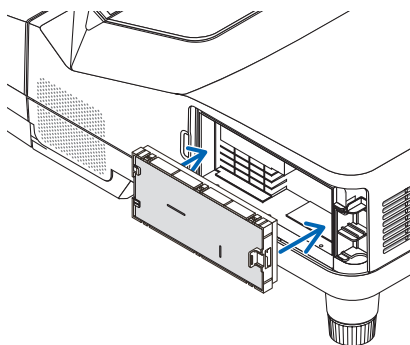
6 フィルタケース大を本体に差し込む。

入らないときはフィルタケースの向きが間違っています。図の向きにして差し込んでください。



7 フィルタケース小を本体に取り付ける。

入らないときはフィルタケースの向きが間違っています。図の向きにして差し込んでください。

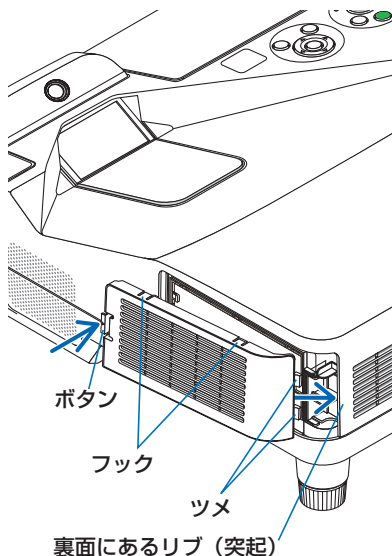


8 フィルタカバーを本体に取り付ける。

フィルタカバーのツメを本体裏側のリブに掛けてから、カバーを閉めてボタンを押します。フィルタカバーが固定されます。

- ・フィルターカバーが閉まらないときは、フックを押し込んでください。

これで、フィルタ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアしてください。



ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

1 本機を投写する場所に設置する。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3 ランプ使用時間やフィルタ使用時間をクリアする。

- 1 オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(▶98 ページ)
- 2 続いて「フィルタ時間クリア」を実行してください。

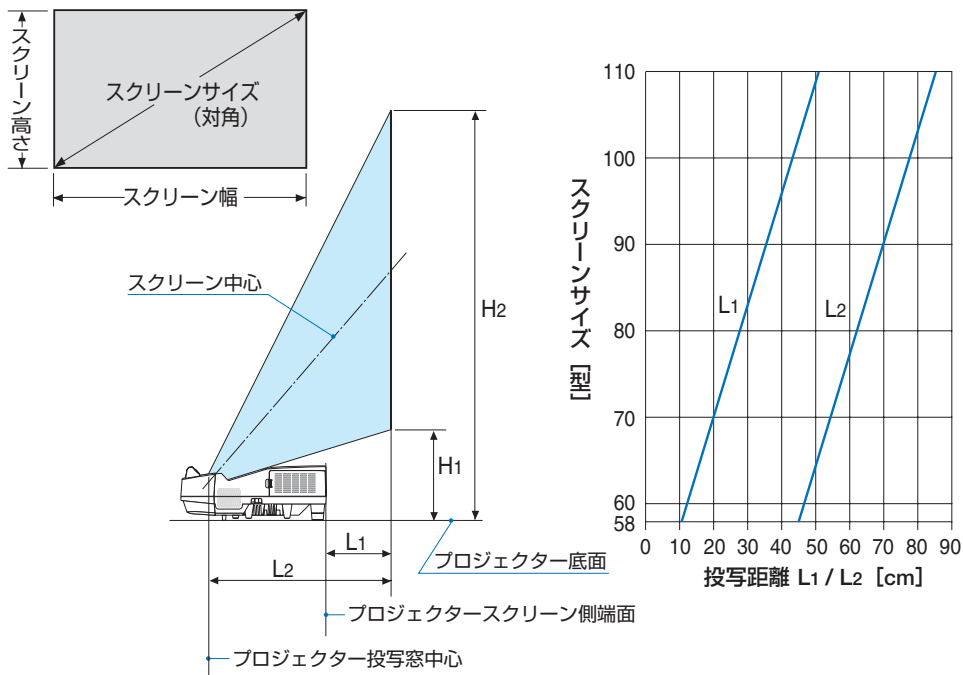
9. 付 録

投写距離とスクリーンサイズ

投写距離とスクリーンサイズおよびプロジェクターとスクリーンの最適高さを表わしています。設置の際の目安にしてください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、本体スクリーン側端面から 10.5cm（58 型の場合）～ 51.0cm（110 型の場合）です。この範囲で設置してください。

スクリーン サイズ (型)	スクリーン		投写距離		スクリーン下端 の高さ H ₁ (cm)	スクリーン上端 の高さ H ₂ (cm)
	幅×高さ (cm)		L ₁ (cm)	L ₂ (cm)		
58	124.9	78.1	10.5	44.8	23.9	102.0
60	129.2	80.8	12.0	46.4	24.4	105.1
70	150.8	94.2	19.8	54.2	26.7	121.0
80	172.3	107.7	27.6	62.0	29.1	136.8
90	193.9	121.2	35.4	69.8	31.5	152.7
100	215.4	134.6	43.2	77.6	33.9	168.5
110	236.9	148.1	51.0	85.4	36.3	184.3

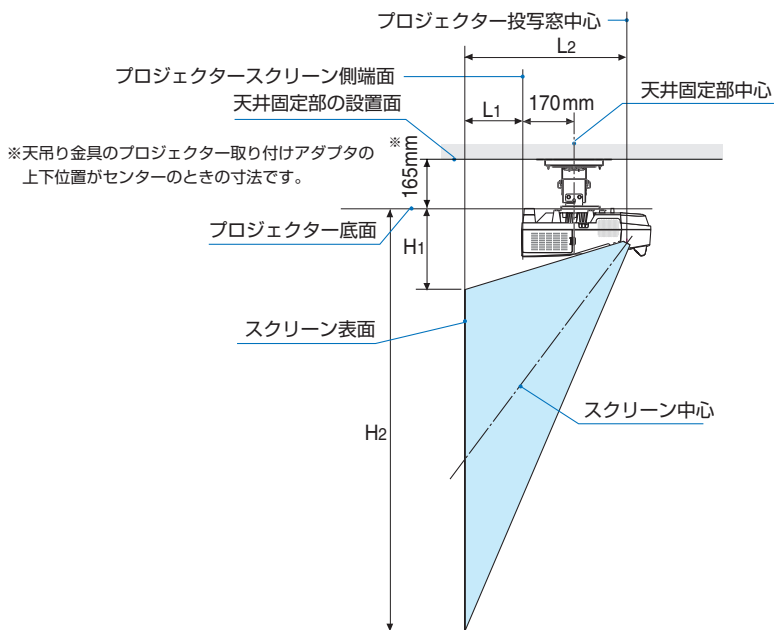


【表の使い方】

1. 「投写距離」を参照し、スクリーンサイズに応じて、スクリーンと本機の距離を取ります。
例えば、80型のスクリーンに投写する場合は、スクリーンから約27.6cm (L_1) 離してプロジェクターを設置します。
2. 「スクリーン下端の高さ」を参照し、スクリーンの上下の位置調整、または本機を置く台の高さ調整を行います。
例えば、80型のスクリーンに投写する場合は、本機の底面からスクリーン下端までの高さを、約29cm に設置します。

参考

- 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について
投写距離 (L_1) (L_2)、寸法 (H_1) (H_2) はデスクトップの例と同じです。
天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は [159 ページ](#) をご覧ください。



- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768	4 : 3	60/70/75/85/iMac
WXGA	1280 × 768 ^{*1}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*1}	16 : 10	60
	1360 × 768 ^{*2}	16 : 9	60
	1366 × 768 ^{*2}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 ^{*2}	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*3}	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*4}	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768 ^{*1}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*1}	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60 ^{*5}
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

MHL

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット ビデオ / S-ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

*1: リアル表示

*2: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

*3: WXGA モードオフ時。

*4: WXGA モードオン時。

*5: RB (リデュースドブランキング信号) は 154MHz までです。

・本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。

・アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や野線の太さなどが不均一になったり、色がこじんだりする場合があります。

・出荷時はその表示解像度 / 周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。

・コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

仕様

型名		NP-UM352WJL		
方式		三原色液晶シャッタ投影方式		
主要 部 品 仕 様	液晶パネル	サイズ	0.59 型 MLA 付き (アスペクト比 16:10)	
		画素数 ^(*)	1,024,000 画素 (1280 ドット× 800 ライン)	
	投写レンズ		F=1.8、f=4.78mm	
		ズーム	デジタル (ズーム比 1.4 倍)	
		フォーカス	マニュアル	
光源	255W AC ランプ (エコ1モード時 200W、エコ2モード時 160W ^(*))			
光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式			
明るさ ^(*) ^(*)		3500lm		
コントラスト比 ^(*) (全白/全黒)		4000:1		
画面サイズ (投写距離)		58 ~ 110 型 (44.8 ~ 85.4cm)		
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) ^(*)		
音声出力		20W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)		
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)		
主な調整機能		台形補正、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ / HDMI 1/MHL/HDMI 2/ビデオ /USB-B/APPS)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)		1920 × 1200 ^(*) (アドバンスド・アキュブレンドによる対応)		
入 力 信 号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω	
	S-ビデオ	Y:1.0Vp-p / 75 Ω		
		C:0.286Vp-p / 75 Ω		
		コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (50/60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i (50Hz) DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上	
入 出 力 端 子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン × 1	
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン × 1	
		音声入力	ステレオミニジャック × 1	
		音声出力	ステレオミニジャック × 1 (全信号共通)	
	HDMI/MHL	映像音声入力	HDMI® コネクタタイプ A (19 ピン) × 2, HDCP 対応 ^(*) 、HDMI1/MHL 入力端子のみ MHL 信号に対応	
	ビデオ	映像入力	RCA × 1	
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1	
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン × 1	
	USB ポート		USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1	
	無線 LAN 用 USB ポート		USB タイプ A × 1	
LAN ポート		RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		
マイク入力端子 ^(*)		モノラルミニジャック × 1		

型名	NP-UM352WJL	
使用環境	動作温度 :5 ~ 40℃ (*9)	
	動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 :0 ~ 2600m (1700 ~ 2600m はファンモード「高地」) 保存温度 : - 10 ~ 50℃ 保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
電源	AC 100V 50/60Hz (*10)	
消費電力	エコモード切り時	339W
	エコ1モード時	269W
	エコ2モード時	222W
	スタンバイ時	ネットワークスタンバイ :2.3W ノーマル :0.22W
定格入力電流	3.9A	
外形寸法	378 (幅) × 112 (高) × 428 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量	5.8kg	

(*1) : 有効画素数は 99.99% です。

(*2) : 最大でエコ1モード相当の電力になります。

(*3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(*4) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。
エコ1モードにすると明るさは約 75%、エコ2モードにすると明るさが約 60% に低下します。
また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*5) : 入力端子で、USB-B、APPS を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(*6) : WXGA モードオン時

(*7) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 入力端子を装備しています。

本機のHDMI入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync

音声 : LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(*8) : ダイナミックマイクとコンデンサーマイクに対応しています。

(*9) : 35 ~ 40℃は「強制エコモード」になります。

(*10) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●無線 LAN ユニットの仕様

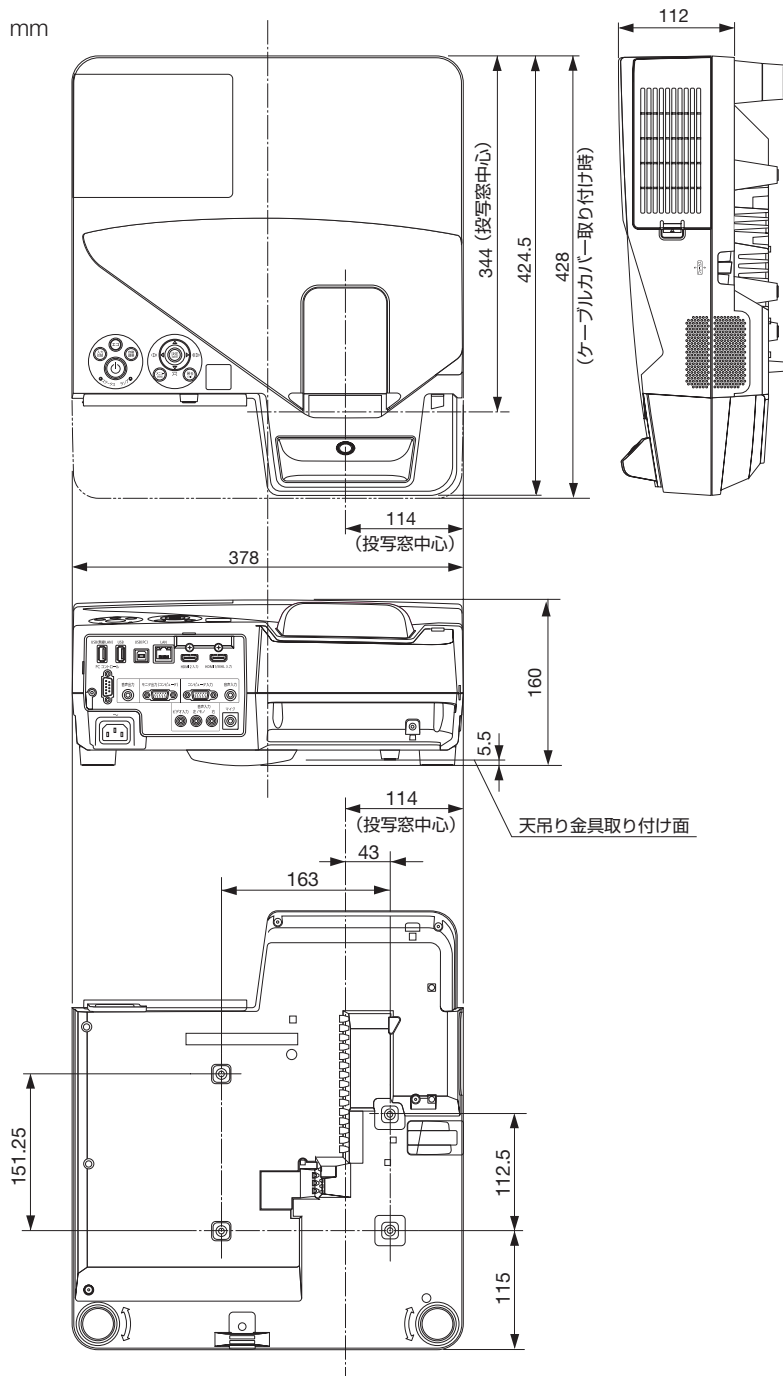
仕様	
動作電源電圧	5V (プロジェクター本体から供給)
消費電流 (最大)	500 mA
ホストインターフェイス	USB 2.0 (プロジェクター本体の無線 LAN ユニット専用ポートで使用)
外形寸法	28 (幅) × 11 (高さ) × 81 (奥行) mm (キャップを含む)
質量	22g (キャップを含む)
使用環境	動作温度: 5 ~ 40°C 動作湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度: -10 ~ 50°C 保存湿度: 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)

対応規格	
無線インターフェイス	チャンネル (周波数帯域) …中心周波数
IEEE802.11b	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
IEEE802.11g	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
IEEE802.11a	36/40/44/48 チャンネル (5180 ~ 5240 MHz)
	52/56/60/64 チャンネル (5260 ~ 5320 MHz)
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル (5500 ~ 5700 MHz)
IEEE802.11n	1 ~ 13 チャンネル (2412 ~ 2472 MHz)
	36/40/44/48 チャンネル (5180 ~ 5240 MHz)
	52/56/60/64 チャンネル (5260 ~ 5320 MHz)
	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル (5500 ~ 5700 MHz)

* ご利用環境により、デュアルチャンネル通信無効/有効モードが自動で切り替わります。

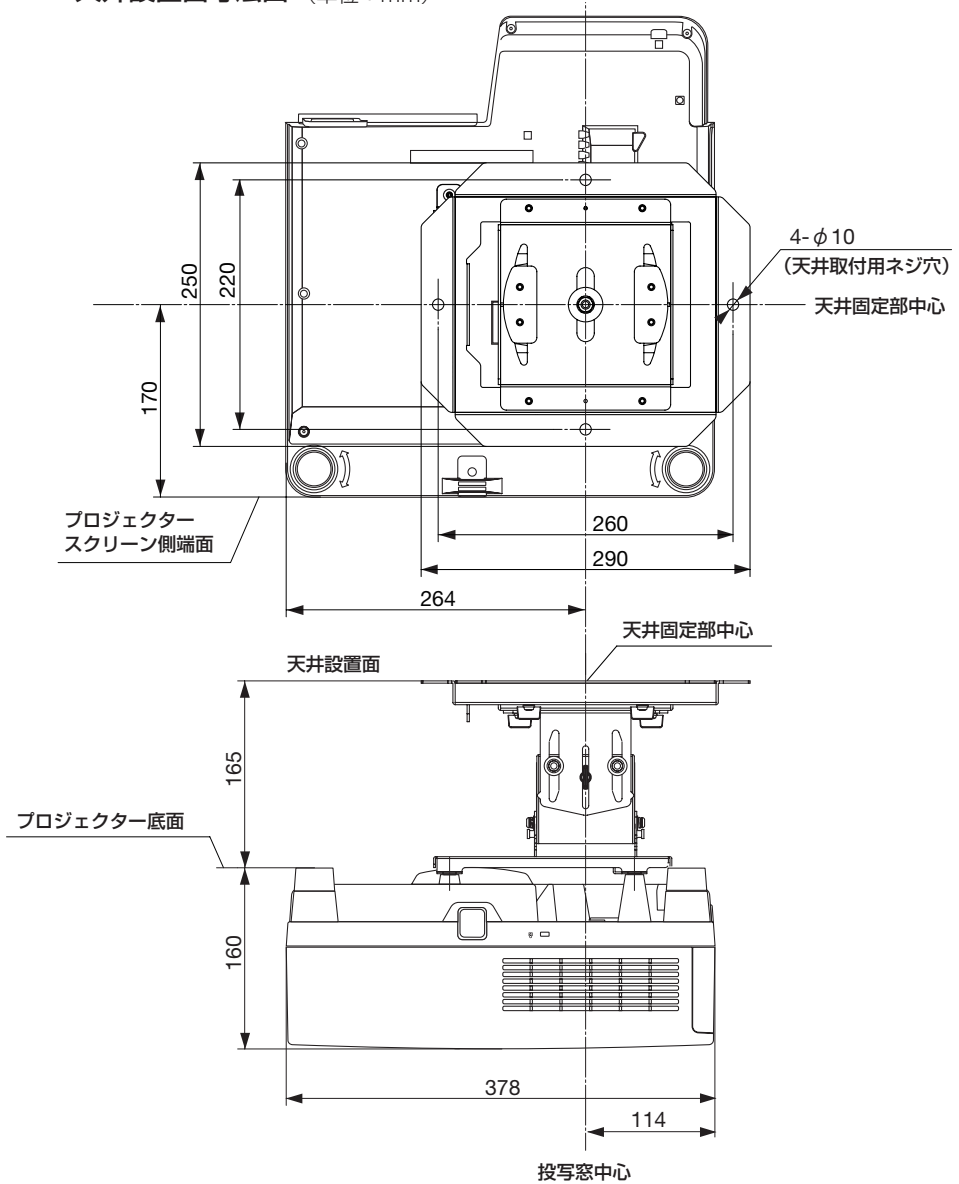
外觀図

単位：mm



天吊り金具（別売）取り付け図

天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度、上下位置中心時の寸法です。

ワイヤレスレシーバ(別売)の取り付けかた

本機を天井用取付けユニットや壁用取付けユニットに取り付けて、別売のワイヤレスレシーバを使用する際は、ワイヤレスレシーバを本機に添付している脱落防止用ストラップを用いて取り付けてください。

- 1 本機とワイヤレスレシーバをワイヤレスレシーバに添付している HDMI ケーブルで接続する。
 - ・ケーブルの接続方法は、ワイヤレスレシーバの取扱説明書をご覧ください。

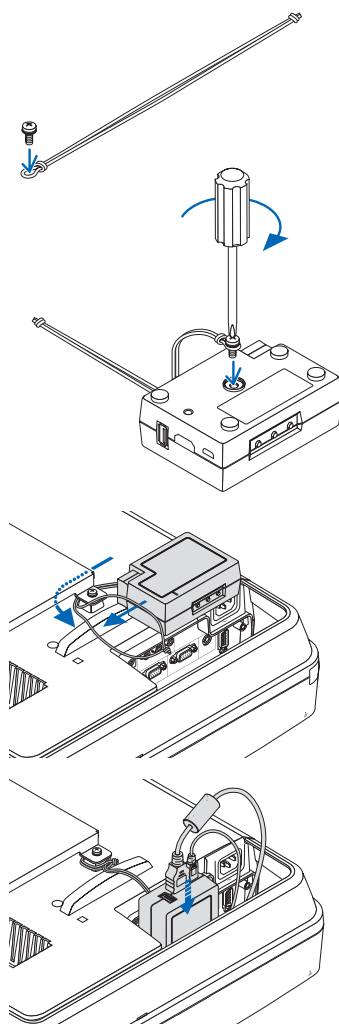
- 2 本機にケーブルカバーを取り付ける。
(21 ページ)

- 3 ストラップ先端の輪に、ワイヤレスレシーバに添付しているネジを差し込む。

- 4 ワイヤレスレシーバ裏面中央のねじ穴にストラップを付けたネジを固定する。

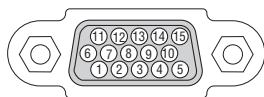
- 5 ワイヤレスレシーバに装着したストップを天井用取付けユニットや壁用取付けユニットのプロジェクター取付け部に回し、ストラップにワイヤレスレシーバをくぐらせてワイヤレスレシーバがぶら下がるようにする。

- 6 ストラップによりプロジェクターに取り付けられたワイヤレスレシーバをケーブルカバーの内側に格納する。



コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTL レベル

ピン番号	RGB 信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	Hotplug	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

参考

- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	147
	ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。	147
	ランプ交換時間 (目安) * を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (ヘルプ) ボタンを 10 秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	97
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	168
使用中に電源が切れる	標高約 1700m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	91
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	46
映像が出ない	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン (時間を選択)」にしていませんか。	84 94
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	35
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	99 ~ 108
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	77

映像が出ない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	153
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	44
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、 165 ページ をご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	71
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	98
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	58
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	91
映像が歪む	正しく設置されていますか。	38
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	42
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	39
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	39
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	151
	投写窓や内部の光学部などが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号 (RGB) の場合、 (自動調整) ボタンを押してください。	44
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地 (標高約 1700m 未満) で使用すると、ランプが冷えずで画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	91
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	52
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	78 79
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	153

コンピュータ信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	44 78
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	28
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	28
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	29
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	28
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	89
	本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、本機の USB(PC) ディスプレイ端子とコンピュータを添付の USB ケーブル (USB 2.0 対応) で接続してください。	61
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	167 168
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	46
マイクの音が出ない	マイクのケーブルがマイク端子に正しく接続されていますか。	60
	オンスクリーンメニューの「マイク選択」が正しく設定されていますか。	90
マイクの音が大きすぎるまたは小さすぎる	オンスクリーンメニューの「マイクゲイン」を調整してください。	90
電子ペンが動作しない	キャリブレーションを行いましたか。	64
	電子ペンの電池が消耗していませんか。	30
電子ペン操作による描画と画面にずれがある	キャリブレーションを行いましたか。	64
	自動キャリブレーションを行っても改善されない場合は、手動キャリブレーションを行ってください。	65
	直射日光およびハロゲンランプやフィラメントタイプの電球などが当たらないように設置しなおしてください。窓際に設置している場合は、カーテンを閉めたり、窓から離すなどして外光の影響を除去してください。	—

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。


参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(96 ページ)

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
[Fn]キーを押したまま（）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

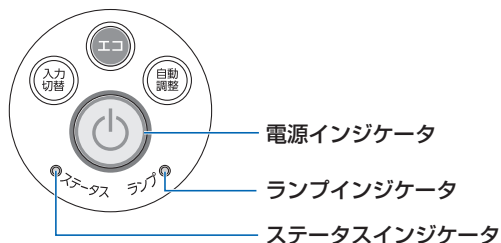
MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●電源インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている（電源コードが接続されていない）	—	
点滅	青色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	青色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態） プログラムタイマー（オフ時刻有効状態）	—
	オレンジ色（短い点滅）	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色（長い点滅）	プログラムタイマー（オン時刻有効状態）	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ノーマル」）	—

●ステータスインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし、またはスタンバイ状態	—	
点滅	赤色（1回周期）	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。 (C 147 ページ)
	赤色（2回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。 (C 次ページ)
	赤色（3回周期）	電源異常	電源が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（4回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（6回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

点滅	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。 注：スタンバイ状態では、ネットワークが競合しても、本機のステータスインジケータはオレンジ色に点滅しません。
点灯	緑色	スリープ状態	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 88 ページ) コントロール ID を確認してください。(🔗 89 ページ)

●ランプインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0% になり、ランプ交換の猶予時間 (100 時間) 中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗 144 ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗 144 ページ)
	緑色	エコモード「エコ 1、エコ 2」時	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します (2 回点滅の繰り返し)。

同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 139, 143 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

本機内部のソフトウェアのアップデートを行う

コンピュータのウェブブラウザを使って、弊社のダウンロードページから本機用のアップデートファイルをダウンロードし、有線 LAN を経由して本機（以降「プロジェクター」と記載します）のソフトウェアアップデートができます。

注意

- ソフトウェアアップデートが対応しているウェブブラウザは、Internet Explorer 11 です。
- ソフトウェアアップデートを実行する際は、プロジェクターとコンピュータを必ず LAN ケーブルで接続してください。無線 LAN 接続には対応していません。
- 必ずプロジェクターのスタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定してください。プロジェクターの工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
([☑ 93 ページ](#))
- ソフトウェアアップデートはプロジェクターがスタンバイ状態のときのみ行えます。アップデート中はプロジェクターの電源を入れないでください。また、AC 電源を切らないでください。
- アップデート中は、ウェブブラウザのページ更新を行わないでください。ページが正常に表示されなくなります。

1 コンピュータのウェブブラウザを使って、弊社のダウンロードページにアクセスする。

- ・ URL : <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

2 ご使用中のプロジェクターのソフトウェアがアップデートされているかを確認する。

- ・ オンスクリーンメニューの「情報」→「VERSION (1)」および「VERSION (2)」の画面でプロジェクターのソフトウェアのバージョンを確認できます。

3 プロジェクターのソフトウェアがアップデートされていれば、アップデートファイルをダウンロードし、コンピュータの任意のフォルダに保存する。

4 プロジェクターの電源を切り、スタンバイ状態にする。

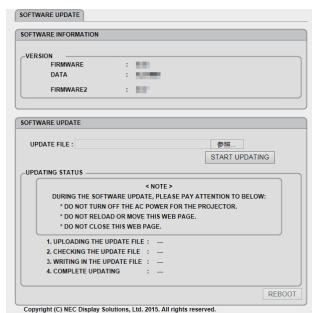
重要

- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき、ソフトウェアアップデートは行えません。

5 プロジェクターとコンピュータを LAN ケーブルで接続する。

6 コンピュータでウェブブラウザを起動し、次の URL を入力する。

- ・ アップデート用 URL : <http://> プロジェクターの IP アドレス /update.html
SOFTWARE UPDATE 画面が表示されます。



7 画面中央の（参照）をクリックし、手順**3**で保存したアップデートファイルを選択する。

・UPDATE FILE 欄に表示されたファイル名を確認してください。

8 画面中央の（START UPDATING）をクリックする。

画面が変わり、ソフトウェアのアップデートが開始されます。

注意

- アップデート中は次の点に注意してください。
- プロジェクターの AC 電源を切らないでください。
- ウェブブラウザのリロードやページ切り替えを行わないでください。
- ウェブブラウザを閉じないでください。

● **アップデートが正常に終了すると、次の表示になります。**

1. UPLOADING THE UPDATE FILE : COMPLETED
2. CHECKING THE UPDATE FILE : COMPLETED
3. WRITING IN THE UPDATE FILE : COMPLETED
4. COMPLETE UPDATING : PLEASE REBOOT.

9 画面右下の（REBOOT）をクリックする。

アップデートが終了し、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

参考

- アップデート中にエラーが発生すると「UPDATING STATUS」欄に以下のようなエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラー内容
2001	ファイルのアップロードに失敗しました。
2007	アップロードしたファイルのサイズが大きすぎます。
2011	アップロードしたファイルが壊れています。
2012	アップロードしたファイルが壊れています。

上記のエラーコード以外のコードも表示される場合があります。ソフトウェアのアップデートがエラーになった場合は、プロジェクターの電源を入れなおし、再度アップデートを行ってください。

何度行ってもアップデートが正常に終了しないときは、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。
<input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。
<input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
<input type="checkbox"/> Ⓣ ボタンを押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。
<input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。
<input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
<input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。
<input type="checkbox"/> コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
<input type="checkbox"/> ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピュータによって異なります)。
<input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
<input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
()
<input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。
<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 入力は対応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。
<input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。
<input type="checkbox"/> 映像が切れる。
<input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。
<input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
<input type="checkbox"/> 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。
<input type="checkbox"/> 映像がちらつく。
<input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。
<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。
<input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
<input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。
<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
<input type="checkbox"/> 音が出ない。
<input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
<input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。
<input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
<input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において
<input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
<input type="checkbox"/> 本体の(戻る)ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|--|--|

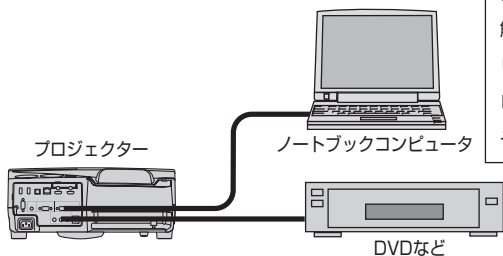
症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター
型名: NP-UM352WJL
製造番号:
購入時期:
ランプ使用時間:
エコモード: オートエコ エコ1
 エコ2
入力信号情報:
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H (+) (-)
V (+) (-)
同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク
ステータスインジケータの状態
点灯 (オレンジ・緑)
点滅 (回周期)

設置環境
スクリーンサイズ: 型
タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト
投写距離: m
投写方法: 天吊り 床置き
電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピュータ
メーカー:
型名:
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型
解像度:
リフレッシュレート:
ビデオボード:
その他:



信号ケーブル
純正・その他 (型名: 長さ: m)
分配器 型名:
スイッチャ 型名:
アダプタ 型名:

接続機器
ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他
メーカー:
型名:

索引

数字／アルファベット

4 点補正	54
AC IN 端子	21, 32
APPS	74
APPS メニュー	113
AV ミュート	48
CO2 換算係数	95
DICOM SIM.	75
GCT (Geometric Correction)	124
HDMI 設定	92
ID 表示	85
IMAGE EXPRESS UTILITY LITE	
	114, 116
Image Express Utility Lite	117, 119
Image Express Utility Lite for Mac OS	
	117, 122
IP アドレス	96
MAC アドレス	96
Miracast	115
NEC Projector CD-ROM	19
PC Control Utility Pro 4	117
PC Control Utility Pro 4/Pro 5	128
PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	130
SSID	96
USB ケーブル	19
USB ディスプレイ	62
USB メモリ (ビューフ)	114
Virtual Remote Tool	117, 132
Wireless Image Utility	138
Wireless Image Utility (Android / iOS)	117
WXGA モード	91

五十音

【ア行】	
明るさ	77
アスペクト	80
アドバンスメニュー	71
位相	78
色温度	76
インジケータ表示	167
ウェブシェアリング	115
映像	75
エコメッセージ	85
エコモード	51, 84

オートパワーオフ	94
オートパワーオン	94
オーバースキャン	79
オプション (1)	90
オプション (2)	93
オフタイマー	84
オンスクリーンメニュー	67, 71
音声	81
音声入力選択	92
音量	45, 81

【力行】

カーボンメータ	52
解像度	153
画像設定	78
壁色補正	83
カメラ	20
画面モード	77
カラー	77
カラーエンハンスメント	77
ガンマ補正	76
管理者モード	116
キャビネット	143
キャプチャ	48
キャプチャメニュー	49
キャリブレーション (電子ペン)	64
吸気口	20, 139
クローズドキャプション	84
クロック周波数	78
ゲートウェイ	96
ケーブルカバー	18, 21
言語	84
コラボレーション	114
コントラスト	77
コントロール ID	89
コンピュータケーブル	18

【サ行】

サブネットマスク	96
参照	76
シームレススイッチング	91
色相	77
自動キャリブレーション (電子ペン)	64
自動調整	44, 90
シャープネス	77

充電	30
手動キャリブレーション (電子ペン)	65
省エネ	51
詳細設定	76
情報	96
初期入力選択	95
信号選択	91
垂直	79
水平	78
スクリーンサイズ	76, 151
スタンバイモード	93
ステータスインジケータ	23, 167
ストラップ	18, 160
スピーカ	20
静止	48
セキュリティ	57, 88
セキュリティバー	20
接続端子部	21, 24
設置	87
セットアップ	82
全データ (リセット)	98
全般	82
ソフトウェアのアップデート	169
【タ行】	
台形歪み	42
台形補正	42, 82
台形補正值	43, 56
ダイナミックコントラスト	76
ダイレクトパワーオフ	34
ダイレクトパワーオン	94
ダウンロードサービス	117
チャンネル	96
調整	75
チルトフット	20, 40
通貨選択	95
通信速度	88
ツール	116
デインターレース	92
デジタルズーム	41, 82
テストパターン	90
デフォルト APP	116
電気料金換算係数	95
電源	46
電源インジケータ	23, 167
電源コード	4, 18, 32
電子ペン	10, 19, 30
添付ソフトウェア	117
投写距離	151

投写方法	87
投写窓	20, 142
盗難防止用ロック	20
【ナ行】	
入力信号	35
入力端子	74
入力端子表示	85
ネットワークサービス	116
ネットワーク情報	115
ネットワーク設定	115
【ハ行】	
排気口	21
バックグラウンド	86
パワーマネージメント機能	10
ビーブ音	92
日付と時刻設定	116
ビューフ	114
表示時間	86
表示色選択	85
表示中の信号 (リセット)	98
ピンクッション補正	54
ファンモード	91
フィルタ	139, 144, 148
フィルタカバー	20, 139, 148
フィルタケース	140, 148
フィルタ時間クリア	98
フィルタメッセージ	86
フォーカスリング	20, 39
部分拡大	50
プリセット	75
プログラムタイマー	116
プロジェクター名	115
ベーシックメニュー	71
ペン設定	116
ホワイトバランス	77
ホワイトボード	114
本体キーロック	88
本体操作部	21, 23
【マ行】	
マイク	60
マイクゲイン	90
マイク選択	90
マウス設定	116
無信号ガイダンス	85
無線 LAN	111, 116
無線 LAN ユニット	11, 19, 111

メニュー設定	85
--------	----

【ヤ行】

有線 LAN	110,	115
--------	------	-----

【ラ行】

ランプ	144,	145	
ランプインジケータ	23,	168	
ランプカバー		21	
ランプ残量	96,	97	
ランプ時間クリア		98	
ランプ使用時間	96,	97	
リセット		98	
リセット (映像)		78	
リモートデスクトップ		114	
リモートペン		65	
リモートマウス		61	
リモコン	18,	26,	28
リモコン受光部	21,	28	
ロゴ		86	

【ワ行】

ワイヤレスレシーバ	160
-----------	-----

別売品／商標について

●別売品

商 品 名		型 名
ランプ	交換用ランプ	NP33LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP13CM
壁掛け金具	壁用取付けユニット	NP04WK
テーブル投写金具		NP01TK
電子ペン		NP02Pi
ワイヤレスレシーバ		NP01WR2
タッチモジュール		NP01TM

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

次ページに続く

● 商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、GeometricCorrection は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、iMac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ MHL、Mobile High-Definition Link および MHL ロゴは MHL, LLC の商標または登録商標です。



- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi Protected Access[®]、WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]、Wi-Fi Direct[®]、Miracast[™]は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Google、Google Play、Android は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

● 本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
- ・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
 - （1）お買い上げから6か月間。
 - （2）ランプ残量（[▶96ページ](#)）が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（[▶162ページ](#)）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（[▶172, 173ページ](#)）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
形名	NP-UM352WJL
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

- ・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

べんりメモ	お買い上げ店名	☎ () -
-------	---------	---------

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフが受け
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)

通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許
可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセン
ターにお問い合わせください。